

TOSHIBA

東芝デジタル複合機

取扱説明書 TOSHIBA Viewer 編

 **e-STUDIO166**
 **e-STUDIO167/207**

- この度は東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

Wordcraft International Limited

Unimessage Proソフトウェア使用許諾書

購入の条件

本ソフトウェアは、「許可されている使用」に関する制限に従い、使用することができます。一旦お客様が本ソフトウェアをインストールされますと、製品に対する払い戻しはできませんのでご了承ください。この使用許諾書は、本製品が使用されているあいだ有効であり、以下に記載されている合意内容および条件に従わなかった場合に無効となります。その場合、本ソフトウェアのコピーはすべて破棄しなければなりません。

許可されている使用

最初の購入者は、本人が所有または使用している1台のコンピュータにおいて、商用または職業目的で本ソフトウェアを使用することができます。最初の購入者は、許可されている数(デフォルト:1台)の通信デバイスを接続したハードディスクシステムに本ソフトウェアを保存することができます、それを許可されている数のユーザーでを使用することができます。通信デバイスの許可数は、製品の購入時にソフトウェア製品に含まれていたシステム設定ファイルで指定されています。許可されているデバイスおよびユーザーの数を増やす場合は、Wordcraft International Limited またはその認可代理店から有効なライセンスアップグレードを入手してください。

非許可の行為

1. コンピュータサービスまたは電子掲示板から本ソフトウェアをダウンロードすること、およびWordcraft International Limited から使用許可を得ずにマルチサイト環境で本ソフトウェアを使用すること。
2. Wordcraft International Limited からの許可を得ずに、コンピュータサービスビジネス、ネットワーク、時分割、インタラクティブケーブルテレビ、または複数CPU の環境で本ソフトウェアを使用すること。
3. 第二すなわち別のコンピュータまたはネットワークワークステーションでシングルユーザーバージョンを使用すること。複数ユーザーバージョンの詳細については、Wordcraft International Limited の認可取扱店または認可ディストリビューターにお問い合わせになるか、またはWordcraft International Limited に直接お問い合わせください。
4. 第二すなわち別のネットワークでネットワークバージョンを使用すること。
5. 本ソフトウェアの改変または変更、本ソフトウェアの一部または全体と他のプログラムとの併合、あるいは本ソフトウェアのリバースエンジニアリング、デコンパイル処理、または分解。
6. 他人にサブライセンスまたは他の権利を賃貸、譲渡、リース、移転、または授与すること。
7. Wordcraft International Limited に属する文書のコピーを作成すること。
8. 'Not for Resale (転売禁止)', 'Evaluation (評価)', または'Demonstration (デモ)' のマークが付いたソフトウェアを売却または譲渡すること。
9. 上記の「許可されている使用」に含まれていない他の使用(本ソフトウェアの著作権を使用するためのライセンスが必要です)。

本許諾書の規定に従わなかった場合、本許諾書に含まれているライセンスはWordcraft International Limited からの通知を受けることなく自動的に無効となります。

法律の適用

本許諾書には、グレートブリテン- 北アイルランド連合王国の法律が適用されます。

制限付き保証

Wordcraft International Limited は、明示的または黙示的を問わず、本パッケージの内容に関して一切の陳述または保証も行いません。特に、特定の目的に対する市場性または適合性については、明示的または黙示的を問わず、保証の限りではありません。Wordcraft International Limited は、製品に欠陥があった場合に、その代わりとなる製品を提供するか、または現金返済を致します。ただし、現金返済の金額は、製品を最初に購入したときに支払った金額を超えないものとします。如何なる場合においても、Wordcraft International Limited またはその代理店は、特別、偶発的、間接的、または必然的に起こった損傷について一切責任を負いません(収入または利益の減損、職務の中断、損傷または損失データ、その他本製品のインストールまたは使用から発生したすべての損失、または製品を使用できないことによる損害などを無制限に含む)。Wordcraft International Limited は、'Not for Resale (転売禁止)', 'Evaluation (評価)', または'Demonstration (デモ)' のマークが付いたソフトウェアの使用から発生した請求について一切責任を負いません。

Wordcraft International Limited は、ソフトウェアの販売時に認められた用途以外の使用から発生した請求について一切責任を負いません。

Wordcraft International Limited は、サードパーティによる請求について一切責任を負いません。Wordcraft International Limited に与えた、あるいはWordcraft International Limited または認可代理者から与えられた口頭または書面による情報または報告は、新たに保証を与えるものではなく、如何なる方法においても、この保証の範囲を拡張するものではありません。

著作権

Wordcraft International Limited により作成されたソフトウェアおよびマニュアルは、国際著作権条約により保護されています。

商標

Wordcraft はWordcraft International Limited の商標です。

他の商標はすべて承認されています。

パッケージは、インストール作業に伴い自動的に登録されます。

これは、Wordcraft International Limited との合法的な義務契約です。

上記の条件を承諾されない場合は、ソフトウェアパッケージを開梱せずに完全な状態で販売元にご返却ください。

©2007 Wordcraft International Limited

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書の構成は以下のとおりです。目的に応じて各取扱説明書をお読みください。

基本機能

取扱説明書[コピー編](冊子)

e-STUDIO166

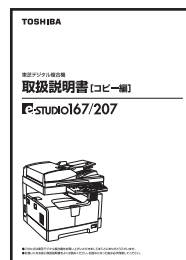
コピー機能を中心に、本機の基本的な使いかたを説明しています。また、必ず守っていただきたい安全上のご注意も記載しています。本機を使用する前に必ずお読みください。



取扱説明書[コピー編](冊子)

e-STUDIO167/207

コピー機能を中心に、本機の基本的な使いかたを説明しています。また、必ず守っていただきたい安全上のご注意も記載しています。本機を使用する前に必ずお読みください。



取扱説明書[TOSHIBA Viewer編](PDFファイル)

付属アプリケーションソフトウェア「TOSHIBA Viewer」の使いかたを説明しています。本機へUSB接続したコンピュータにより、印刷、スキャン、セットアップなど、各種の機能を使用することができます。



PDFファイル形式の取扱説明書を読むには

PDF(Portable Document Format)ファイル形式の取扱説明書は、コンピュータにインストールされたAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerにより表示/印刷することができます。お使いになるコンピュータにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードするなどして、あらかじめインストールしておいてください。

本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

注 意

操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補 足

操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。



関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

商標について

- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

©2007 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

目次

使用許諾.....	1
取扱説明書の構成について	3
本書の読みかた	4

第1章 はじめに

特長および機能について	8
-------------------	---

第2章 インストール

インストールについて	10
インストールする前に	10
USBドライバをインストールする.....	13
プラグアンドプレイを使ってインストールする.....	13
プリンタドライバをローカルクライアントへインストールする	29
プリンタドライバをインストールする前に.....	29
「プリンタの追加ウィザード」からインストールする	30
TOSHIBA Viewerをインストールする	61
TOSHIBA Viewerをインストールする前に	61
インストール手順	61
デバイスセットアップ	66
インストールしたユーザとは異なるユーザでTOSHIBA Viewerを利用するには	73
TOSHIBA Viewerをアンインストールする.....	77
TOSHIBA Viewerをアンインストールする前に	77
e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する	81
e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する前に	81
プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールする	85
プリンタドライバをインストールする前に.....	85
補足.....	108
印刷ジョブを削除する	108

第3章 TOSHIBA Viewerの機能

起動時の画面について	110
各機能の概要	110
フォルダの参照.....	112
「フォルダの参照」の操作方法と機能説明	112
コピー	137
「コピー」の操作方法と機能説明	137
ファイルスキャン	138

「ファイルスキャン」の操作方法と機能説明.....	138
Eメールスキャン	142
「Eメールスキャン」の操作方法と機能説明	142
セットアップ	144
「セットアップ」の操作方法と機能説明	144
TOSHIBA Viewer GDI プリンタ	150
TOSHIBA Viewer GDI プリンタを使った文書の印刷方法	150
索引	155

はじめに

このセクションでは、TOSHIBA Viewerの概要について説明します。

特長および機能について	8
--------------------------	----------

特長および機能について

「TOSHIBA Viewer」は、東芝e-STUDIO166/167/207デジタル複合機を「コピー機」「プリンタ」「ファクス」を統合した複合機およびTWAIN対応スキャン装置として使用することを目的として設計されています。

TOSHIBA Viewerの特長を以下に示します。

- 東芝e-STUDIO166/167/207をプリンタとして使用する
- 東芝e-STUDIO166/167/207をスキャナとして使用する
- 東芝e-STUDIO166/167/207の設定をPCからおこなう
- TWAIN対応スキャナを使って原稿のスキャンをおこなう
- TOSHIBA Viewerでグラフィックファイルを作成する
- TOSHIBA Viewerの検索エンジンにて使用する各ファイルのプロパティを保存する
- スキャンした画像データのルーティング規則をTOSHIBA Viewerのウィザードスタイルを使用して簡単に作成する
- 東芝e-STUDIO167/207に保存されたワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの電話帳の変更または新規作成をPCからおこなう
(ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。)
- 東芝e-STUDIO167/207に保存されたワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルなどの電話帳をTOSHIBA Viewerで作成し、バックアップファイルとして保存する
(ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。)

補 足

ファクス機能は、ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。

注 意

TOSHIBA Viewerは、オプションのネットワークプリンタキット(GA-1190)を接続している場合には使用できません。

本マニュアルでは、GDIプリンタドライバ、TWAINスキャナドライバとTOSHIBA Viewerのインストール手順および機能に関する基本情報について説明します。

インストール

このセクションでは、プリンタ／スキャナドライバとTOSHIBA Viewerのインストール方法について説明します。

インストールについて	10
インストールする前に	10
USBドライバをインストールする	13
プラグアンドプレイを使ってインストールする	13
プリンタドライバをローカルクライアントへインストールする	29
プリンタドライバをインストールする前に	29
「プリンタの追加ウィザード」からインストールする	30
TOSHIBA Viewerをインストールする	61
TOSHIBA Viewerをインストールする前に	61
インストール手順	61
デバイスセットアップ	66
インストールしたユーザとは異なるユーザでTOSHIBA Viewerを利用するには	73
TOSHIBA Viewerをアンインストールする	77
TOSHIBA Viewerをアンインストールする前に	77
e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する	81
e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する前に	81
プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールする	85
プリンタドライバをインストールする前に	85
補足	108
印刷ジョブを削除する	108

インストールについて

プリンタ／スキャナドライバとTOSHIBA Viewerをインストールする前に、本セクションをお読みになり、インストールに必要な環境および各ソフトウェアのインストール手順をご確認ください。

インストールする前に

必要環境

下記の必要環境は、動作を保証する最低限の環境です。

一般的なWindowsのアプリケーション同様、TOSHIBA Viewerも処理速度がより速いCPU、あるいはメモリ容量がより大きなRAMを搭載したPC上の方が、アプリケーションのパフォーマンスは向上します。

TOSHIBA ViewerをPC上で他のアプリケーションと同時にご使用になる場合は、処理速度がより速いCPUの搭載およびメモリの追加をお勧めします。

TOSHIBA Viewerシステムは、Microsoft Windows 98 Second Edition、Microsoft Windows Me、Microsoft Windows 2000、Microsoft Windows XP および Microsoft Windows Server 2003に適合します。

PCが下記条件を満たしているか、ご確認ください。

注 意

64-bit OS には対応していません。

PC:	PC/AT互換機、Pentium 120 MHz以上： Windows 98 Second Edition PC/AT互換機、 Pentium 150 MHz以上： Windows Me または Windows 2000 Professional PC/ AT互換機、 Pentium 300 MHz以上： Windows XP Home/Professionalまたは Windows 2000 Server PC/AT互換機、 Pentium 400 MHz以上： Windows Server 2003
OS:	Microsoft Windows 98 Second Edition Microsoft Windows Me Microsoft Windows 2000 Professional/Server Microsoft Windows XP Home/Professional Microsoft Windows Server 2003
PCメモリ:	32MB RAM: Windows 98 Second Edition 64MB RAM (128MB推奨): Windows Me または Windows 2000 Professional 128MB RAM: Windows XP Home/Professional 256MB RAM: Windows 2000 Server 512MB RAM: Windows Server 2003
ディスプレイ:	24-bitカラービデオカードおよびドライバ推奨

TOSHIBA Viewer CD-ROMの構成






CD-ROMの構成および各フォルダの使用目的を下記に示します。

- ¥Toshiba Viewer
TOSHIBA Viewer、プリンタドライバおよびTWAINドライバをインストールする「Setup.exe」が含まれています。
- ¥Driv_USB¥e-ST166,167,207¥Win98SE
Windows 98 SE用USBドライバが含まれています。
- ¥Driv_USB¥e-ST166,167,207¥WinMe
Windows Me用USBドライバが含まれています。
- ¥Driv_USB¥e-ST166,167,207¥Win2k
Windows 2000用USBドライバが含まれています。
- ¥Driv_USB¥e-ST166,167,207¥WinXP
Windows XP用USBドライバが含まれています。
- ¥Driv_USB¥e-ST166,167,207¥Win2003
Windows Server 2003用USBドライバが含まれています。
- ¥Driv9xMe¥Local¥Japanese
東芝e-STUDIO166/167/207をローカルプリンタとして接続しているWindows 98/Meにプリンタの追加ウィザードを使ってインストールするためのプリンタドライバおよびTWAINドライバが含まれています。
- ¥Driv9xMe¥Network¥Japanese
ネットワーククライアントのWindows 98 SE/Meにインストールするためのプリンタドライバが含まれています。
- ¥Driv2kXp¥Local¥Japanese
東芝e-STUDIO166/167/207をローカルプリンタとして接続しているWindows 2000/XP/Server 2003にプリンタの追加ウィザードを使ってインストールするためのプリンタドライバおよびTWAINドライバが含まれています。
- ¥Driv2kXp¥Network¥Japanese
ネットワーククライアントのWindows 2000/XP/Server 2003にインストールするためのプリンタドライバが含まれています。

インストール方法

東芝e-STUDIO166/167/207の各ソフトウェアのインストールは、下記の手順にしたがっておこないます。TOSHIBA Viewerやネットワーククライアントへのプリンタドライバのインストールなど、ご使用の環境によりインストール方法は異なります。

下記説明をお読みになり、使用環境に適したソフトウェアのインストールをおこなってください。

-  P.13「USBドライバをインストールする」
東芝e-STUDIO166/167/207をローカルプリンタとしてUSBケーブルで接続する場合は、まず最初にUSBドライバをインストールします。
-  P.29「プリンタドライバをローカルクライアントへインストールする」
USBドライバをインストールしたら、GDIプリンタドライバをインストールします。
Windows 2000、XP、Server 2003では、USBドライバのインストールを完了すると、GDIプリンタドライバは自動的にインストールされます。
プリンタドライバをインストールすると、e-STUDIO166/167/207で文書の印刷をおこなうことができます。
-  P.61「TOSHIBA Viewerをインストールする」
GDIプリンタドライバをインストールした後に、必要に応じてTOSHIBA Viewerをインストールします。
TOSHIBA Viewerは、PCから東芝e-STUDIO166/167/207を管理するためのユーティリティです。インストールすることにより、PCからスキャンジョブやコピージョブの実行、およびデバイスの各設定をおこなうことができます。
TOSHIBA Viewerの詳細については、以下のページを参照してください。
 P.110「起動時の画面について」
-  P.85「プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールする」
e-STUDIO166/167/207のローカル環境での設置とローカルクライアントへのプリンタドライバのインストールが完了したら、GDIプリンタドライバをネットワーククライアントへインストールします。
プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールすると、e-STUDIO166/167/207が接続されているリモートPCを介して、e-STUDIO166/167/207をネットワーク環境で 사용할 ことができます。

補 足

以降のインストール手順で使用している画面は、e-STUDIO166を接続したときの画面です。

USBドライバをインストールする

注意

下記操作をおこなっているときは、e-STUDIO166/167/207の電源を切ったり、USBケーブルを抜いたりしないでください。

- お使いのPCにUSBドライバやGDIプリンタドライバなどをインストールしているとき
- e-STUDIO166/167/207へ印刷ジョブを送信しているときや、e-STUDIO166/167/207からスキャンイメージを取り込んでいるとき

プラグアンドプレイを使ってインストールする

USBケーブルでe-STUDIO166/167/207とPCを接続した状態で、Windowsを起動するとPCはe-STUDIO166/167/207を自動的に検出し、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

USBドライバはCD-ROMの「Driv_USB」フォルダに収録されています。お使いのWindowsのバージョンに合わせ、インストールするドライバを選択してください。

注意

TOSHIBA Viewerとe-STUDIO166/167/207が通信をおこなうため、新たなCOMポートがインストールされます。インストール方法は、Windowsのバージョンにより異なります。

📖 P.13 「Windows 98 SE/Me」

📖 P.19 「Windows 2000」

📖 P.24 「Windows XP/Server 2003」

Windows 98 SE/Me

ここでは、Windows 98 Second Editionにインストールする例で説明します。

Windows Meをお使いの場合も手順は、ほぼ同じです。

注意

プラグアンドプレイ機能を使ってUSBドライバをインストールする際は、以下の点にご注意ください。

USBドライバのインストール操作を2回実行することにより、お使いのPCにCOMポートがインストールされます。

「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面で、インストールを完了し**【完了】**ボタンをクリックしても、通信をおこなうためのCOMポートが作成されません。

【完了】ボタンをクリックした後に、「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が再表示されますので、本マニュアルに記載してある手順に従って、再度USBドライバのインストールを実行してください。

- 1 e-STUDIO166/167/207とPCをUSBケーブルで接続します。
e-STUDIO166/167/207の電源を入れ、Windowsを起動します。**

2 デバイスが検出されると、プラグアンドプレイ画面が表示されます。

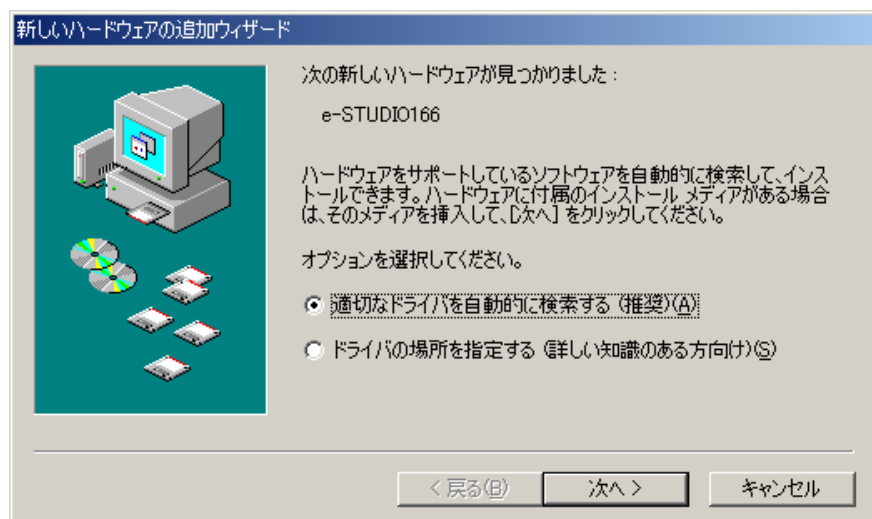
Windows 98 SE

[次へ]をクリックします。



Windows Me

手順3へ進みます。



3 検索方法を選択します。

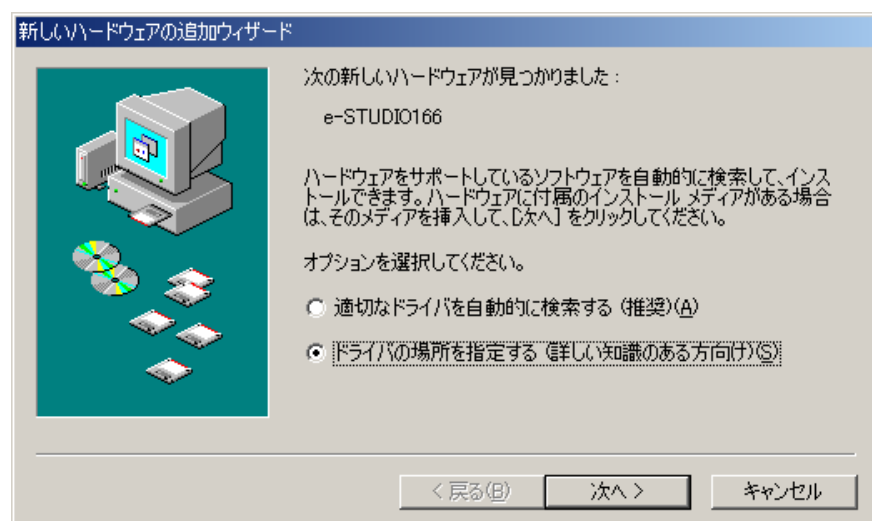
Windows 98 SE

[使用中のデバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



Windows Me

[ドライバの場所を指定する(詳しい知識のある方向け)]を選択し、[次へ]をクリックします。



4 検索場所を選択します。

[検索場所の指定]を選択し、[参照]をクリックします。



5 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

6 USBドライバフォルダを参照します。

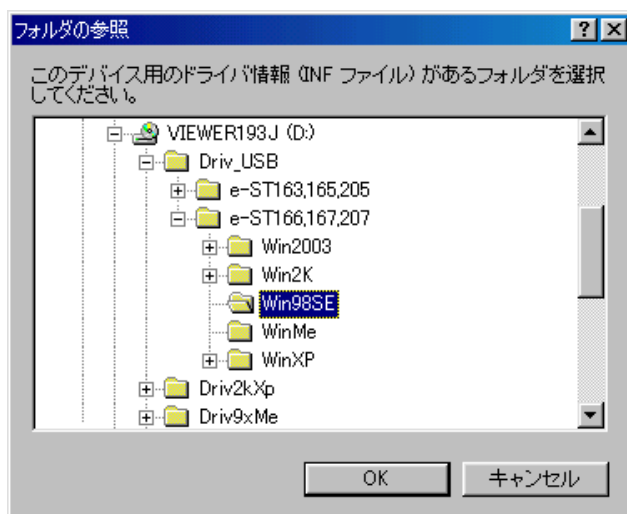
Windows 98 SEをお使いのときは

[CD-ROMドライブ]: ¥ Driv_USB ¥ e-ST166,167,207 ¥ Win98SE

Windows Meをお使いのときは

[CD-ROMドライブ]: ¥ Driv_USB ¥ e-ST166,167,207 ¥ WinMe

フォルダを選択し、[OK]をクリックします。

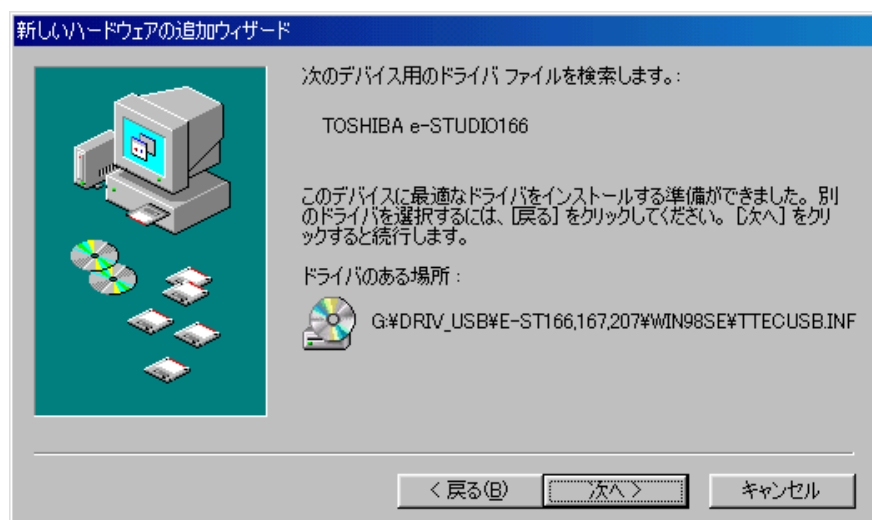


7 [次へ]をクリックします。



8 [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーを開始します。



9 [完了]をクリックして、インストールを終了します。

手順10へ進みます。

インストール操作を2回実行することにより、お使いのPCに新たなCOMポートがインストールされます。



10 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が再表示されます。

手順2から手順9の説明に従って、再度USBドライバのインストールを実行してください。

実行後に新たなCOMポートがインストールされます。例えば、お使いのPCにCOM1とCOM2がある場合、COM3が追加されます。このポートを使って、e-STUDIO166/167/207と通信をおこないます。

手順11へ進みます。



11 USBドライバのインストールが完了すると、自動的に「プリンタの追加ウィザード」が起動します。

「プリンタの追加ウィザード」からインストールする」の手順4以降の説明に従って、e-STUDIO166/167/207プリンタドライバをインストールしてください。

📖 P.30 「「プリンタの追加ウィザード」からインストールする」

補 足

「プリンタの追加ウィザード」が表示されない、または「プリンタの追加ウィザード」で[キャンセル]をクリックした場合は、以下のページへ進んでe-STUDIO166/167/207プリンタドライバをインストールしてください。

📖 P.30 「「プリンタの追加ウィザード」からインストールする」

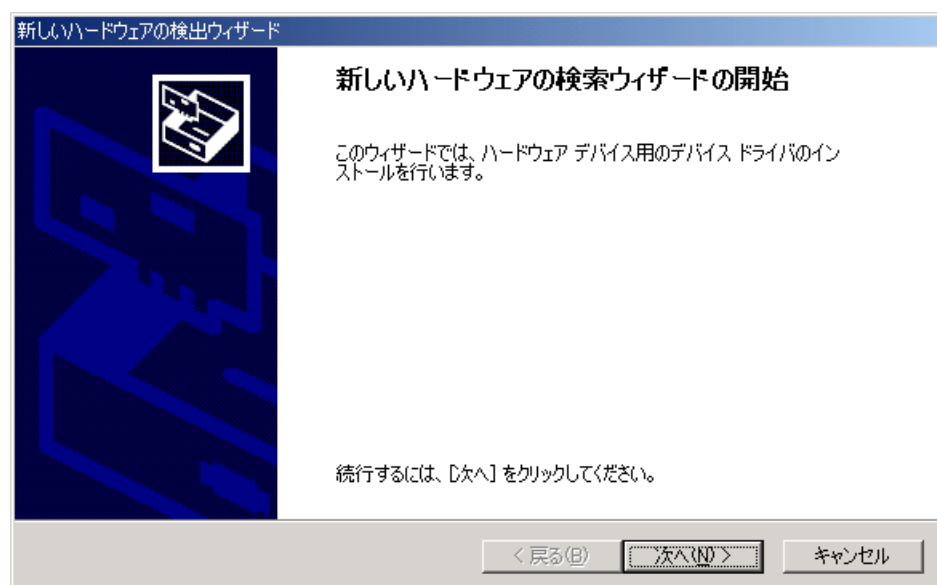
Windows 2000

注 意

Administrators(管理者)としてログインする必要があります。

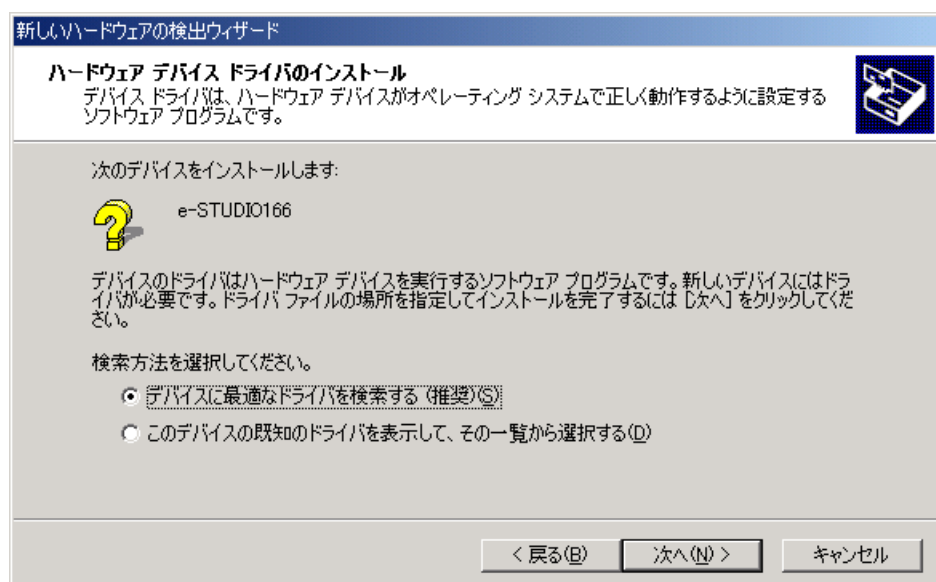
- 1 e-STUDIO166/167/207とPCをUSBケーブルで接続します。
e-STUDIO166/167/207の電源を入れ、Windowsを起動します。

- 2 デバイスが検出されると、プラグアンドプレイ画面が表示されます。
[次へ]をクリックします。



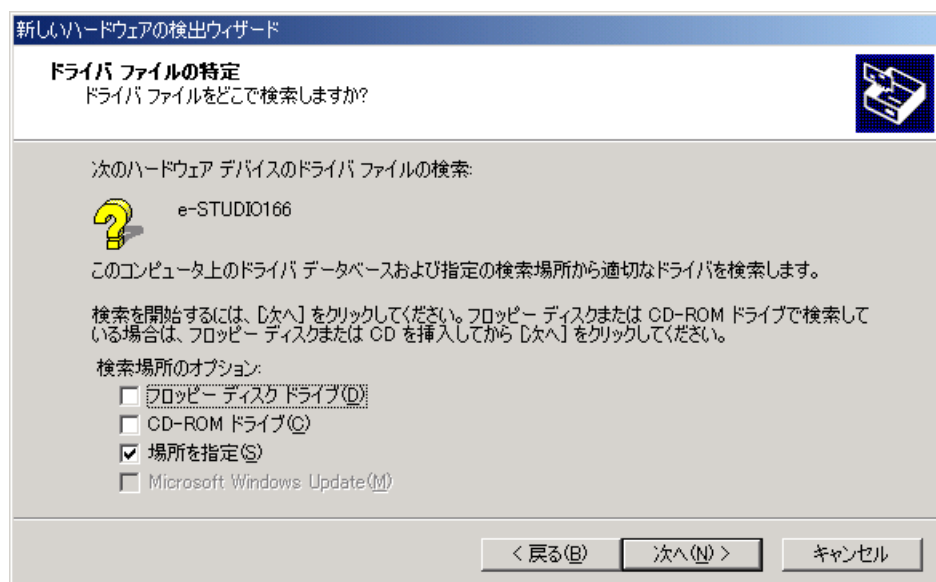
3 インストールするドライバを選択します。

[デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



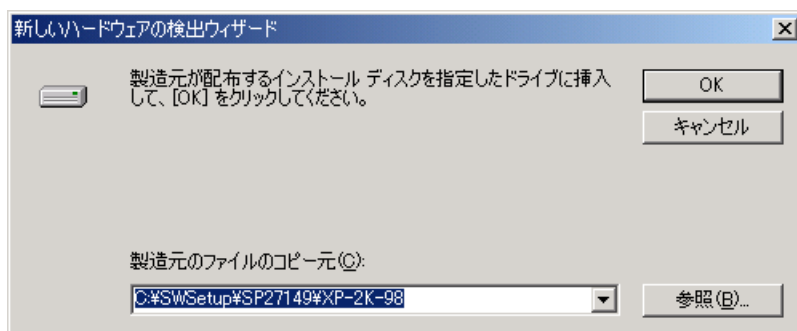
4 検索場所を選択します。

[場所を指定]を選択し、[次へ]をクリックします。



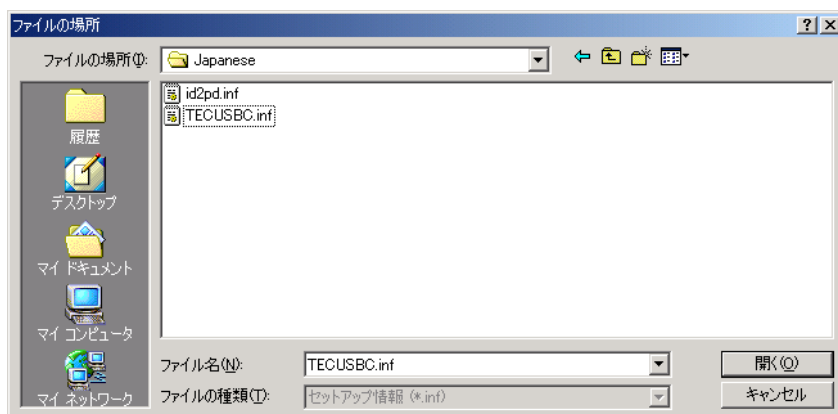
5 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

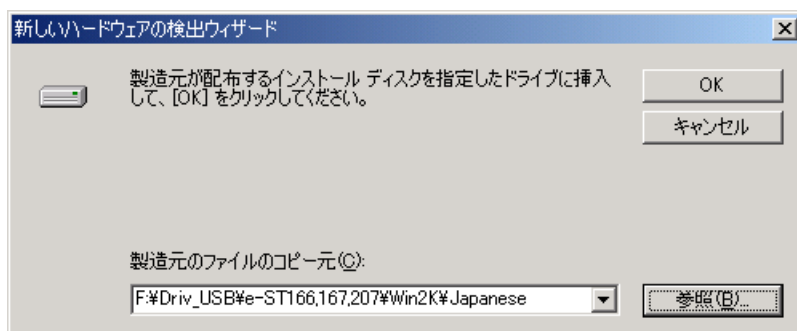


6 USBドライバフォルダを参照します。

CD-ROMの「Driv_USB¥e-ST166,167,207¥Win2k¥Japanese」フォルダを参照し、[開く]をクリックします。

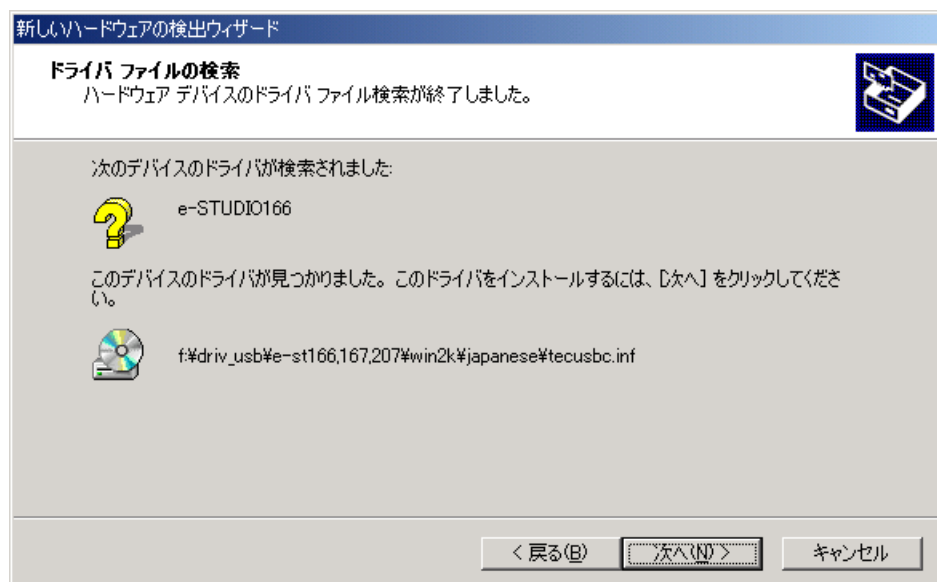


7 [OK]をクリックします。

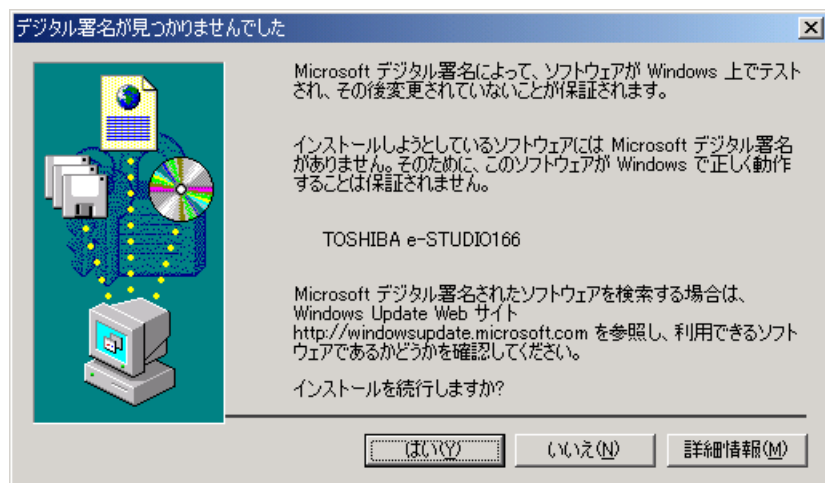


8 [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーを開始します。

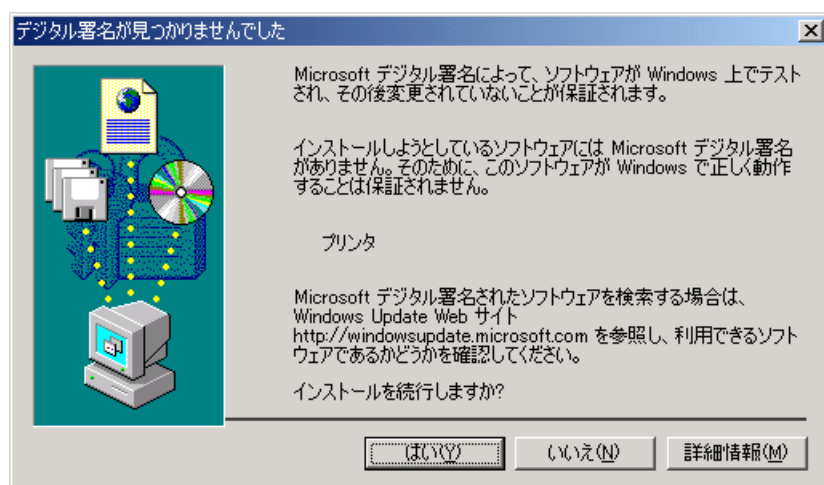


9 [はい]をクリックします。



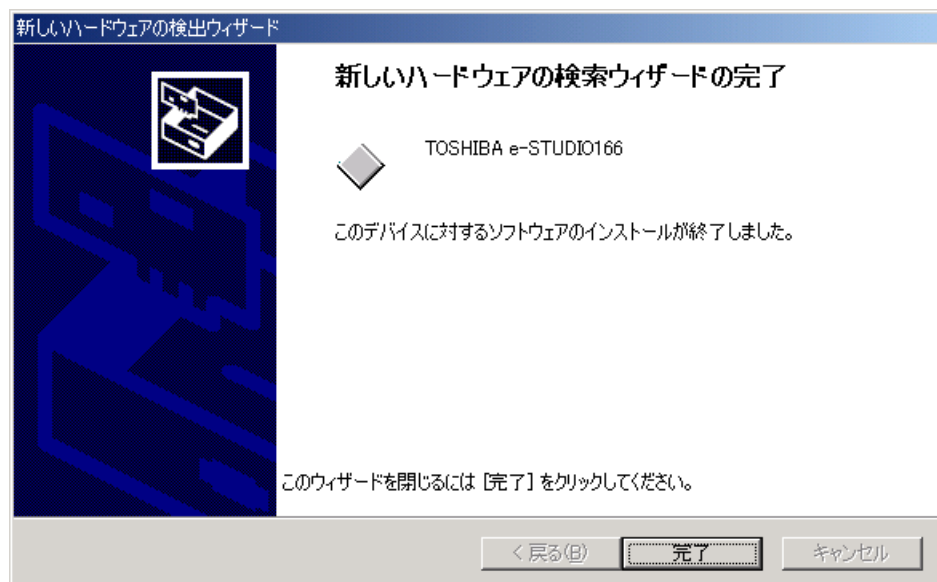
10 USBドライバのインストールが完了すると、自動的にe-STUDIO166/167/207プリンタドライバのインストールが実行されます。

このまま[はい]をクリックします。



11 [完了]をクリックし、インストールを終了します。

新たなCOMポートがインストールされます。例えば、お使いのPCにCOM1とCOM2がある場合、COM3が追加されます。このポートを使って、e-STUDIO166/167/207と通信をおこないます。



Windows XP/Server 2003

ここでは、Windows XPにインストールする例で説明します。
Windows Server 2003をお使いの場合も手順は、ほぼ同じです。

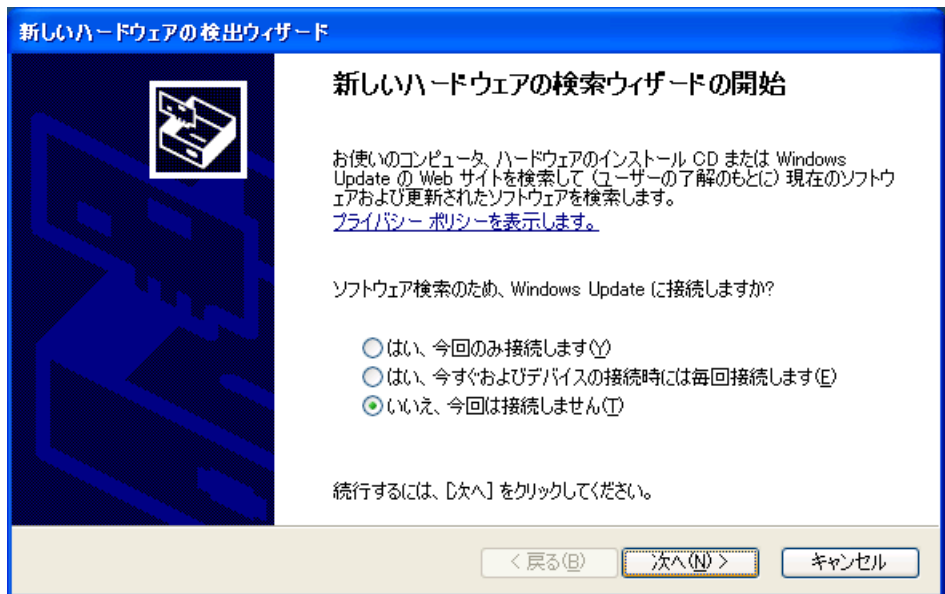
注意

Administrators(管理者)としてログインする必要があります。

- 1 e-STUDIO166/167/207とPCをUSBケーブルで接続します。
e-STUDIO166/167/207の電源を入れ、Windowsを起動します。
「新しいハードウェアの検出ウィザード」ダイアログボックスが表示されます。

- 2 ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続するかを選択します。

[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックします。

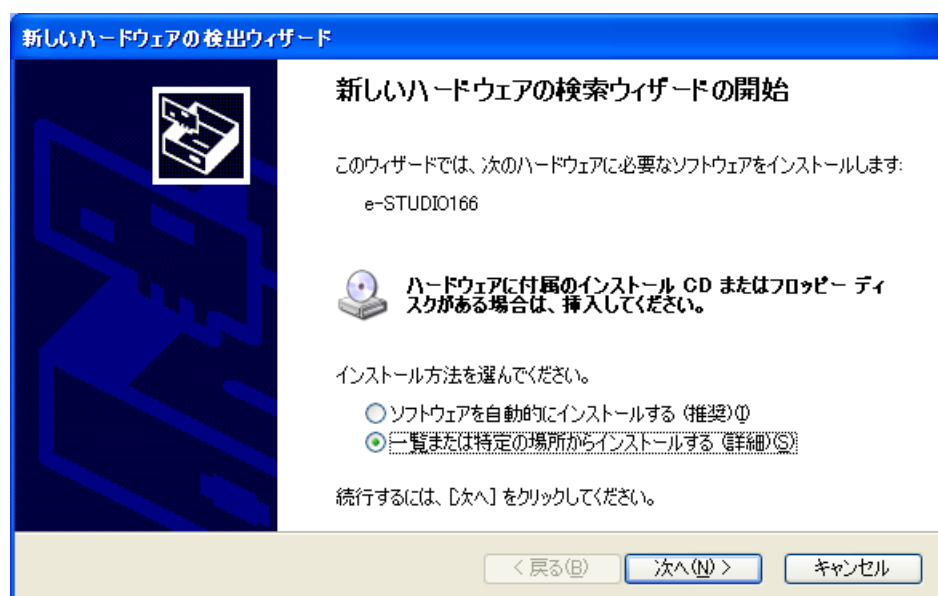


補足

上記画面は、SP1またはそれ以前のバージョンでは表示されません。

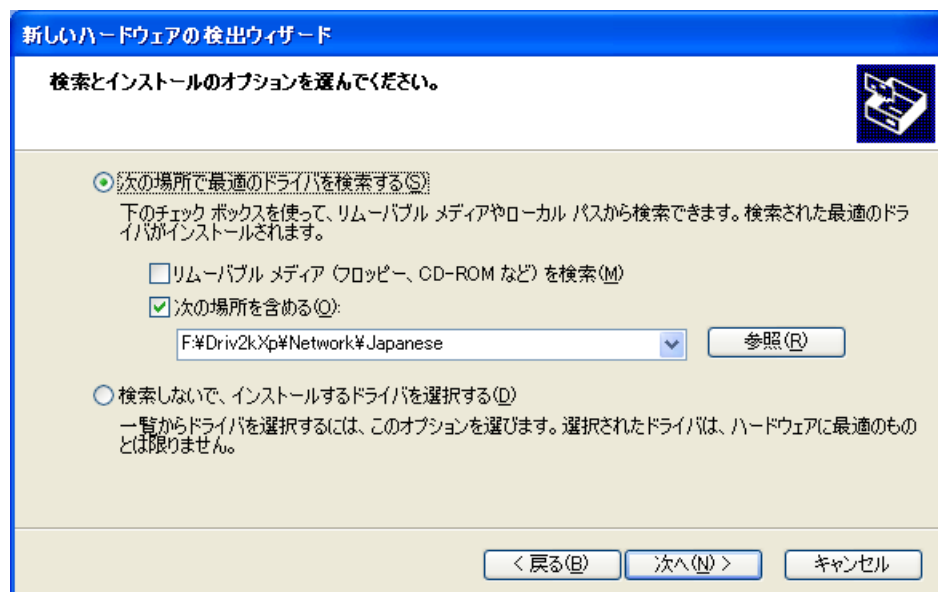
3 インストール方法を選択します。

【一覧または特定の場所からインストールする(詳細)】を選択し、【次へ】をクリックします。



4 検索場所を選択します。

【次の場所で最適なドライバを検索する】を選択し、【次の場所を含める】チェックボックスをチェックします。【参照】をクリックします。



5 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

6 USBドライブフォルダを参照します。

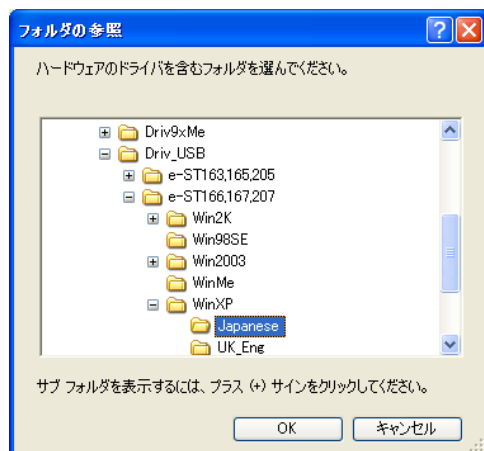
Windows XPをお使いのときは

[CD-ROMドライブ]: ¥ Driv_USB ¥ e-ST166,167,207 ¥ WinXP ¥ Japanese

Windows Server 2003をお使いのときは

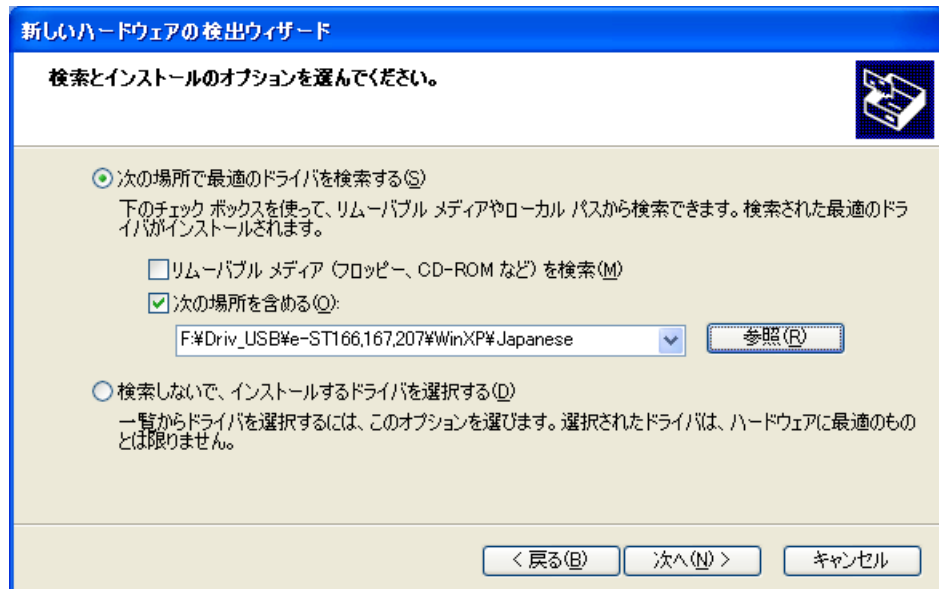
[CD-ROMドライブ]: ¥ Driv_USB ¥ e-ST166,167,207 ¥ Win2003 ¥ Japanese

フォルダを選択し、[OK]をクリックします。

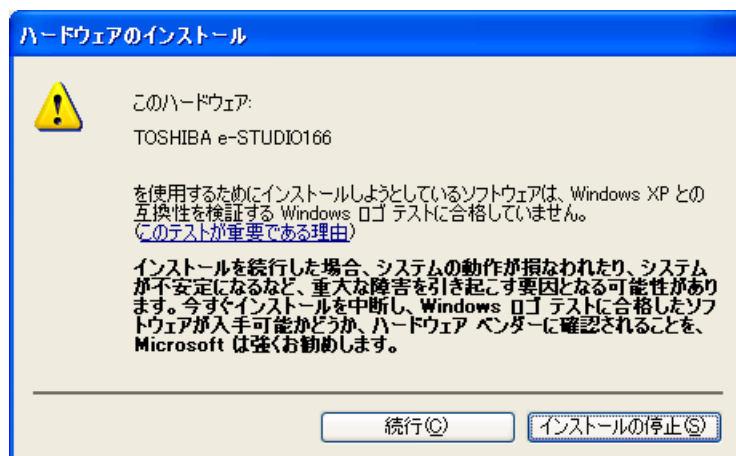


7 [次へ]をクリックします。

ファイルのコピーを開始します。



8 [続行]をクリックします。

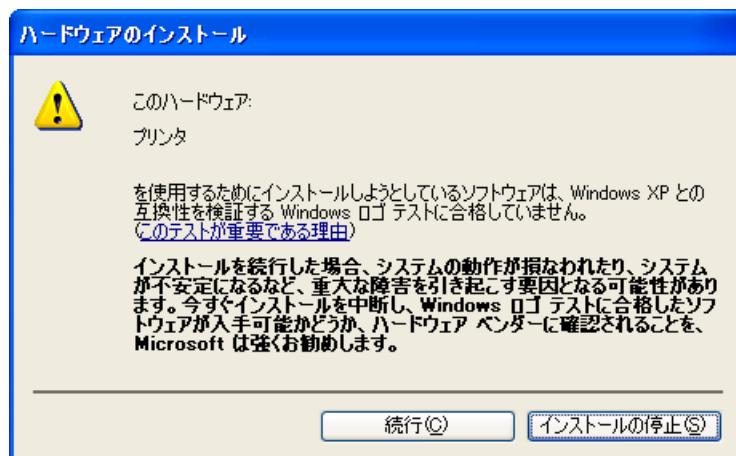


注 意

お使いのPCの環境により、[続行]をクリックした際に、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が再表示される場合があります。この場合には、手順2から手順8の説明に従って、再度USBドライバのインストールを実行してください。

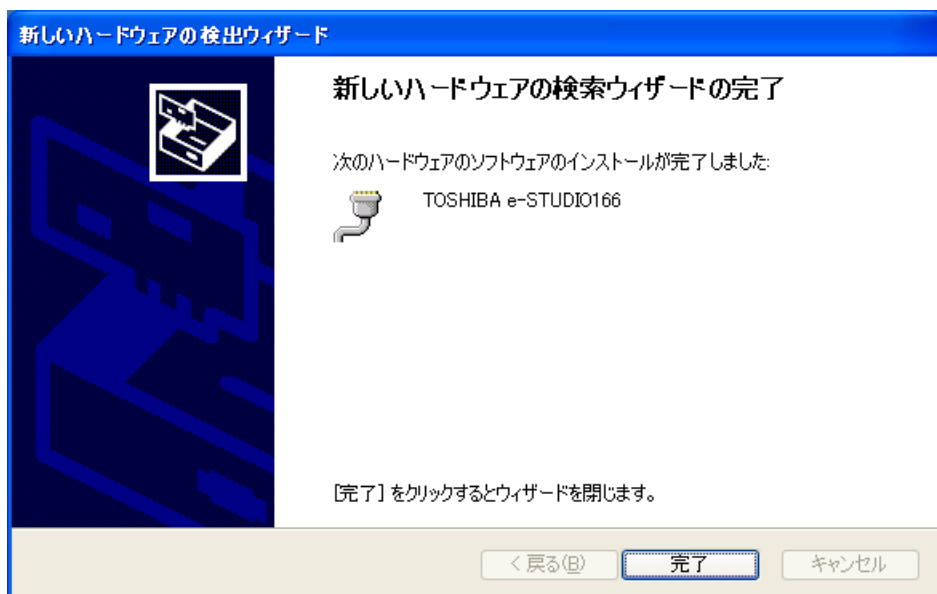
9 USBドライバのインストールが完了すると、自動的にe-STUDIO166/167/207プリンタドライバのインストールが実行されます。

このまま[続行]をクリックします。



10 [完了]をクリックし、インストールを終了します。

新たなCOMポートがインストールされます。例えば、お使いのPCにCOM1とCOM2がある場合、COM3が追加されます。このポートを使って、e-STUDIO166/167/207と通信をおこないます。



プリンタドライバをローカルクライアントへインストールする

プリンタドライバをインストールする前に

プリンタドライバをインストールする前に、下記説明をお読みください。

PCに以前のバージョンのプリンタドライバがインストールされている場合には...

Windows起動直後に、「プリンタ」フォルダからプリンタを削除してください。

(削除前にプリンタドライバを使用すると、プリンタドライバは正常に削除されません。)

「プリンタの追加ウィザード」からインストールする

e-STUDIO166/167/207をPCにローカルデバイス(COM)デバイスとして接続すれば、以下の手順を使ってプリンタドライバをインストールすることができます。

インストール手順は、Windowsのバージョンにより異なります。

📖 P.30 「Windows 98 SE/Me」

📖 P.37 「Windows 2000」

📖 P.49 「Windows XP/Server 2003」

Windows 98 SE/Me

注 意

ここでは、Windows 98 Second Editionにインストールする例で説明します。
Windows Meをお使いの場合も手順は、ほぼ同じです。

下記をご確認ください。

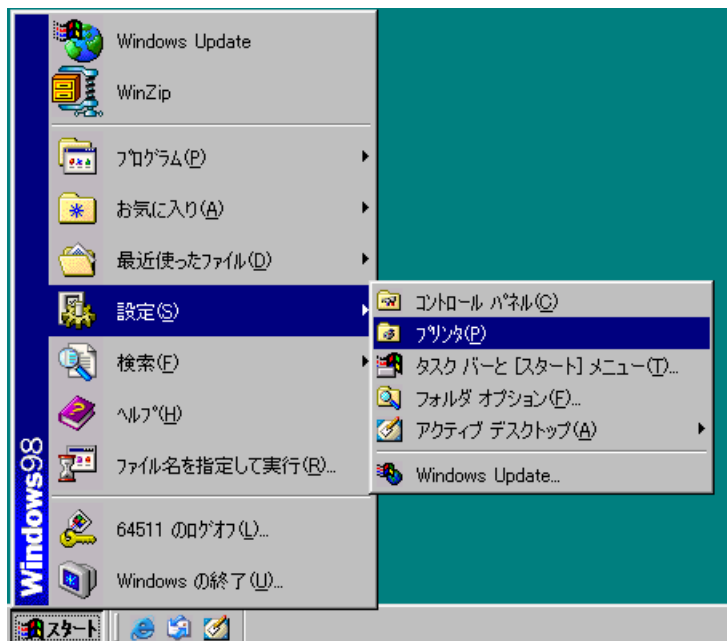
- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- 東芝e-STUDIO166/167/207とPCが接続され、電源が入っていること。
- USBドライバがPCにインストールされていること。

USBドライバをインストールする場合は、以下のページを参照してください。

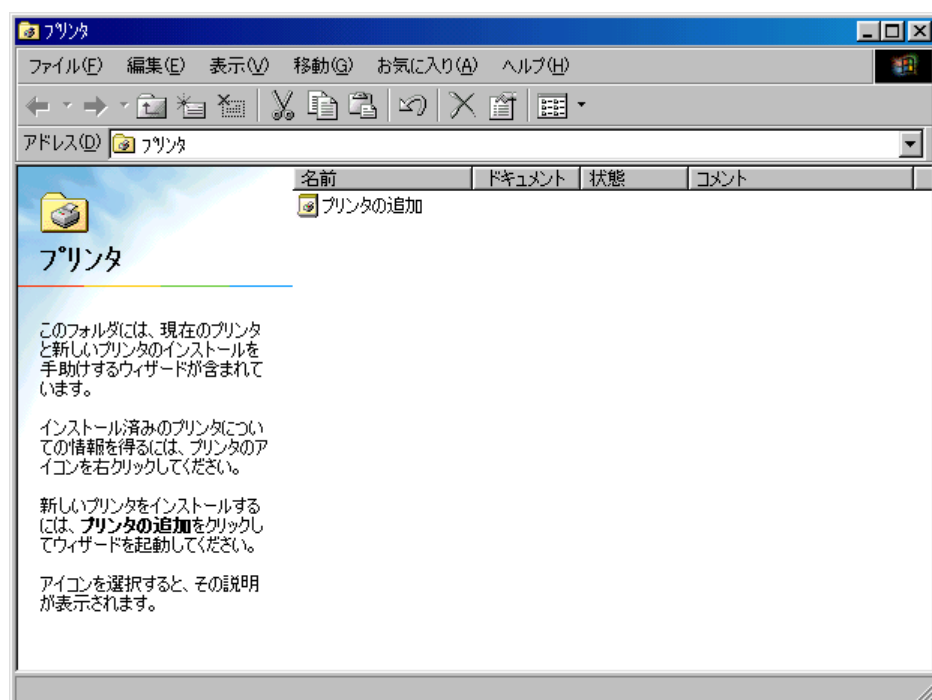
📖 P.13 「Windows 98 SE/Me」

1 「プリンタ」フォルダを開きます。

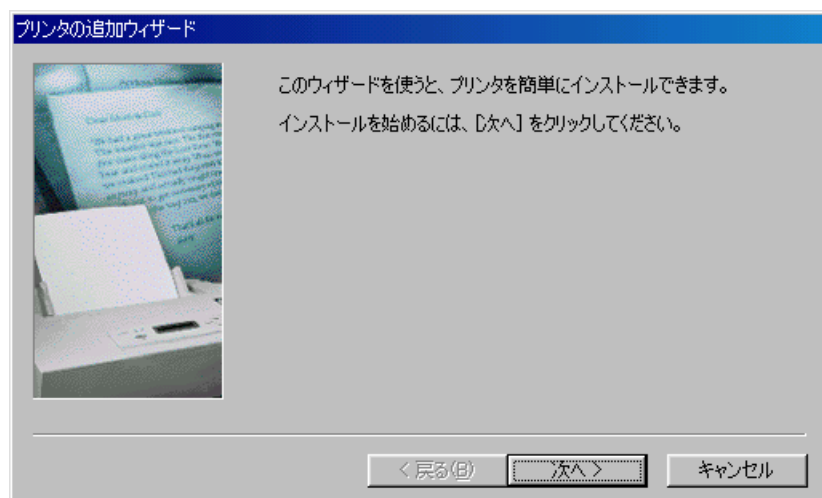
スタートメニューから[設定]－[プリンタ]を選択します。



2 [プリンタの追加]をダブルクリックします。

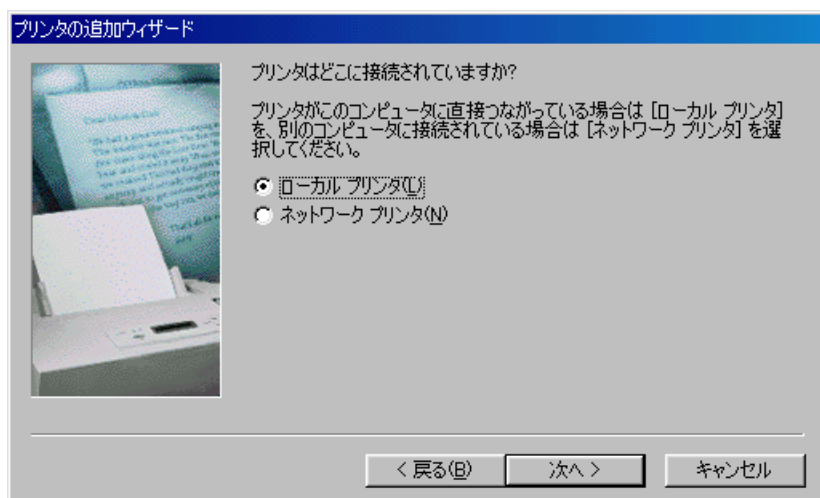


3 [次へ]をクリックします。



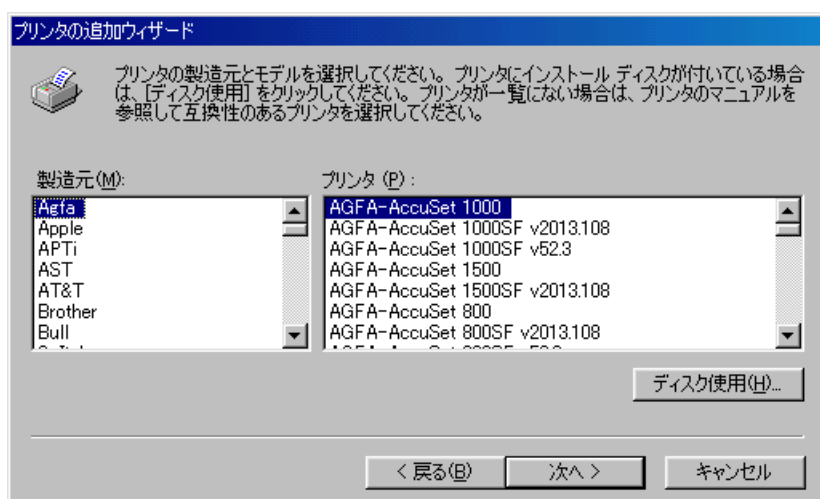
4 [ローカルプリンタ]をチェックします。

[次へ]をクリックします。



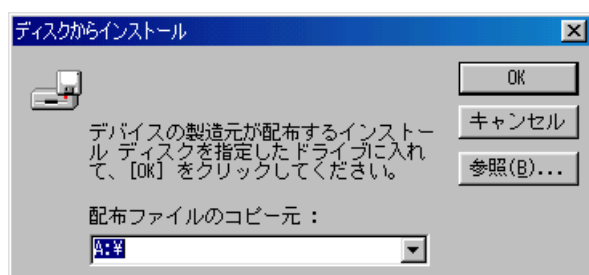
5 プリンター一覧が表示されます。

[ディスク使用]をクリックします。



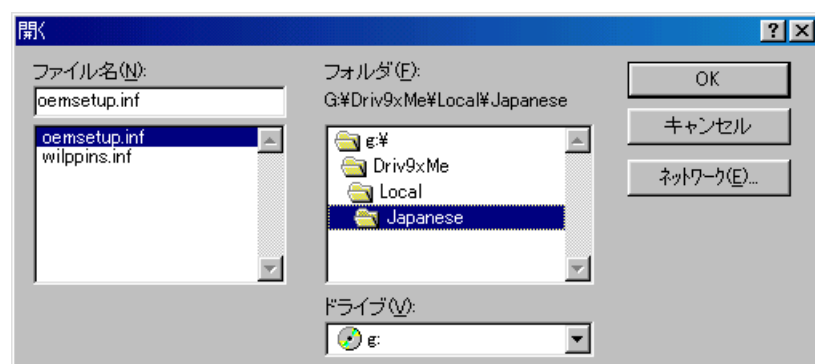
6 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

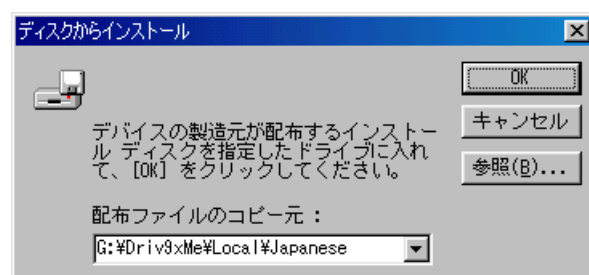


7 プリントドライバフォルダを参照します。

CD-ROMの「Drv9xMe¥Local¥Japanese」フォルダを参照し、[OK]をクリックします。

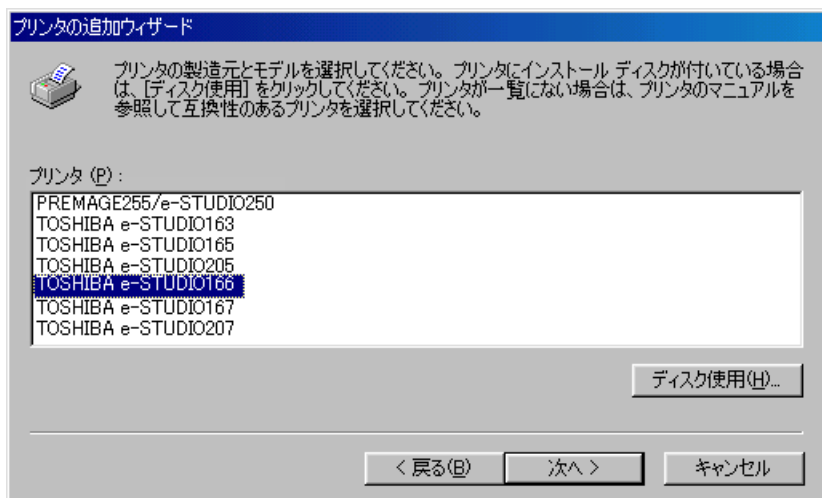


8 [OK]をクリックします。



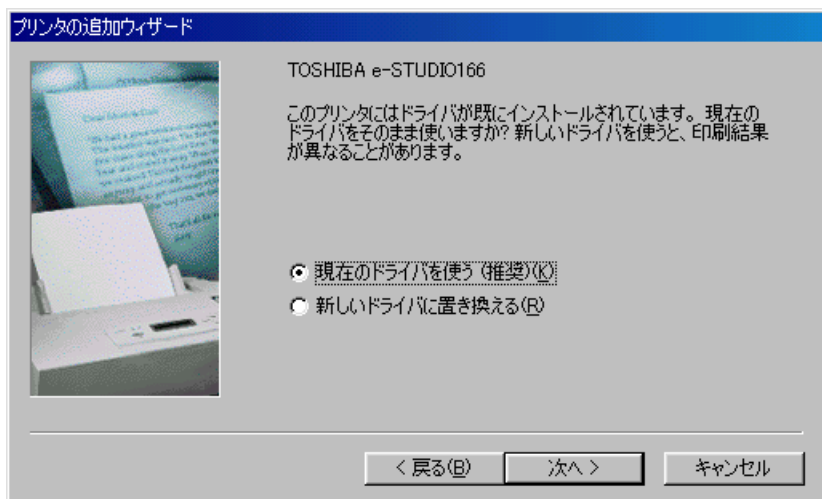
9 プリンター一覧から使用するプリンタを選択します。

[次へ]をクリックします。



10 既存のプリンタドライバを使用するかを選択します。

[現在のドライバを使う(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



補 足

上記画面は、お使いのPCにe-STUDIO166/167/207プリンタドライバが既にインストールされている場合に、表示されます。

11 プリンタを接続するポートを選択します。

[COMポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

補 足

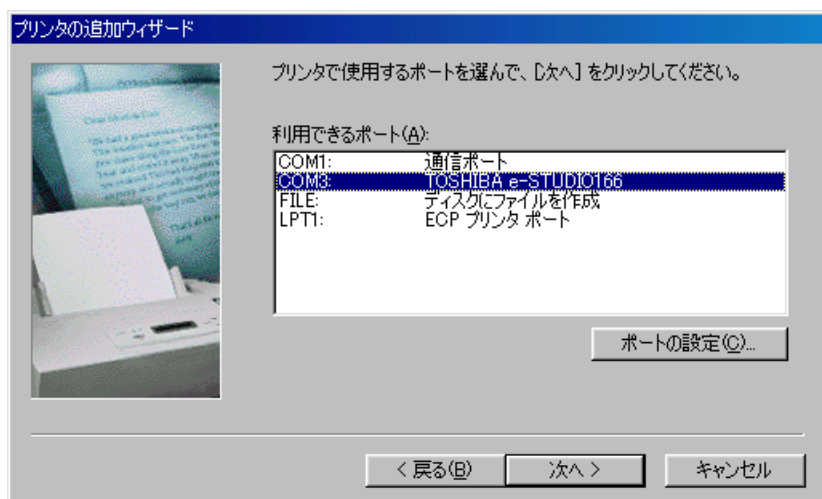
- USBドライバをインストールしたときに作成されたCOMポートを指定します。

☞ P.13「USBドライバをインストールする」

例:COM3

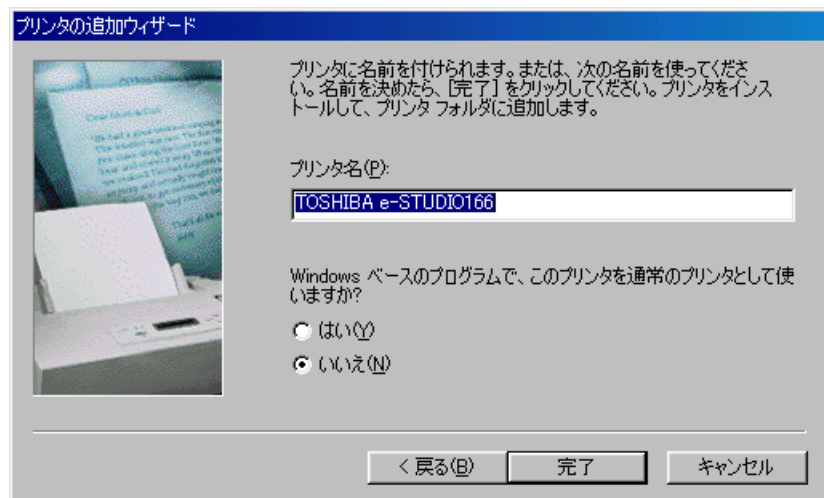
- 新しいCOMポートの割り当ては、**デバイスマネージャ**から確認することができます。

Windows 98 SE/Me: **スタートメニュー**から**[設定] – [コントロールパネル]**を選択します。**[システム]**をダブルクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。**[デバイスマネージャ]**タブをクリックし、**ポート**の「+」マークをクリックします。



12 プリンタ名を入力し、e-STUDIO166/167/207を通常のプリンタとして使用するかを選択します。

必要に応じて、プリンタ名を変更します。[完了]をクリックすると、各ファイルがコピーされ、インストールされます。



13 CD-ROMドライブにWindows 98 Second Edition CD-ROMをセットし、[OK]をクリックします。



14 インストールが完了しました。

東芝e-STUDIO166/167/207プリンタドライバがインストールされ、プリンタが使用可能となります。

印字テストをおこなう場合は、「プリンタ」フォルダのプリンタアイコンを右クリックし、**プロパティ**を選択します。プリンタのプロパティの**[全般]**タブから**[印字テスト]**をクリックします。

補 足

プリンタドライバを削除するときは

「プリンタ」フォルダで削除するプリンタを選択し、キーボードの**[Delete]**を押します。

TOSHIBA Viewerを使用する場合は、以下のページを参照してインストールしてください。

📖 P.61 「TOSHIBA Viewerをインストールする」

Windows 2000

注意

下記を確認してください。

- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- 東芝e-STUDIO166/167/207とPCが接続され、電源が入っていること。
- USBドライバがPCにインストールされていること。

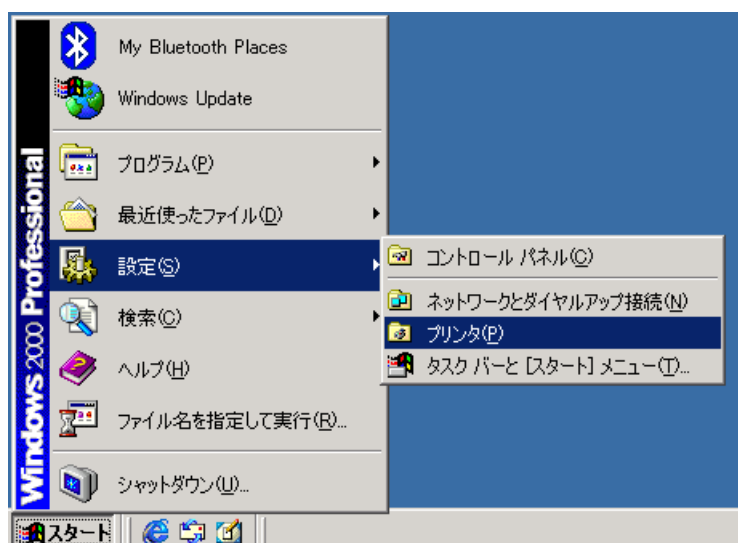
USBドライバをインストールする場合は、以下のページを参照してください。

📖 P.19「Windows 2000」

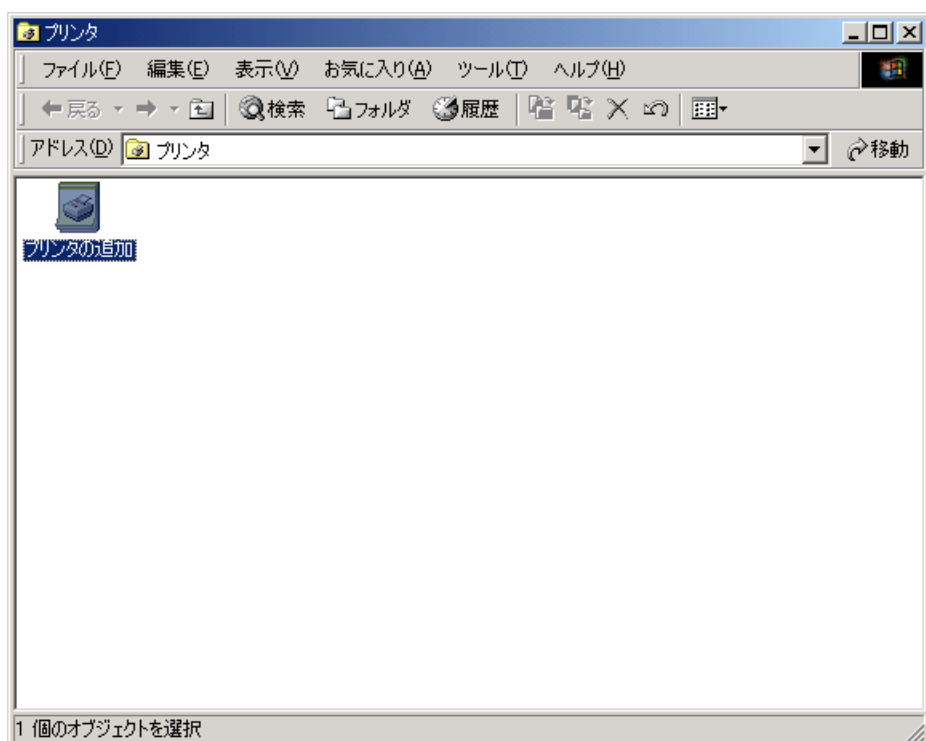
- Administrators(管理者)としてログインする必要があります。

1 「プリンタ」フォルダを開きます。

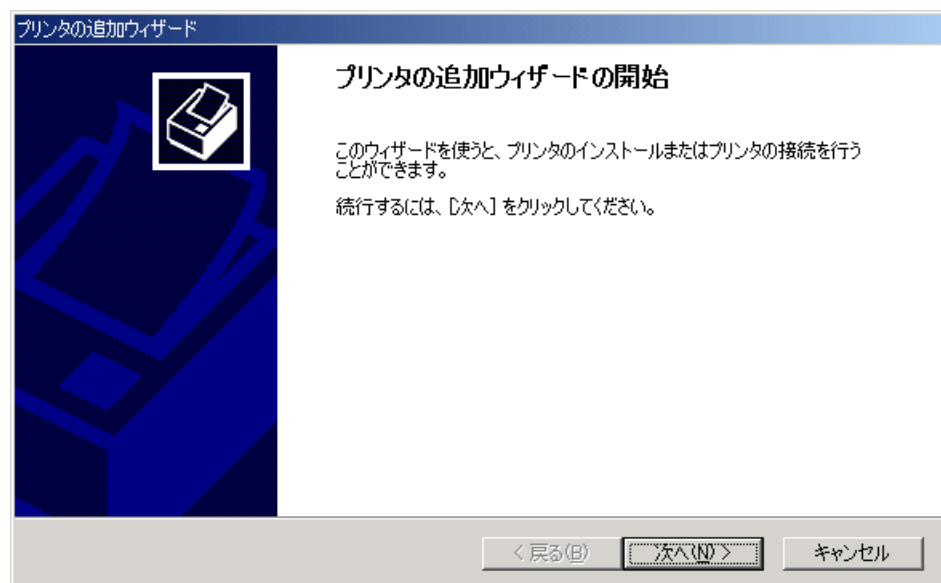
スタートメニューから[設定]－[プリンタ]を選択します。



2 [プリンタの追加]をダブルクリックします。

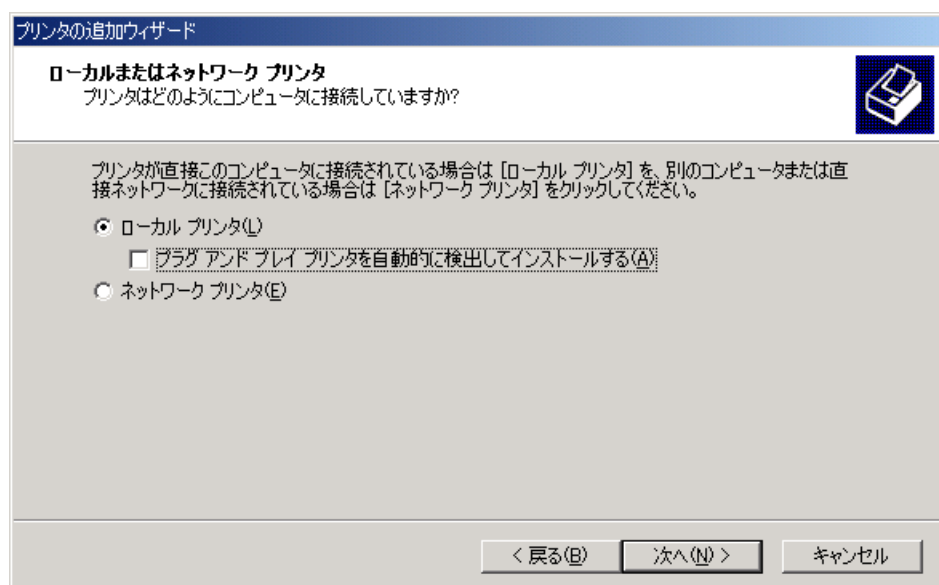


3 [次へ]をクリックします。



4 「ローカルプリンタ」を選択します。


「プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする」のチェックを外し、「次へ」をクリックします。



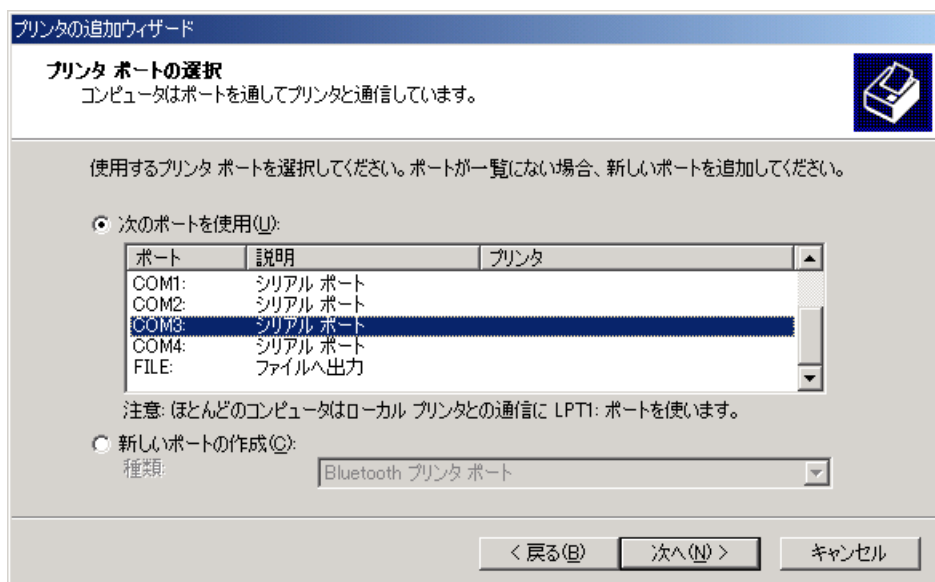
5 プリンタを接続するポートを選択します。

[COMポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

補 足

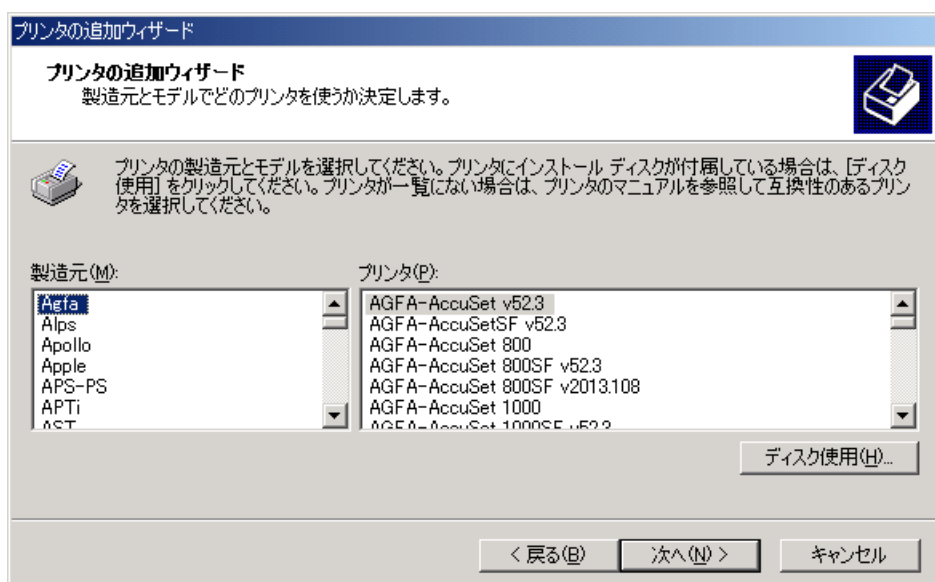
- USBドライバをインストールしたときに作成されたCOMポートを指定します。
 P.13 「USBドライバをインストールする」
 例: COM3
- 新しいCOMポートの割り当ては、**デバイスマネージャ**から確認することができます。

Windows 2000: スタートメニューから**[設定] – [コントロールパネル]**を選択します。**[システム]**をダブルクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。**[ハードウェア]**タブをクリックし、**[デバイスマネージャ]**ボタンをクリックしたら、**ポート**の「+」マークをクリックします。



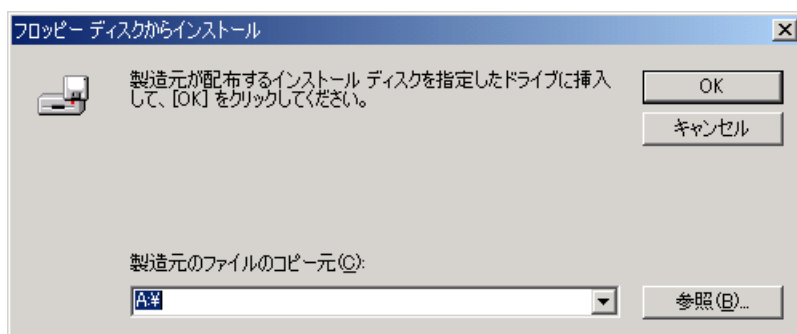
6 プリンター一覧が表示されます。

[ディスク使用]をクリックします。



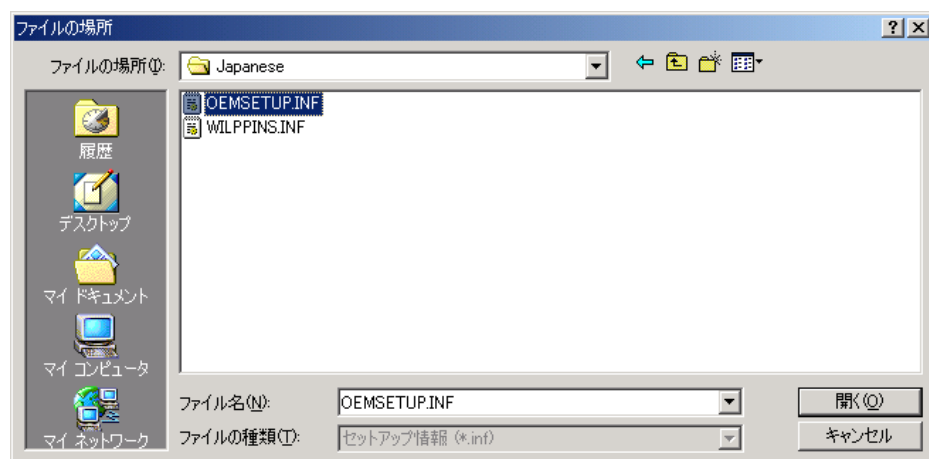
7 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

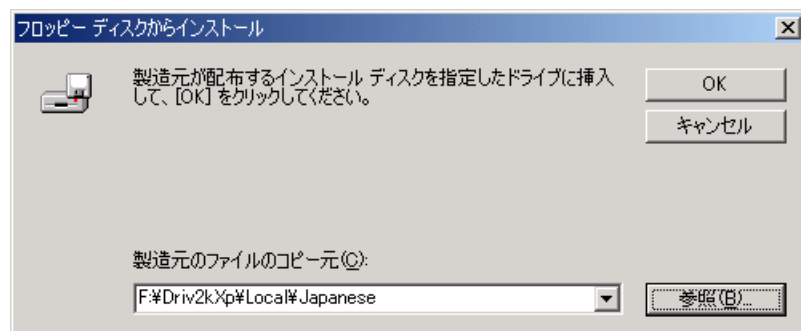


8 プリンタドライバのフォルダを参照してください。

CD-ROMの「Drv2kXp¥Local¥Japanese」フォルダを参照します。
ファイル名で「oemsetup.inf」を選択し、**【開く】**をクリックします。

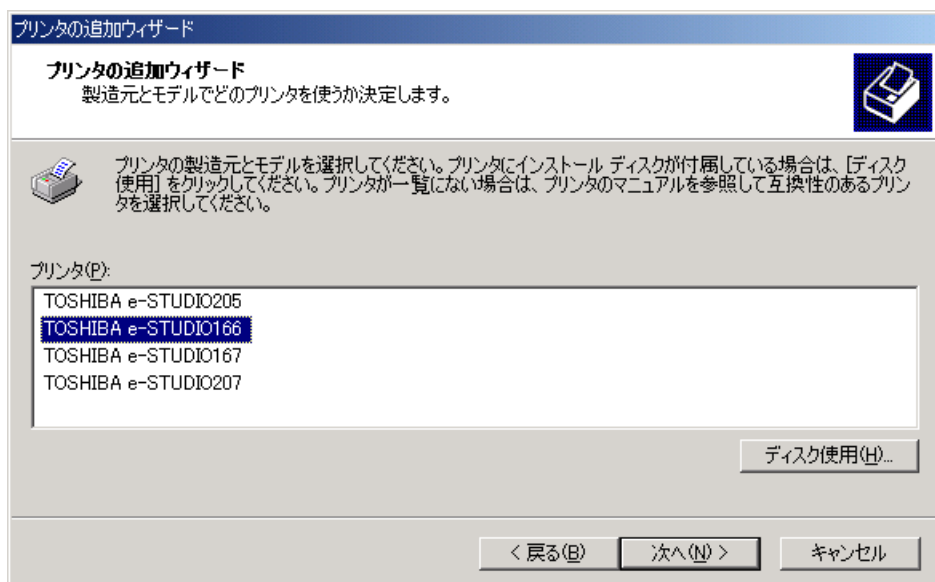


9 [OK]をクリックします。



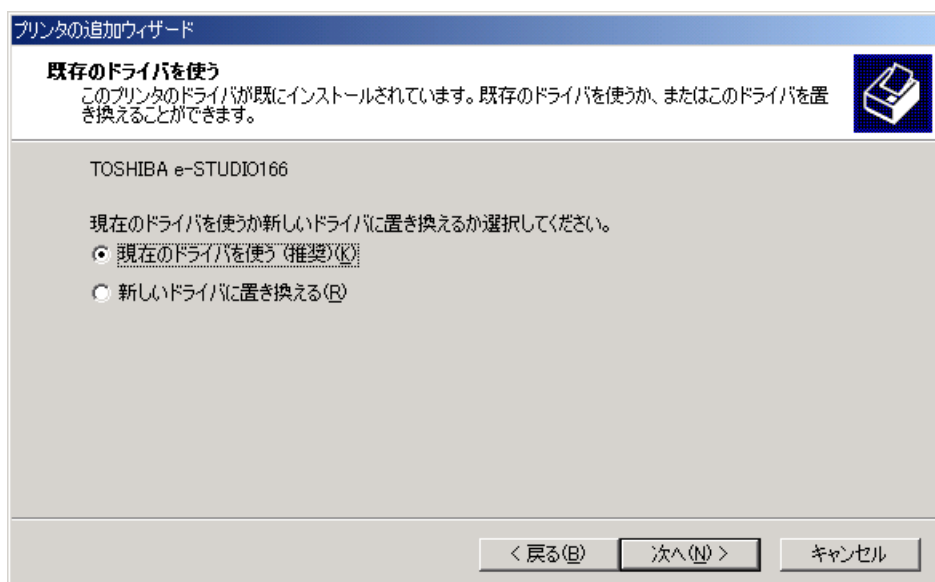
10 プリンター一覧から使用するプリンタを選択します。

[次へ]をクリックします。



11 既存のプリンタドライバを使用するかを選択します。

[現在のドライバを使う (推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。



補 足

上記画面は、お使いのPCにe-STUDIO166/167/207プリンタドライバが既にインストールされている場合に、表示されます。

12 プリンタ名を入力し、e-STUDIO166/167/207を通常のプリンタとして使用するかを選択します。

必要に応じて、プリンタ名を変更し、**[次へ]**をクリックします。

13 プリンタを共有するかどうかを選択します。

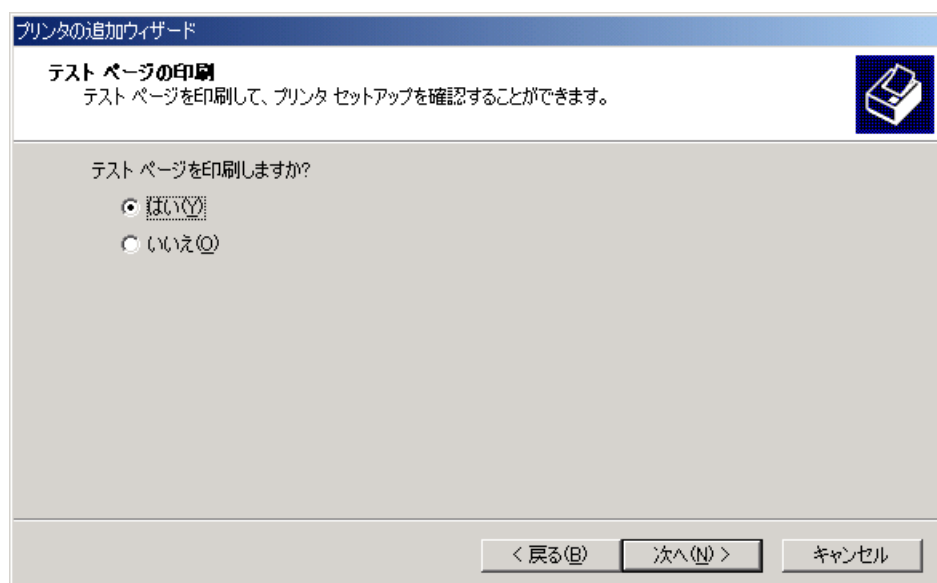
(1)共有しない場合は、**[このプリンタを共有しない]**をチェックします。

共有する場合は、**[共有する]**をチェックして共有プリンタ名を入力します。

(2)**[次へ]**をクリックします。

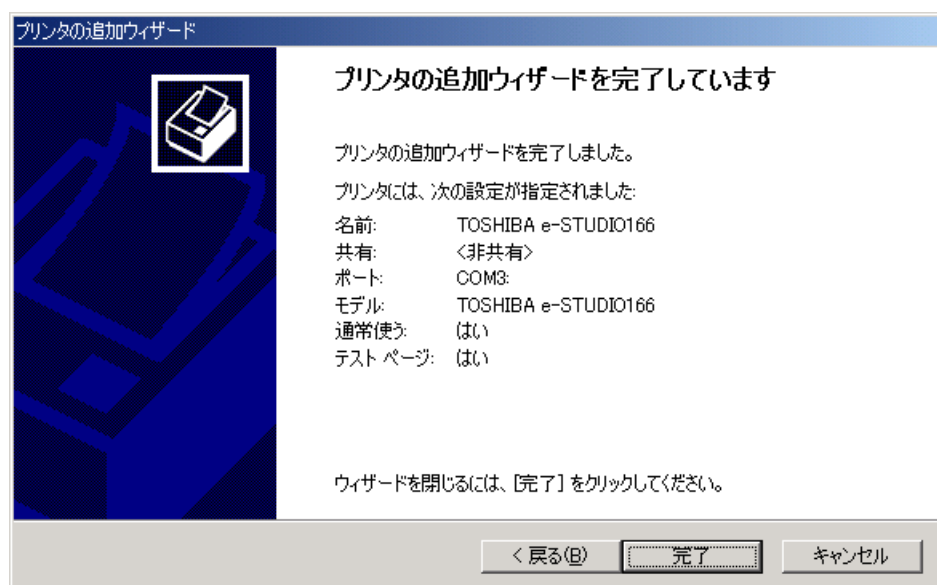
14 テストページを印刷するかどうかを選択します。

- (1)印刷する場合は、**【はい】**をチェックします。印刷しない場合は、**【いいえ】**をチェックします。
- (2)**【次へ】**をクリックします。



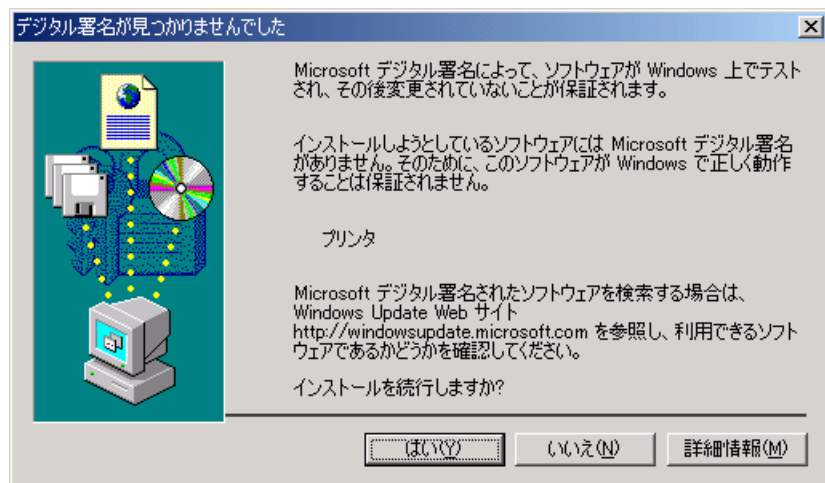
15 [完了]をクリックして、プリンタの追加ウィザードを終了します。

東芝e-STUDIO166/167/207プリンタドライバがインストールされます。



16 [はい]をクリックします。

インストールが続行され、プリンタが使用可能となります。



補 足

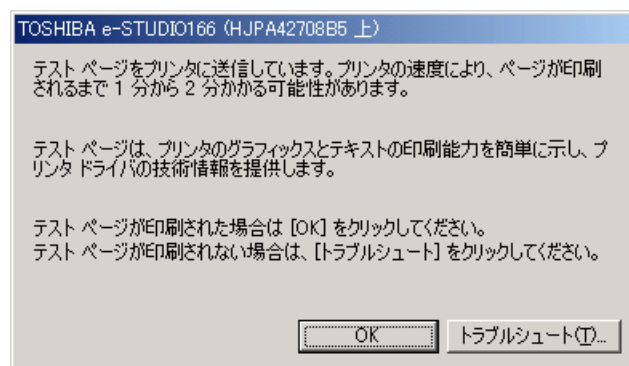
TOSHIBA Viewerを使用する場合は、以下のページを参照してインストールしてください。

📖 P.61 「TOSHIBA Viewerをインストールする」

17 テストページの印刷を選択したときは、正常に印刷されたかを確認します。

正常に印刷された場合は、**[OK]**をクリックしてインストールを終了します。

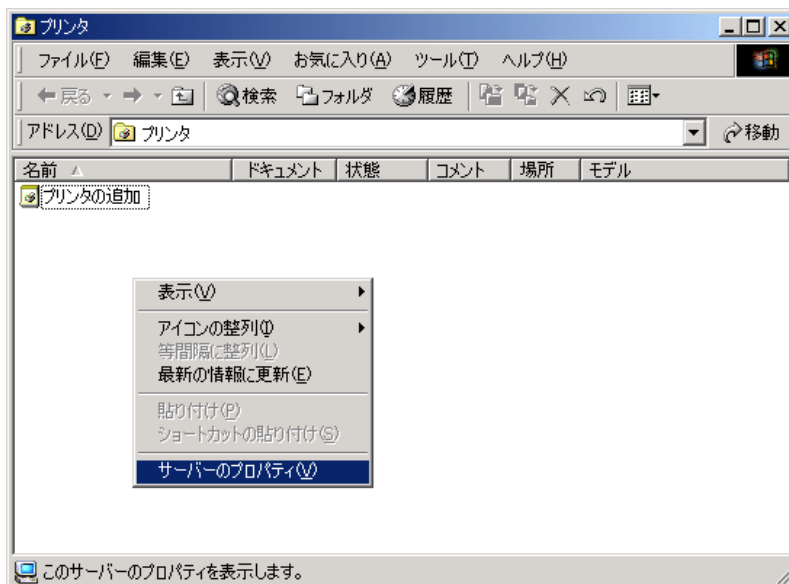
正常に印刷されなかった場合は、**[トラブルシューティング]**をクリックします。



補 足

プリンタドライバを削除するときは

1. スタートメニューから**[設定]**－**[プリンタ]**を選択します。e-STUDIO166/167/207を選択し、キーボードの**[Delete]**キーを押します。プリンタアイコンが削除されます。
2. **[ファイル]**メニューから**[サーバーのプロパティ]**を選択します。



3. ドライバタブを表示し、e-STUDIO166/167/207プリンタドライバを選択します。



4. **【削除】**をクリックします。

Windows XP/Server 2003

注意

ここでは、Windows XPにインストールする例で説明します。
Windows Server 2003をお使いの場合も手順は、ほぼ同じです。

下記を確認してください。

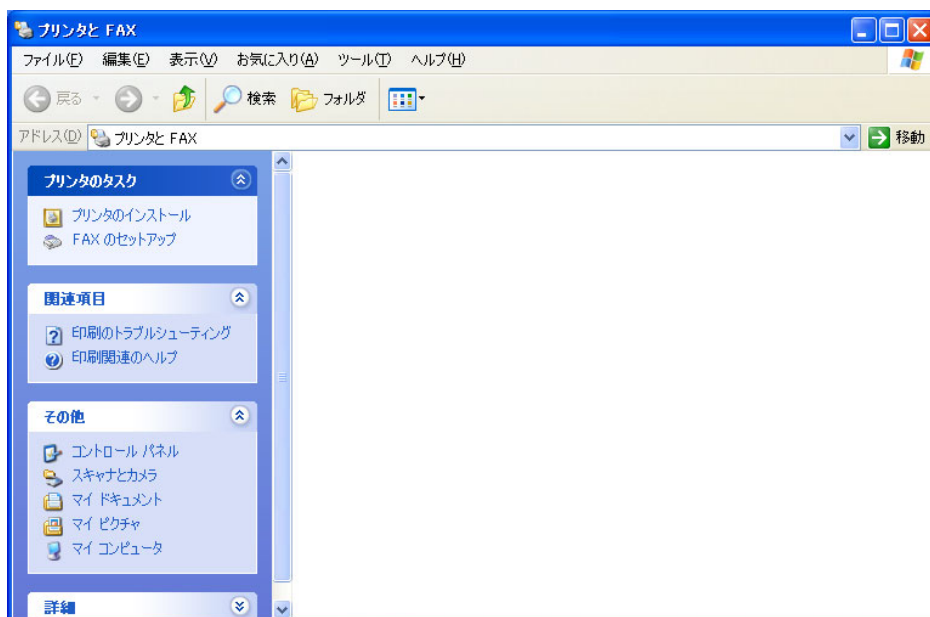
- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- 東芝e-STUDIO166/167/207とPCが接続され、電源が入っていること。
- USBドライバがPCにインストールされていること。
USBドライバをインストールする場合は、以下のページを参照してください。
P.24「Windows XP/Server 2003」
- Administrators(管理者)としてログインする必要があります。

1 「プリンタとFAX」フォルダを開きます。

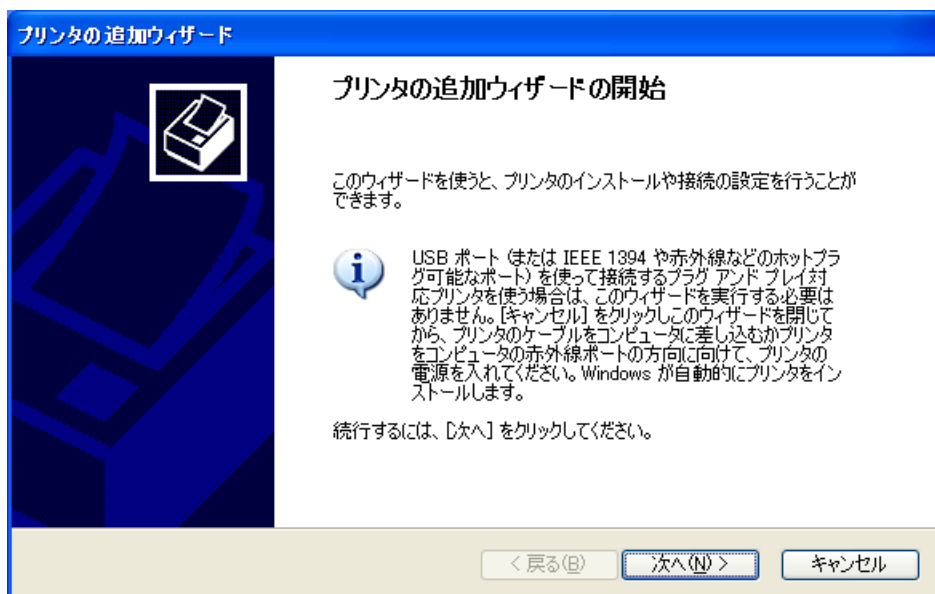
スタートメニューから[プリンタとFAX]を選択します。



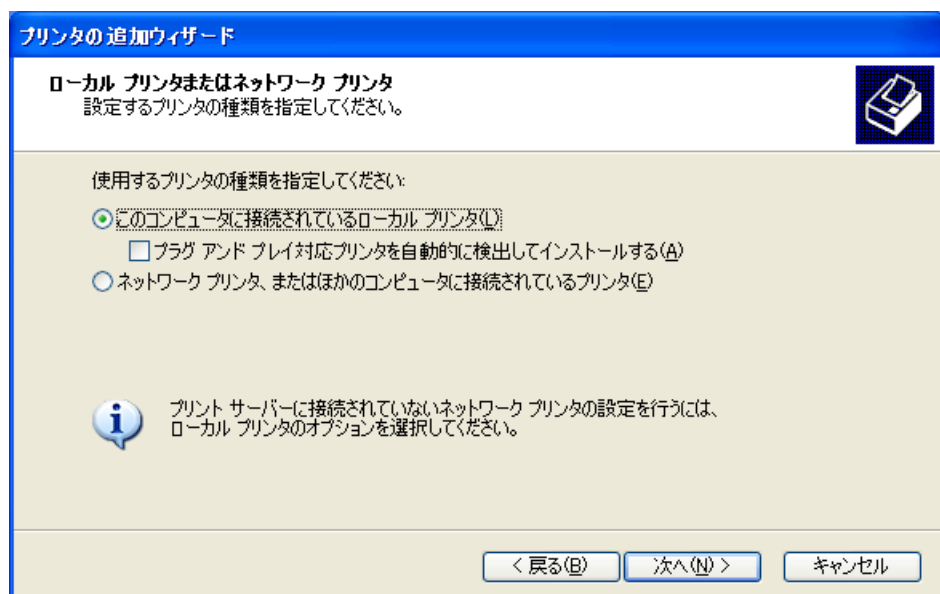
2 プリンタのタスク内の[プリンタのインストール]を選択します。



3 [次へ]をクリックします。




- 4 「このコンピュータに接続されているローカルプリンタ」を選択します。
[プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外し、[次へ]をクリックします。



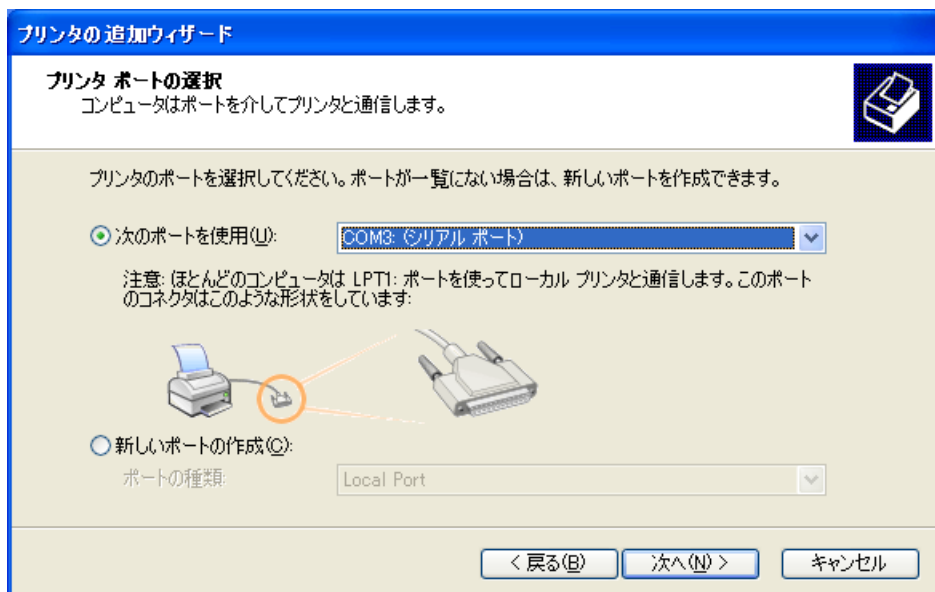
5 プリンタを接続するポートを選択します。

[COMポート]を選択し、[次へ]をクリックします。

補 足

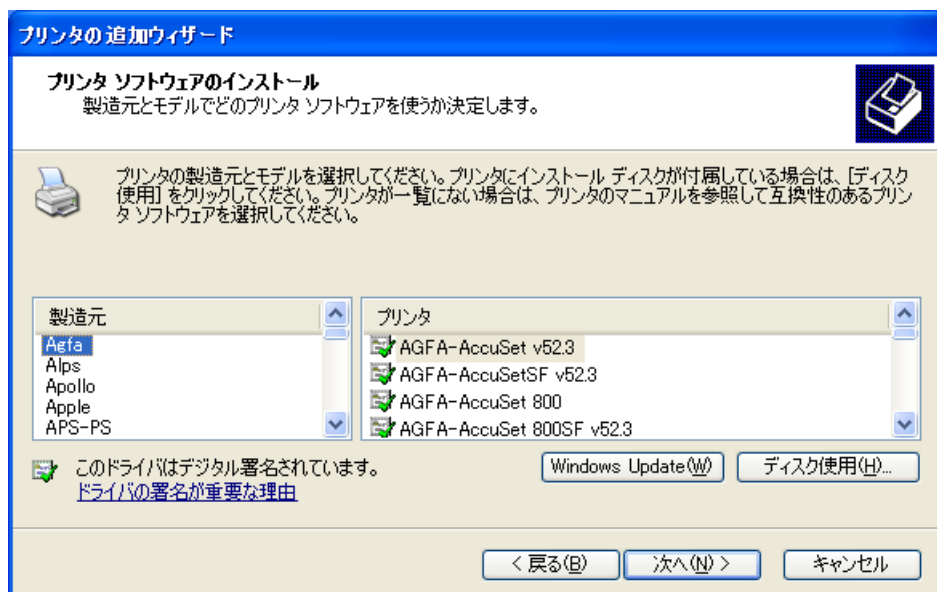
- USBドライバをインストールしたときに作成されたCOMポートを指定します。
 P.13「USBドライバをインストールする」
 例: COM3
- 新しいCOMポートの割り当ては、**デバイスマネージャ**から確認することができます。

Windows XP: スタートメニューから**【コントロールパネル】**を選択します。**【システム】**をダブルクリックすると、「システムのプロパティ」画面が表示されます。**【ハードウェア】**タブをクリックし、**【デバイスマネージャ】**ボタンをクリックしたら、**ポート (COMとLPT)**の「+」マークをクリックします。



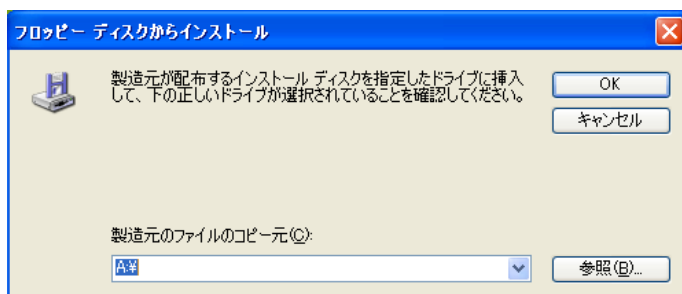
6 プリンター一覧が表示されます。

[ディスク使用]をクリックします。



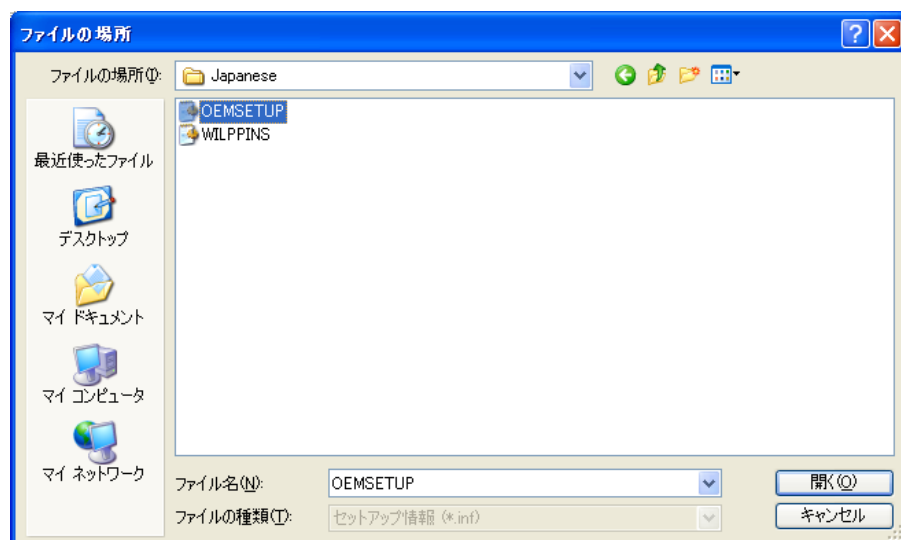
7 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

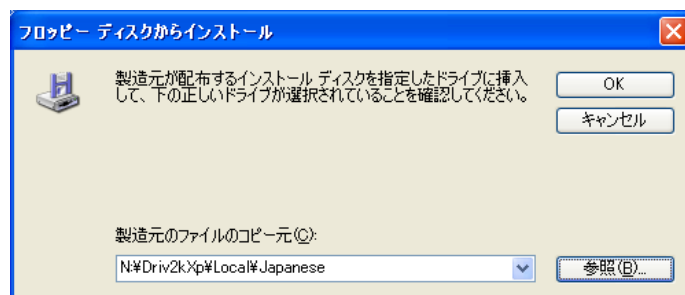


8 プリンタドライバのフォルダを参照します。

CD-ROMの「Drv2kXp¥Local¥Japanese」フォルダを参照します。ファイル名で「oemsetup.inf」を選択し、**【開く】**をクリックします。

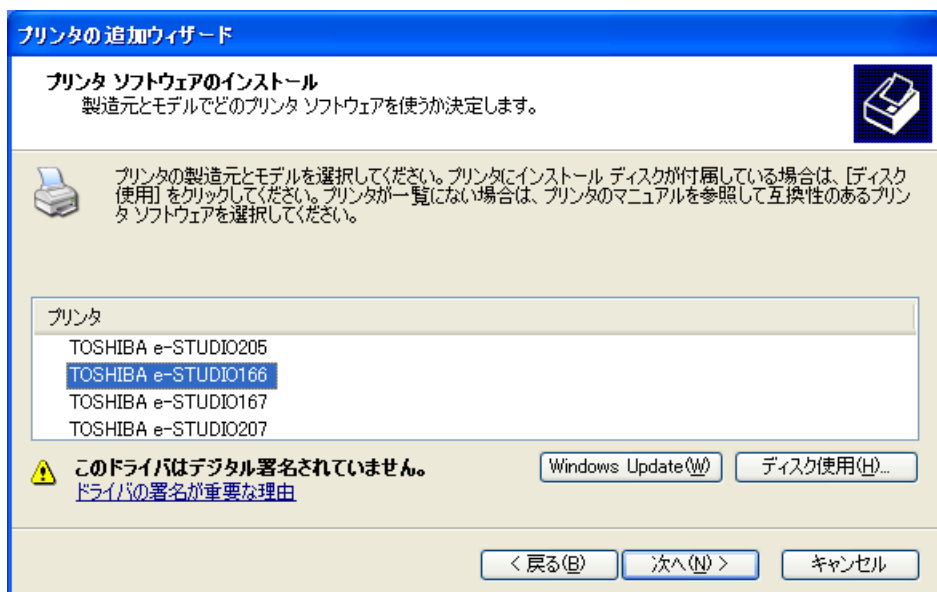


9 [OK]をクリックします。



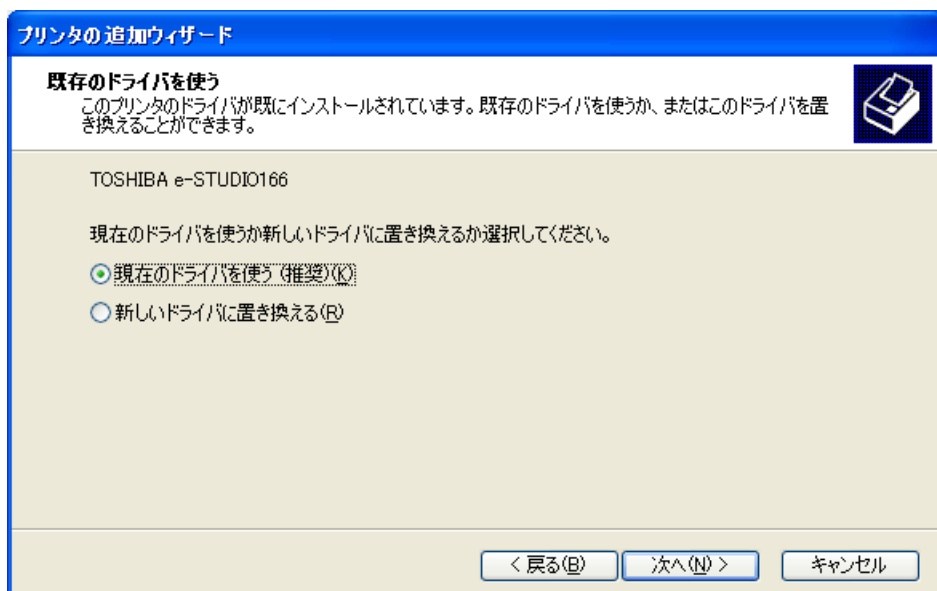
10 プリンター一覧から使用するプリンタを選択します。

[次へ]をクリックします。



11 既存のプリンタドライバを使用するかを選択します。

[現在のドライバを使う(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。

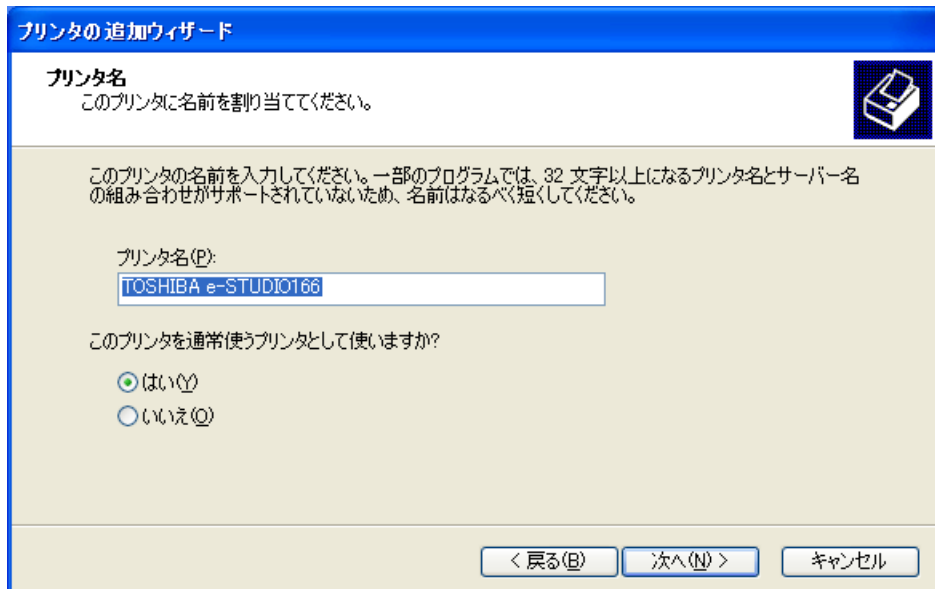


補 足

上記画面は、お使いのPCにe-STUDIO166/167/207プリンタドライバが既にインストールされている場合に、表示されます。

12 プリンタ名を入力します。

- (1) 必要に応じて、プリンタ名を変更します。
- (2) このプリンタを標準のプリンタとして使用する場合は、**【はい】**をチェックします。このプリンタを標準のプリンタとして使用しない場合は、**【いいえ】**をチェックします。
- (3) **【次へ】**をクリックします。



プリンタの追加ウィザード

プリンタ名
このプリンタに名前を書り当ててください。

このプリンタの名前を入力してください。一部のプログラムでは、32 文字以上になるプリンタ名とサーバー名の組み合わせがサポートされていないため、名前はなるべく短くしてください。

プリンタ名(P):
TOSHIBA e-STUDIO166

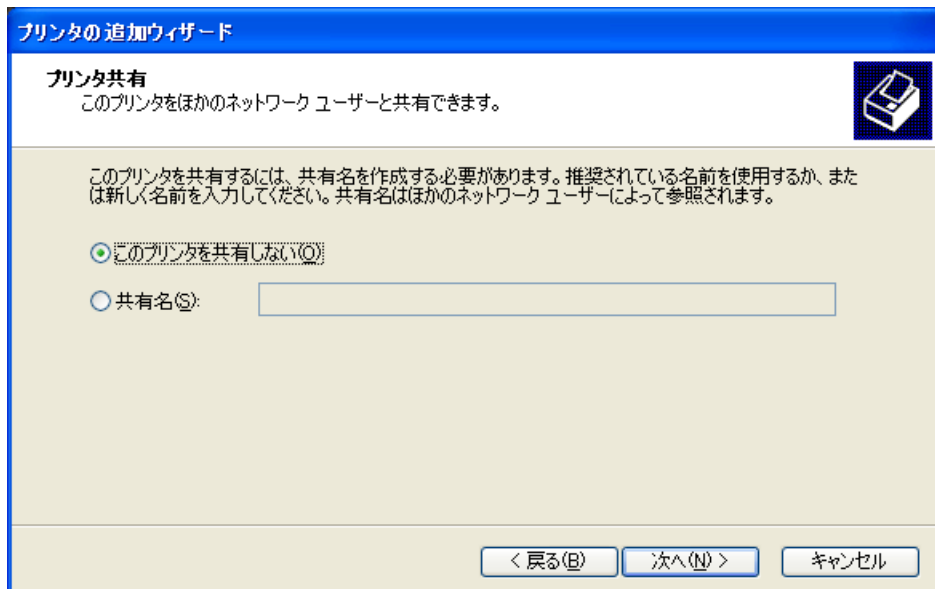
このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか?

☒ はい(Y)
☐ いいえ(N)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

13 プリンタを共有するかどうかを選択します。

- (1) 共有しない場合は、**【このプリンタを共有しない】**をチェックします。共有する場合は、**【共有名】**をチェックして共有プリンタ名を入力します。
- (2) **【次へ】**をクリックします。



プリンタの追加ウィザード

プリンタ共有
このプリンタをほかのネットワーク ユーザーと共有できます。

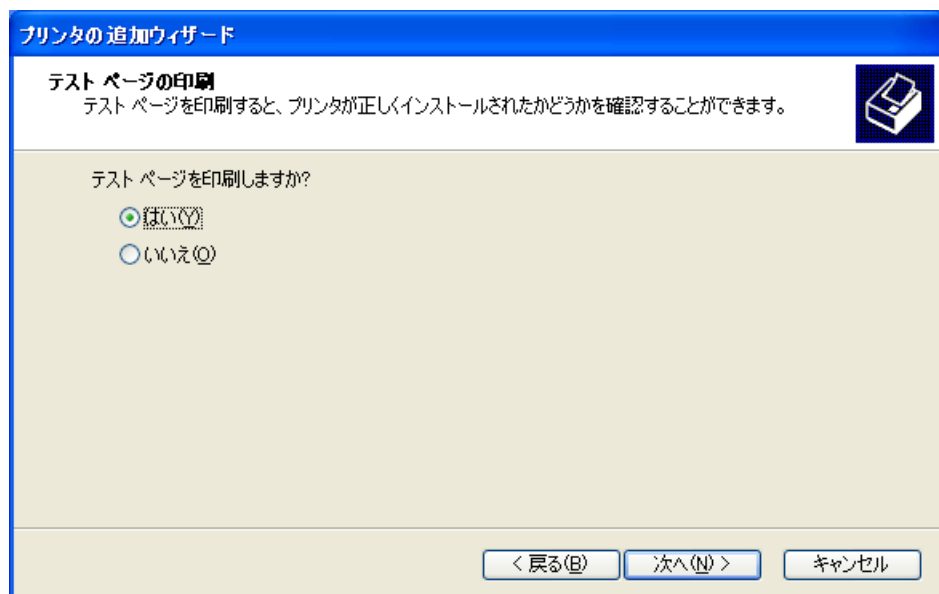
このプリンタを共有するには、共有名を作成する必要があります。推奨されている名前を使用するか、または新しく名前を入力してください。共有名はほかのネットワーク ユーザーによって参照されます。

☒ このプリンタを共有しない(N)
☐ 共有名(S):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

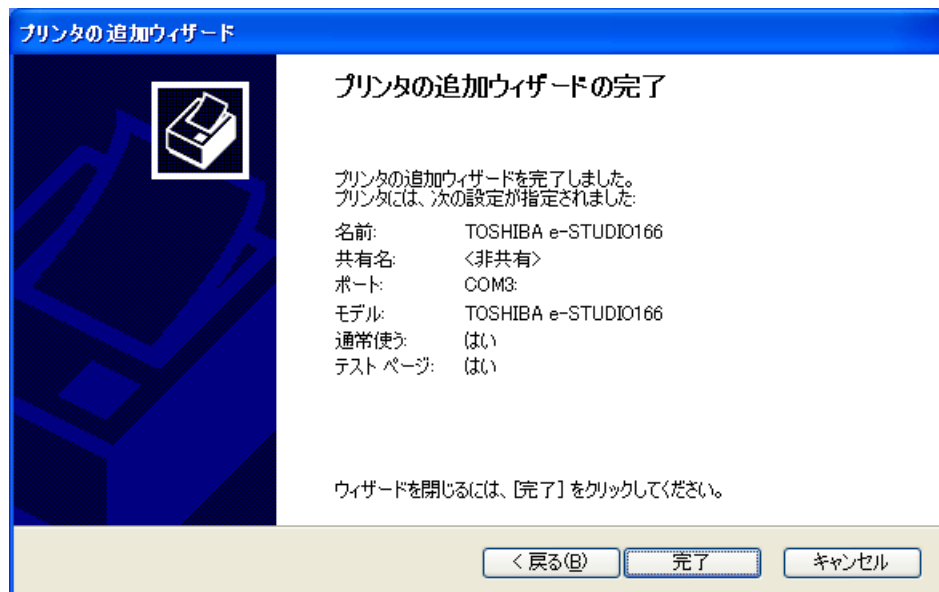
14 テストページを印刷するかどうかを選択します。

- (1)印刷する場合は、**【はい】**をチェックします。印刷しない場合は、**【いいえ】**をチェックします。
- (2)**【次へ】**をクリックします。



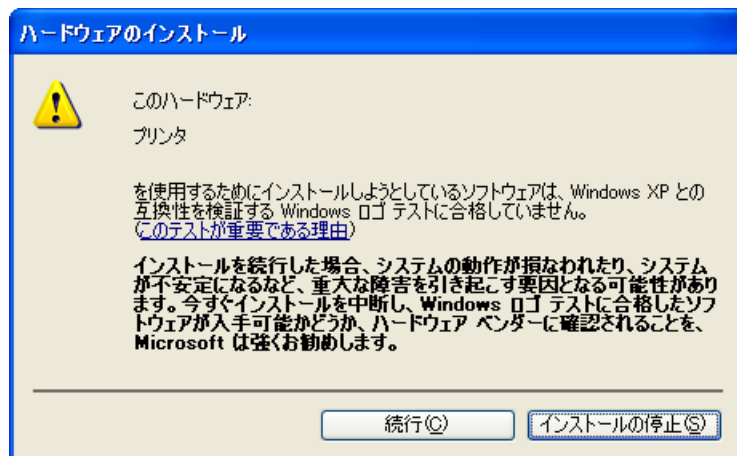
15 **【完了】**をクリックして、プリンタの追加ウィザードを終了します。

東芝e-STUDIO166/167/207プリンタドライバがインストールされます。



16 [続行]をクリックします。

インストールが続行され、プリンタが使用可能となります。



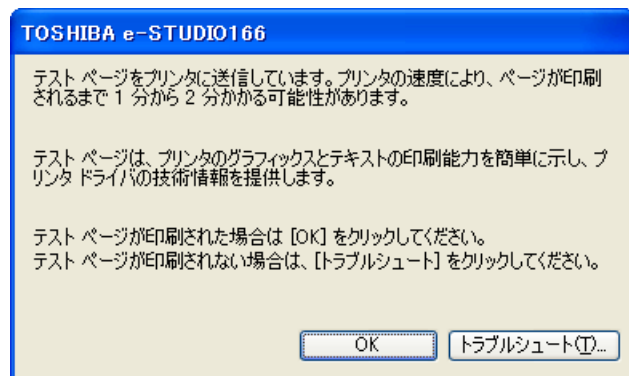
補 足

TOSHIBA Viewerを使用する場合は、以下のページを参照してインストールしてください。

📖 P.61 「TOSHIBA Viewerをインストールする」

17 テストページの印刷を選択したときは、正常に印刷されたかを確認します。

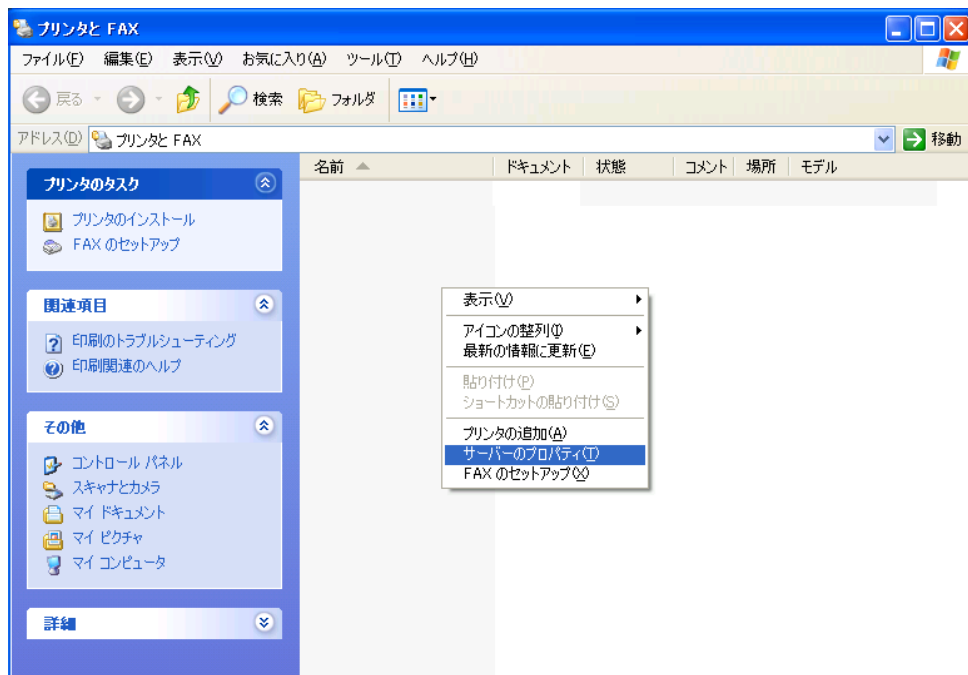
正常に印刷された場合は、**[OK]**をクリックしてインストールを終了します。正常に印刷されなかった場合は、**[トラブルシューティング]**をクリックします。



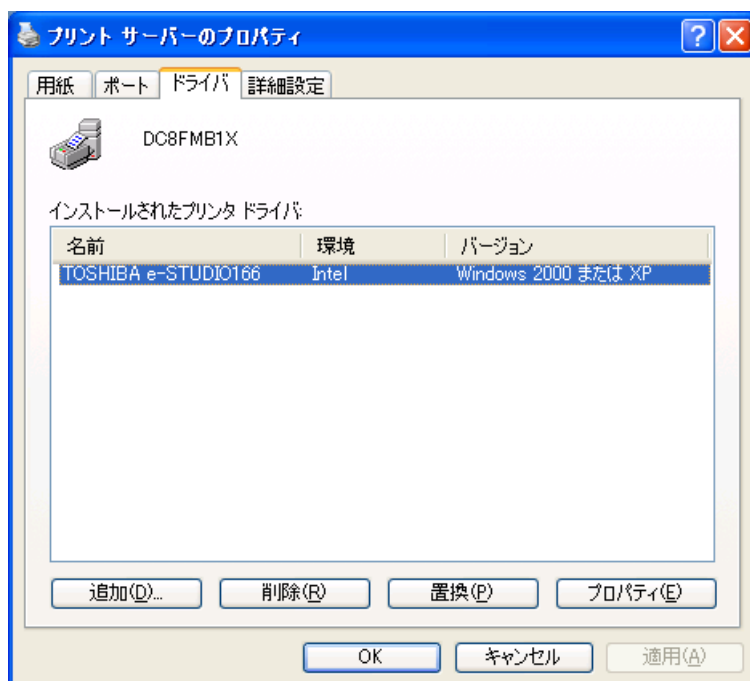
補 足

プリンタドライバを削除するときは

1. スタートメニューから**[プリンタとFAX]**を選択します。e-STUDIO166/167/207を選択し、キーボードの**[Delete]**キーを押します。削除を確認するダイアログボックスが表示されるので、**[はい]**をクリックします。プリンタアイコンが削除されます。
2. **[ファイル]**メニューから**[サーバーのプロパティ]**を選択します。



3. ドライバタブを表示し、e-STUDIO166/167/207プリンタドライバを選択します。



4. **【削除】**をクリックします。

TOSHIBA Viewerをインストールする

TOSHIBA Viewerをインストールする前に

東芝e-STUDIO166/167/207とPCがUSBケーブルで接続されている必要があります。

注 意

下記をご確認ください。

- Windows 2000/XP/Server 2003の場合は、Administrators(管理者)としてログインする必要があります。
- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- 東芝e-STUDIO166/167/207とPCの電源が入っていること。

プラグアンドプレイ画面が表示される時には

Windows起動時にプラグアンドプレイ画面が表示される場合は、TOSHIBA Viewerをインストールする前にUSBドライバをインストールしてください。

ドライバのインストール手順については、以下のページを参照してください。

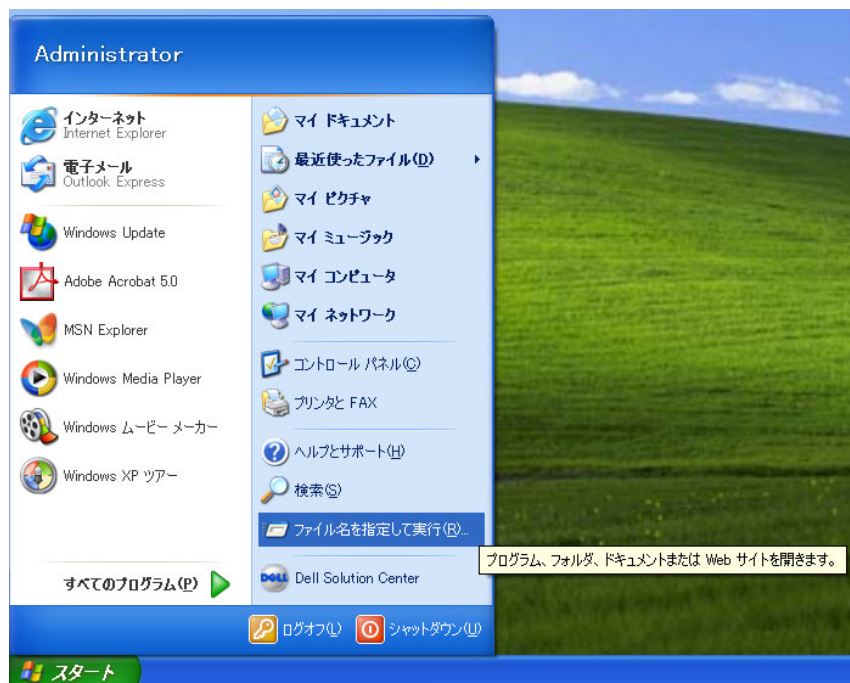
📖 P.13「USBドライバをインストールする」

インストール手順

プロンプト画面はお使いのWindowsのバージョンによって異なる場合があります。ここでは、Windows XPにインストールする例で説明します。

1 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

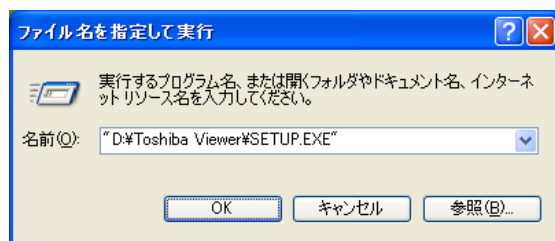
スタートメニューから[ファイル名を指定して実行]を選択します。



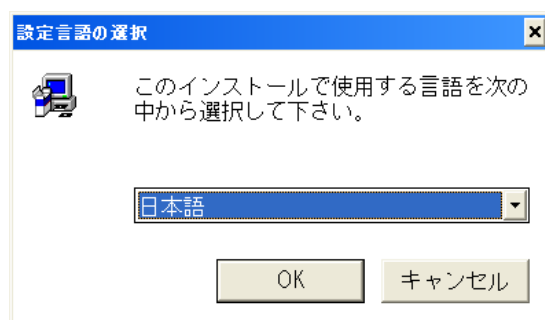
2 「CD-ROMドライブ:¥TOSHIBA Viewer¥Setup.exe」を入力します。 [OK]をクリックします。

補 足

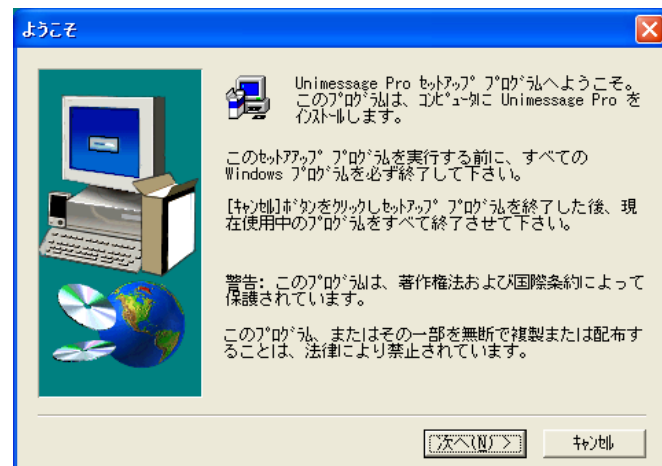
入力例:「D:¥Toshiba Viewer¥Setup.exe」(DドライブがCD-ROMドライブの場合)



3 使用する言語を選択します。 [OK]をクリックします。

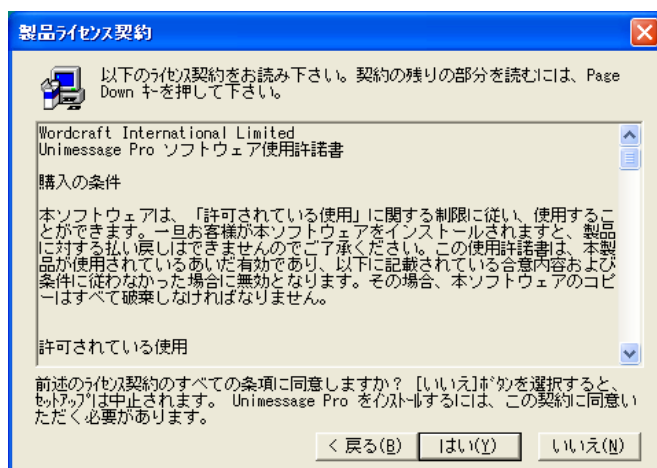


4 インストールを開始します。 [次へ]をクリックします。



5 ソフトウェアのライセンス契約を読みます。

同意するときは、**[はい]**をクリックします。**[いいえ]**をクリックすると、インストールを中止します。



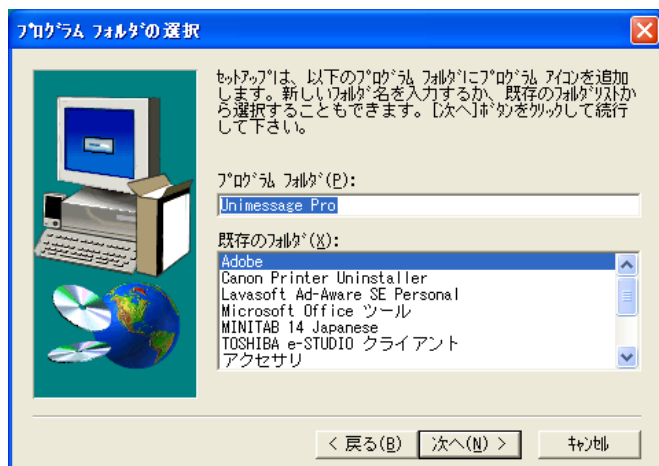
6 インストール先のフォルダを選択します。

[次へ]をクリックします。



7 プログラムフォルダ名を入力するか、プログラムフォルダを選択します。

[次へ]をクリックします。



8 各ファイルのコピーが始まります。

コピーが完了すると、セットアップの完了画面が表示されます。

注意

TOSHIBA Viewerをインストールする前にGDIプリンタドライバがインストールされている場合は、いくつかのファイルが既にインストールされていることを知らせるプロンプト画面が表示されます。

この場合は、プロンプト画面で【はい】をクリックして、既存のファイルを上書きしてください。

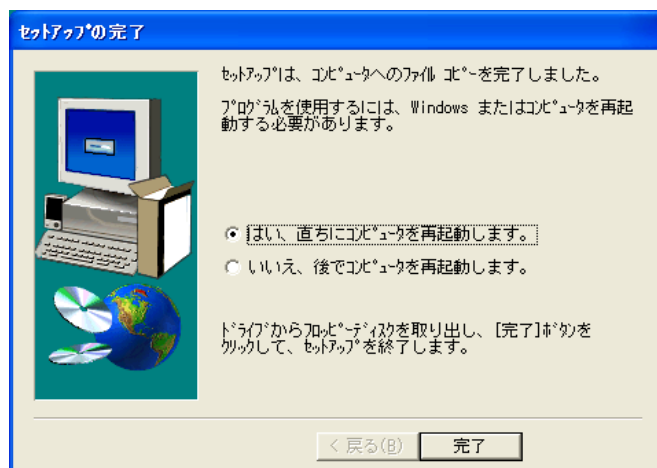


9 インストールを完了します。

【はい、直ちにコンピュータを再起動します】をチェックして、【完了】をクリックします。

注 意

TOSHIBA Viewerをご使用になる前に、PCを再起動する必要があります。
再起動すると、Unimessage Proデバイスウィザードが自動的に立ち上がります。



デバイスセットアップ

PCを再起動すると、[Unimessage Proデバイスウィザード]が表示されます。

注意

デバイスセットアップウィザードは、以下の操作で起動することもできます。

例:Windows XP)スタートメニューから[すべてのプログラム]－[Unimessage Pro]－[Unimessage Proスタートアップウィザード]を選択します。

複数の東芝デバイスがPCに接続されているときは、デバイスセットアップをデバイスごとにおこなうことができます。

TOSHIBA Viewerユーティリティはデバイスセットアップをおこなうごとに、新たに作成されます。

1 Unimessage Proデバイスウィザードが表示されます。

各入力フィールドに情報を入力し、[次へ]をクリックします。

注意

名前、住所、国、電話番号およびファックス番号は必ず入力してください。

住所は、半角10文字、全角5文字以上で入力する必要があります。

名前は、半角2文字、全角1文字以上で入力する必要があります。

電話番号とファックス番号は、半角8文字以上で入力する必要があります。

この Unimessage Pro を使用する人の詳細情報を入力してください。

名前(M):

組織(O):

住所(A):

場所(L):

販売元(S):

電話番号(T):

ファックス番号(F):

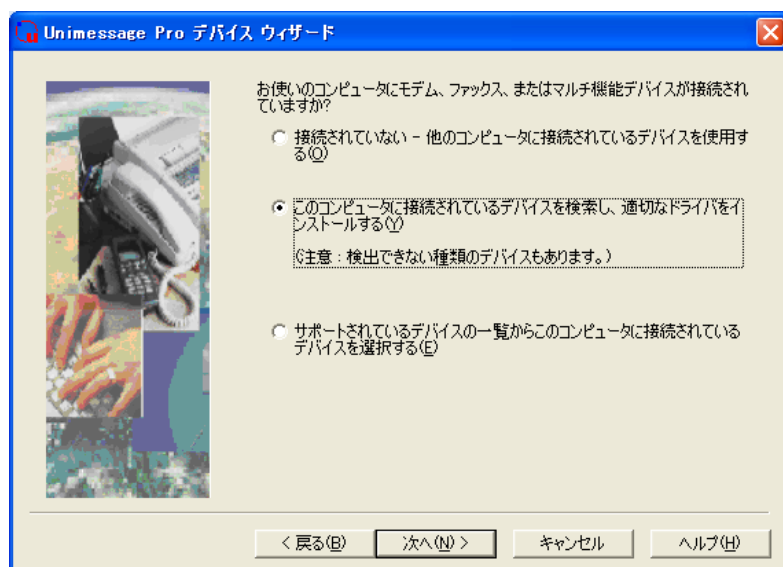
Eメール アドレス(E):

Web ページ(W):

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル ヘルプ(H)

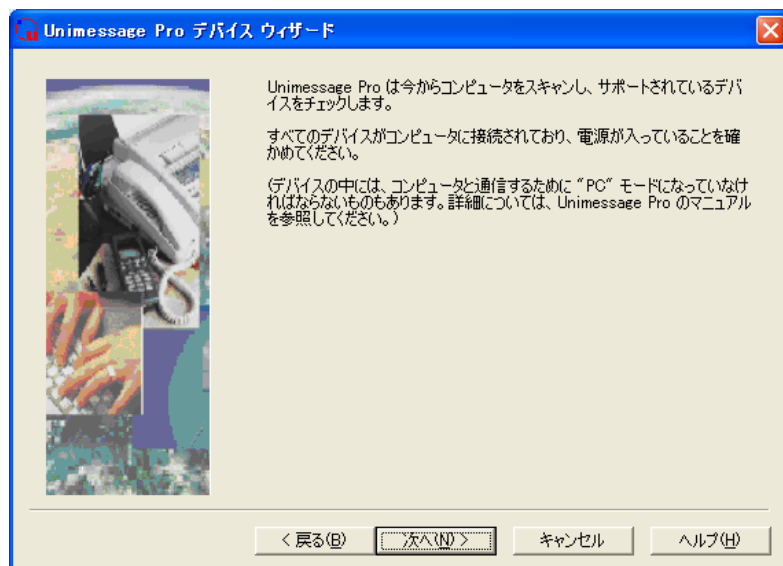
2 インストール方法を選択します。

[このコンピュータに接続されているデバイスを検索し、適切なドライバをインストールする]をチェックし、[次へ]をクリックします。



3 コンピュータに接続されている、またはネットワーク上にある東芝e-STUDIO166/167/207の検索を開始するメッセージが表示されます。

[次へ]をクリックします。



4 検索を開始します。

検索されたデバイスの一覧から接続するデバイスを選択し、**[次へ]**をクリックします。



5 「システムデバイス名」と「デバイス名」を入力します。

両方の名称フィールドには、デフォルト名が入力されています。必要に応じて、デバイス名を変更してください。



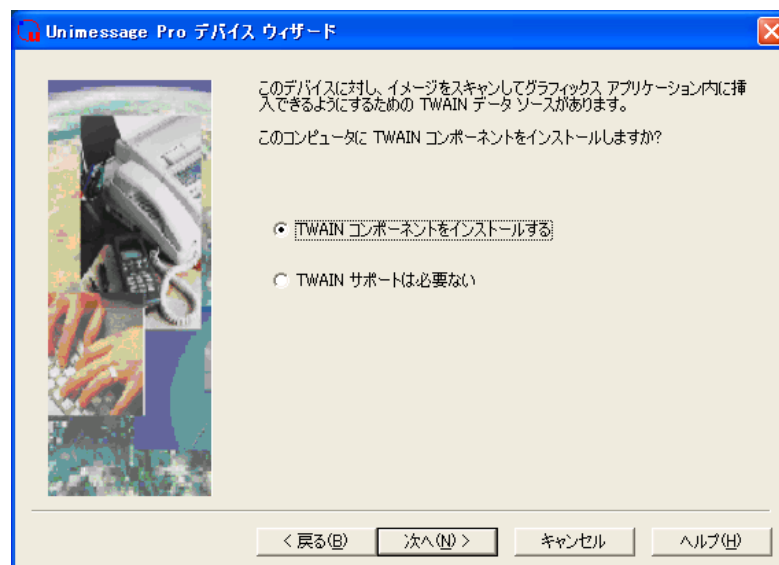
6 セットアップの種類で「カスタム」を選択します。

[次へ]をクリックします。



7 TWAINドライバをインストールするかを選択します。

- (1) TWAINドライバをインストールする場合は、「TWAINコンポーネントをインストールする」を選択します。TWAINドライバをインストールしない場合は、「TWAINサポートは必要ない」を選択します。
- (2) [次へ]をクリックします。



8 プリンタを作成するかを選択します。

(1) プリンタを作成する場合は、「プリンタを作成する」を選択します。

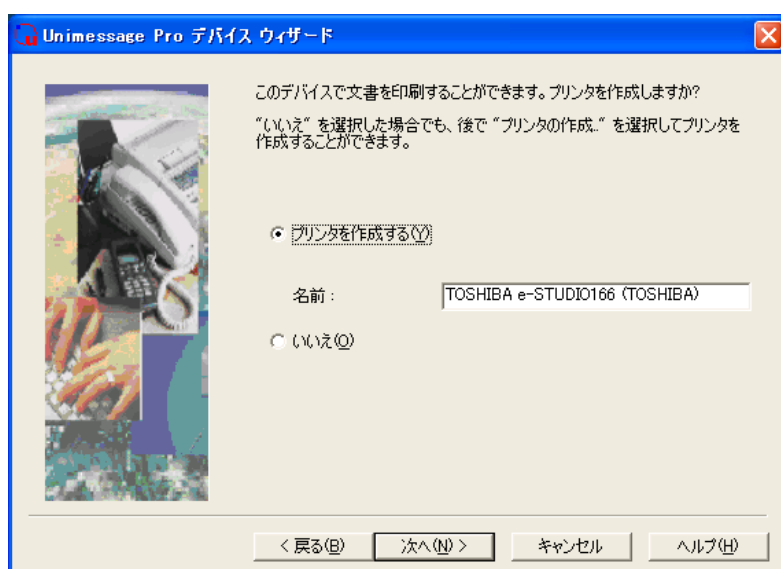
プリンタ名は、必要に応じて変更してください。

(2) **【次へ】**をクリックします。

補 足

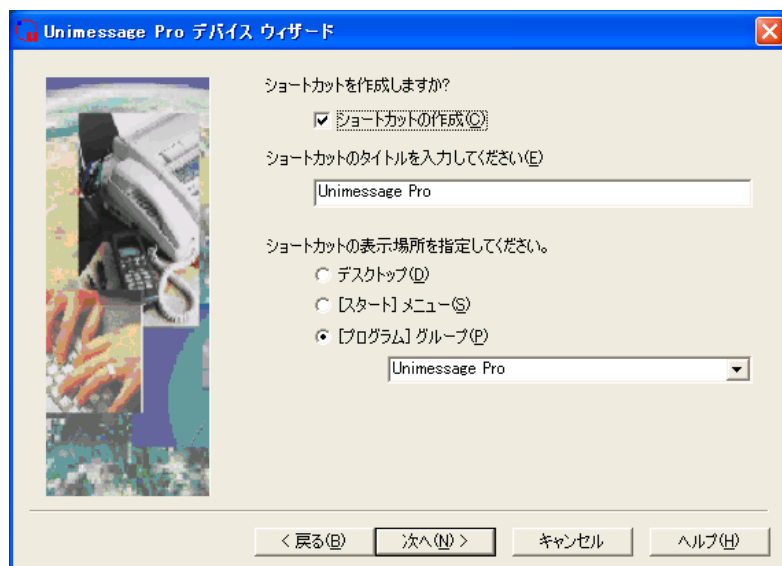
東芝e-STUDIO166/167/207プリンタドライバの作成は、後からでもおこなうことができます。

TOSHIBA Viewer内のフォルダー一覧でデバイスフォルダを開き、画面の右枠に表示される作成済みのデバイス(東芝e-STUDIO166/167/207)の上を右クリックします。表示されるメニューから、**【プリンタの作成】**を選択します。



9 ショートカットの作成および作成場所を選択します。

[次へ]をクリックします。

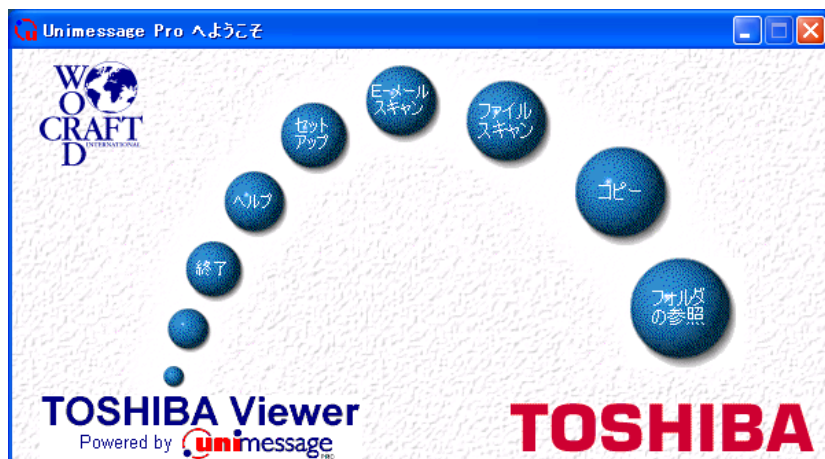


10 デバイスセットアップを終了します。

[完了]をクリックします。



11 TOSHIBA Viewerが起動します。



インストールしたユーザとは異なるユーザでTOSHIBA Viewerを利用するには

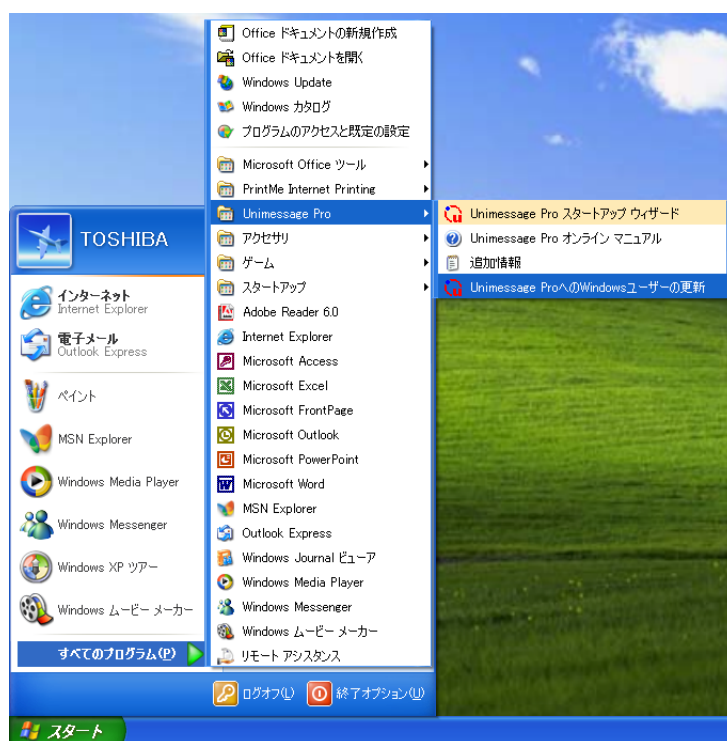
TOSHIBA Viewerをインストールした際のユーザ(Administrators)と異なるユーザでTOSHIBA Viewerをお使いになるには、以下の手順でユーザの更新をおこなってください。

補 足

ユーザの更新は、Windows 2000／XP／Server 2003をお使いのときに適用されます。

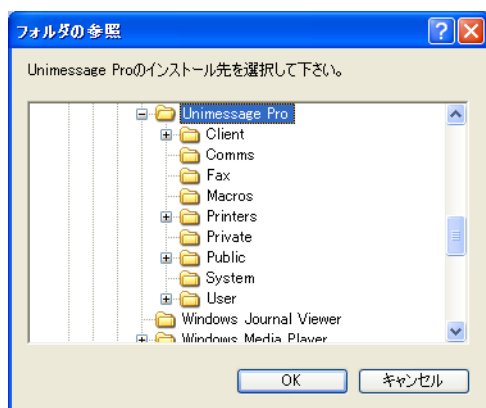
ここでは、Windows XPで操作する例で説明します。

1 スタートメニューから[すべてのプログラム]－[Unimessage Pro]－[Unimessage ProへのWindowsユーザーの更新]を選択します。



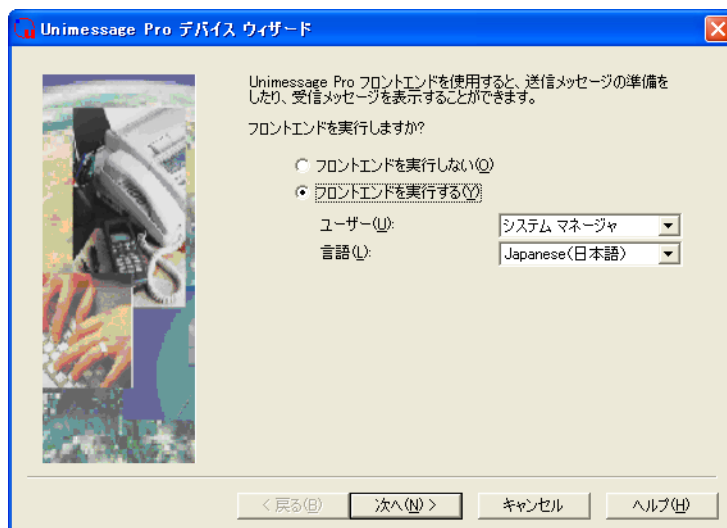
2 フォルダの参照ダイアログが表示されます。

Unimessage Proがインストールされているフォルダを選択し、[OK]をクリックします。



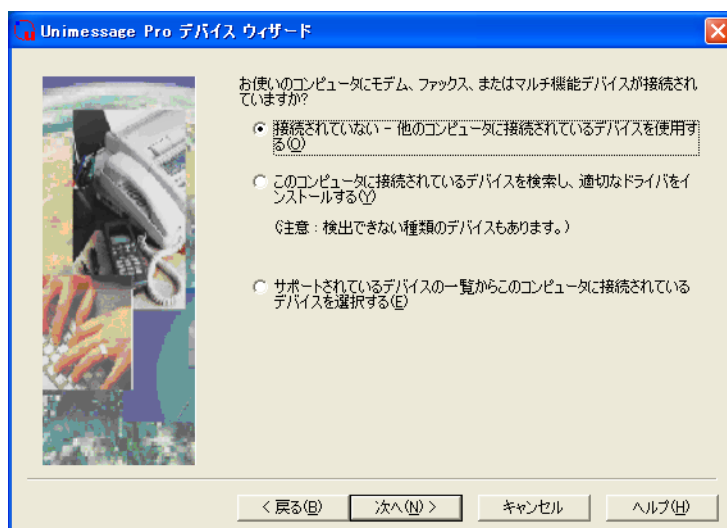
3 [フロントエンドを実行する]を選択し、[ユーザー]と[言語]を選択したら、[次へ]をクリックします。

[ユーザー]では、Administrators権限をもったユーザ名を選択します。



4 お使いになるデバイスを選択します。

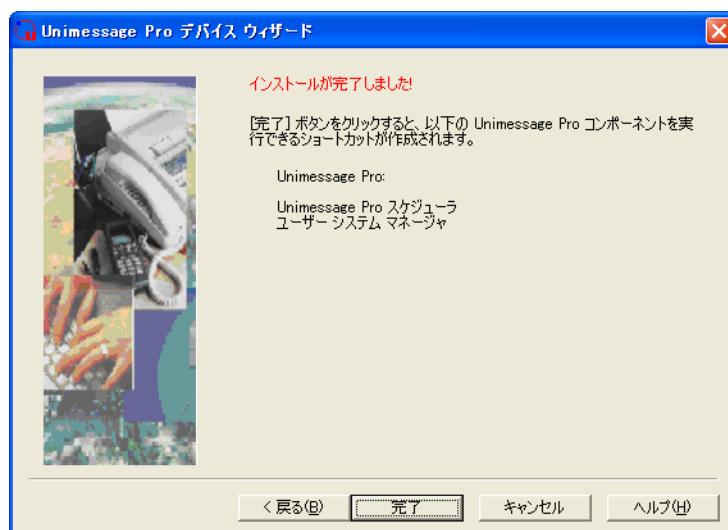
- (1)既に作成済みのデバイスを使用する場合は、**[接続されていないー他のコンピュータに接続されているデバイスを使用する]**を選択します。新たにデバイスを作成する場合は、**[このコンピュータに接続されているデバイスを検索し、適切なドライバをインストールする]**を選択します。
- (2)**[次へ]**をクリックします。



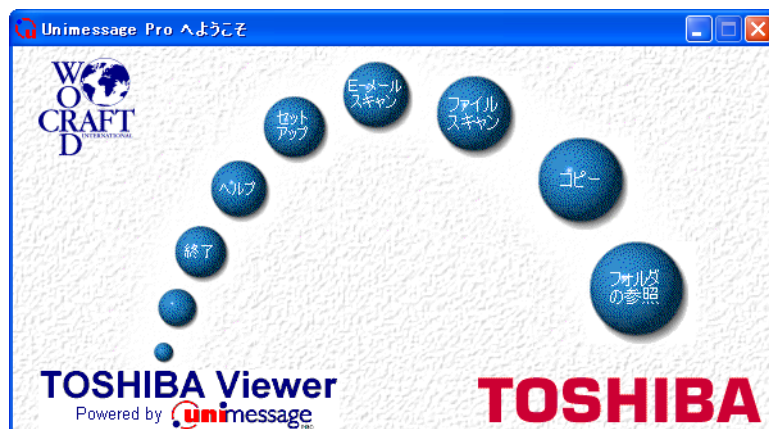
5 Unimessage Proのショートカットアイコンを作成するかどうか、また作成する場合は、作成する場所を選択し、**[次へ]**をクリックします。



6 [完了]をクリックします。



7 TOSHIBA Viewerが起動します。



TOSHIBA Viewerをアンインストールする

TOSHIBA Viewerをアンインストールする前に

システムトレイ(Windowsのタスクバーの右に表示されるタスクトレイ)に以下のアイコンが表示されているときは、TOSHIBA Viewerをアンインストールする前に、必ず閉じてください。



アイコンを右クリックして、**[閉じる]**を選択します。

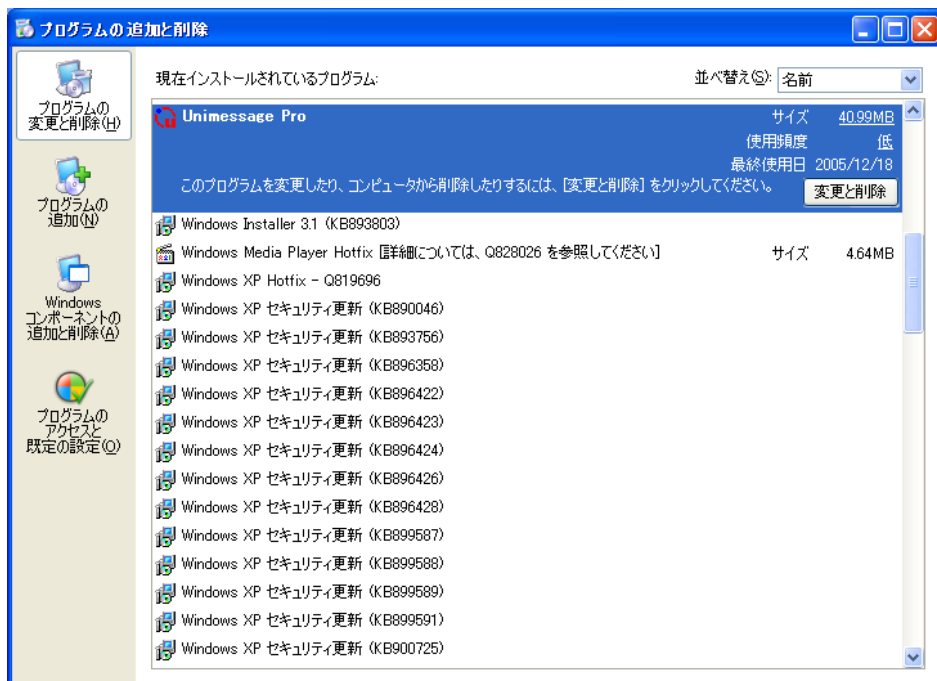
プロンプト画面はお使いのPCのOSによって異なる場合があります。
ここでは、Windows XPからアンインストールする例で説明します。

- 1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。
[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。



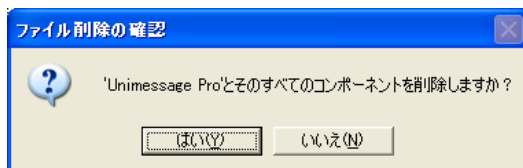
2 「Unimessage Pro」を選択します。

[変更と削除]をクリックします。



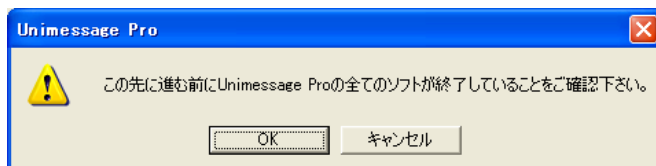
3 ファイル削除の確認ダイアログが表示されます。

[[はい]]をクリックします。



4 警告ダイアログが表示されます。

PC上で起動しているアプリケーションをすべて閉じたら、[OK]をクリックします。



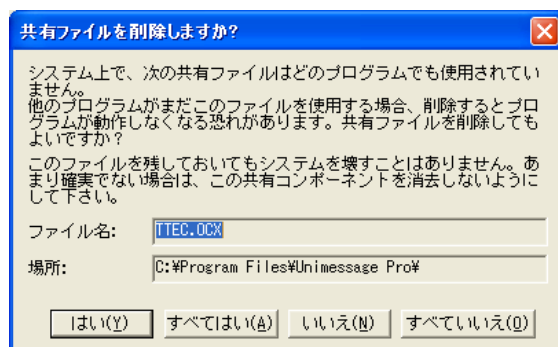
5 アプリケーションの削除を開始します。

共有ファイルを削除するための確認ダイアログが表示されます。

注 意

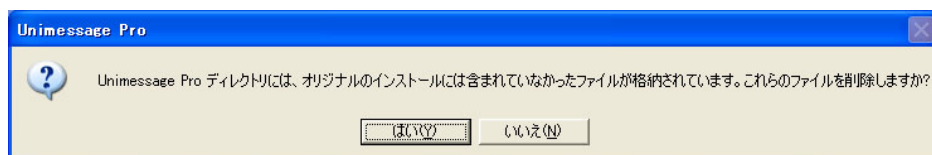
- **[すべてはい]**をクリックして、TOSHIBA Viewer設定フォルダ内のすべての共有ファイルを削除します。
- TOSHIBA Viewerとは別途でプリンタドライバをインストールしている場合は、**[すべてはい]**を選択するとプリンタドライバが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、**[すべていいえ]**を選択してください。

ファイルの削除が完了したら、**[OK]**をクリックします。



6 インストール後に作成されたファイルを削除するための確認ダイアログが表示されます。

[はい]をクリックしてファイルを削除します。



7 [OK]をクリックします。

ファイルの削除が完了したら、[OK]をクリックします。

8 コンピュータを再起動します。

アンインストールを完了するには、PCを再起動する必要があります。
いくつかのファイルは、再起動後に削除されます。

e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する

e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する前に

システムトレイ(Windowsのタスクバーの右に表示されるタスクトレイ)に以下のアイコンが表示されているときは、e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除する前に、必ず閉じてください。



アイコンを右クリックして、**[閉じる]**を選択します。

注意

COMポートを削除する前に、東芝e-STUDIO166/167/207とお使いのPCがUSBケーブルで接続され、電源が入っていることをご確認ください。

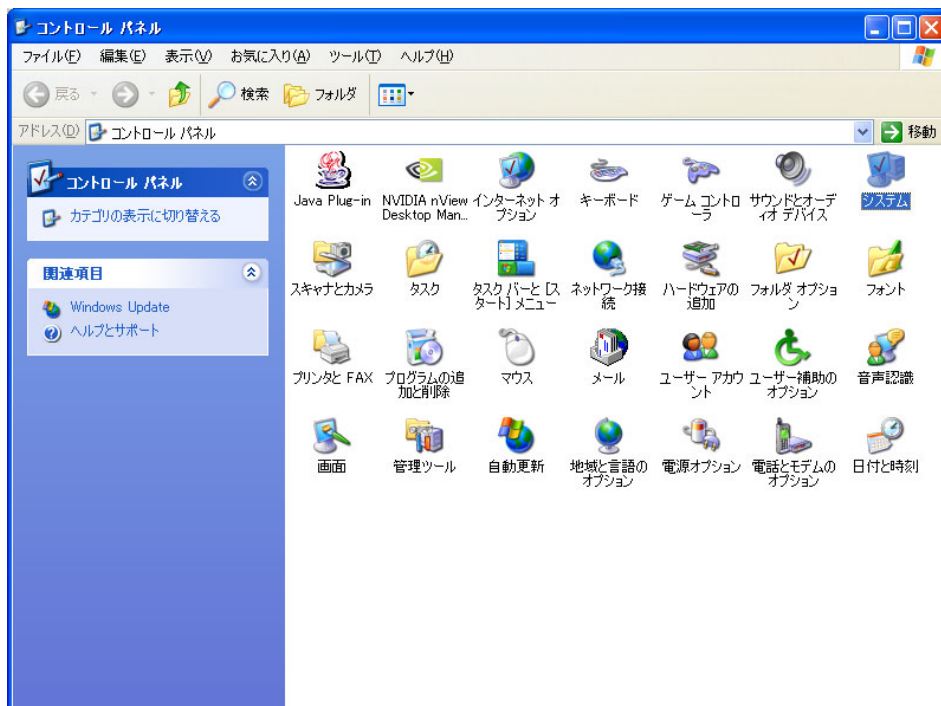
ここでは、Windows XPから削除する例で説明します。

1 「スタート」メニューから「コントロールパネル」を選択します。



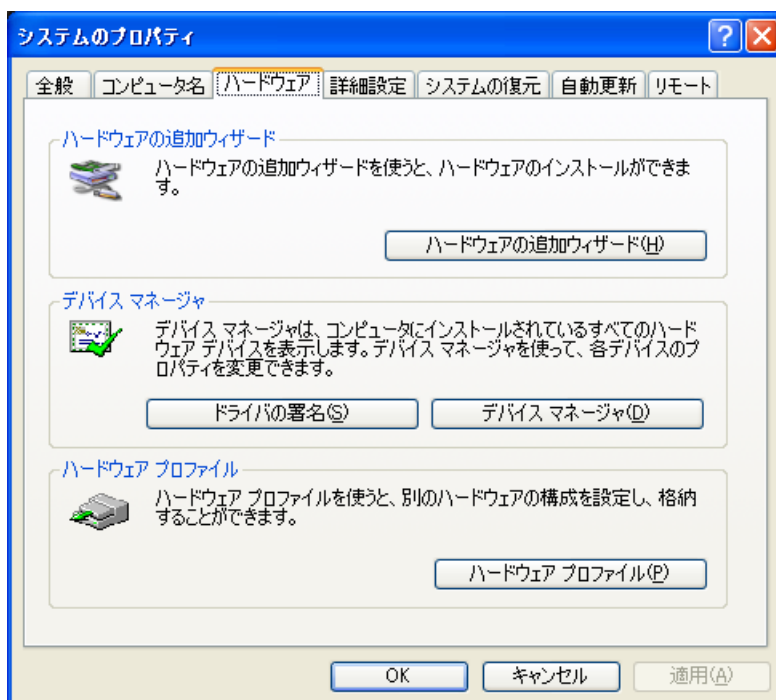
2 システムのプロパティを表示します。

[システム]をダブルクリックします。



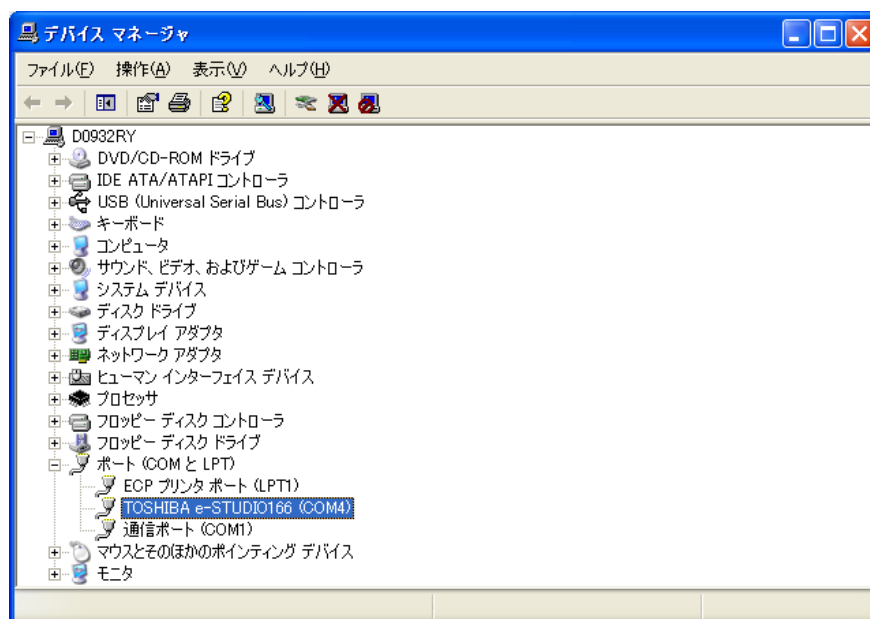
3 デバイスマネージャを表示します。

ハードウェアタブを選択し、[デバイスマネージャ]をクリックします。



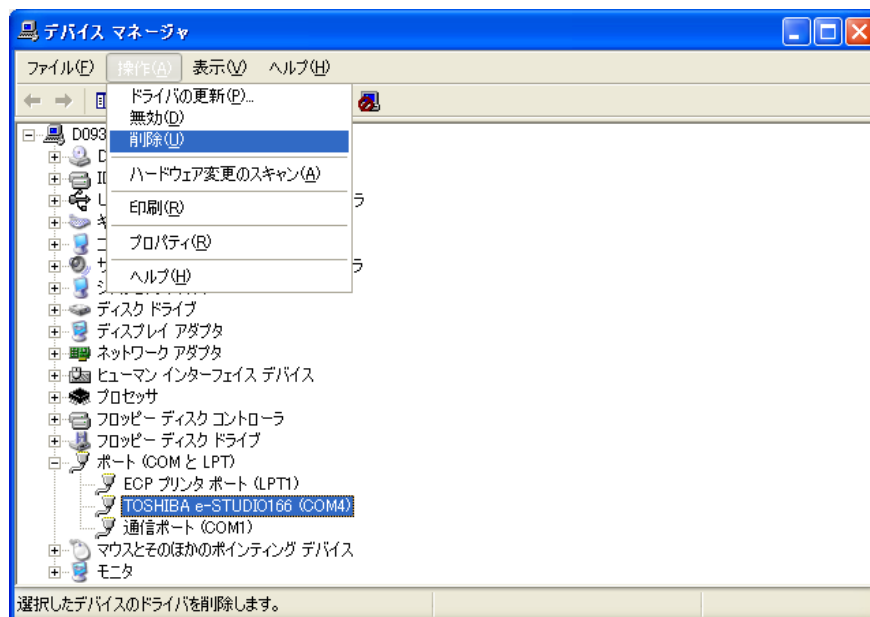
4 e-STUDIO166/167/207 COMポートを選択します。

ポートの「+」マークをクリックし、e-STUDIO166/167/207 COMポートを選択します。



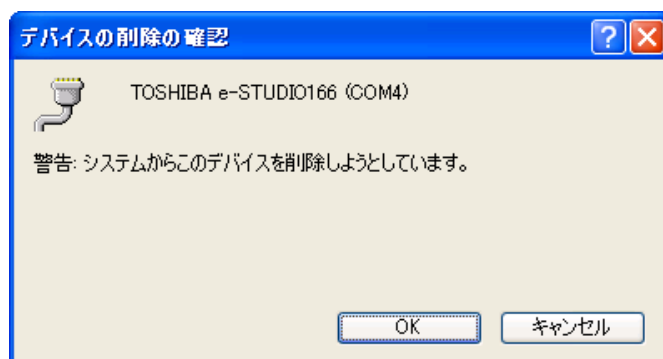
5 e-STUDIO166/167/207 COMポートを削除します。

【操作】メニューから【削除】を選択します。または、e-STUDIO166/167/207 COMポートアイコンを右クリックし、表示されるメニューから【削除】を選択します。



6 「デバイスの削除の確認」ダイアログが表示されます。

[OK]をクリックします。



プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールする

プリンタドライバをインストールする前に

ここでは、プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールする方法について説明します。

プリンタドライバをネットワーククライアントにインストールすると、東芝e-STUDIO166/167/207がUSBケーブルでローカル接続されたリモートコンピュータを介して、各ネットワーククライアントから印刷をおこなうことができます。

注 意

GDIプリンタドライバは、ポイントアンドプリント機能をサポートしていません。プリンタドライバをネットワーククライアントへインストールするときは、ここで説明している手順に従ってインストールしてください。

ネットワーククライアントにプリンタドライバをインストールする前に、以下を確認してください。

- 東芝e-STUDIO166/167/207とリモートコンピュータがUSBケーブルで接続され、電源が入っていること。また、USBドライバがインストールされていること。
- リモートコンピュータにプリンタドライバがインストールされ、共有プリンタとして設定されていること。
- リモートコンピュータおよび共有プリンタへのアクセス権を有していること。(必要な場合のみ)

ご使用のWindowsのバージョンにより、インストール方法は異なります。

📖 P.85 「Windows 98 SE/Me」

📖 P.90 「Windows 2000」

📖 P.98 「Windows XP/Server 2003」

Windows 98 SE/Me

注 意

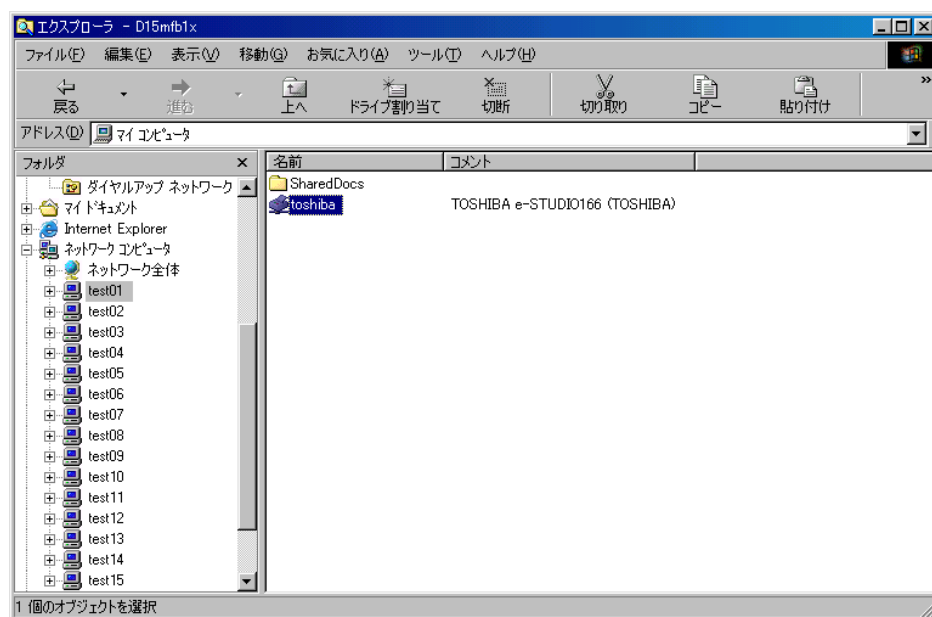
ここでは、Windows 98 Second Editionにインストールする例で説明します。Windows Meをお使いの場合も手順は、ほぼ同じです。

下記をご確認ください。

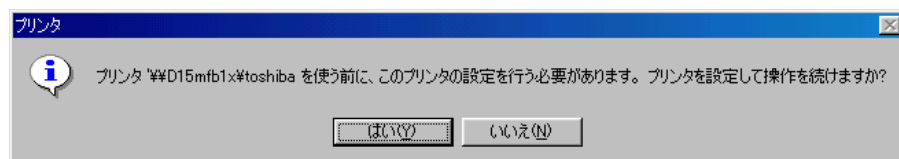
- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- 東芝e-STUDIO166/167/207とPCが接続され、電源が入っていること。

1 ネットワークプリンタを参照します。

- (1) Windows Explorerを使ってネットワークプリンタを参照します。
- (2) インストールするプリンタをダブルクリックします。

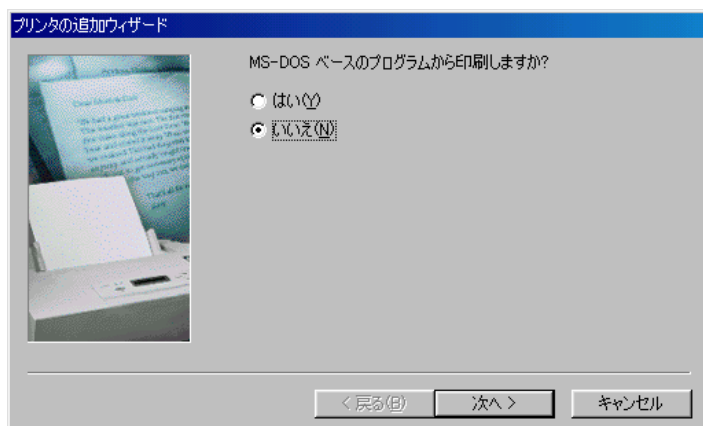


2 [はい]をクリックして、インストールを開始します。



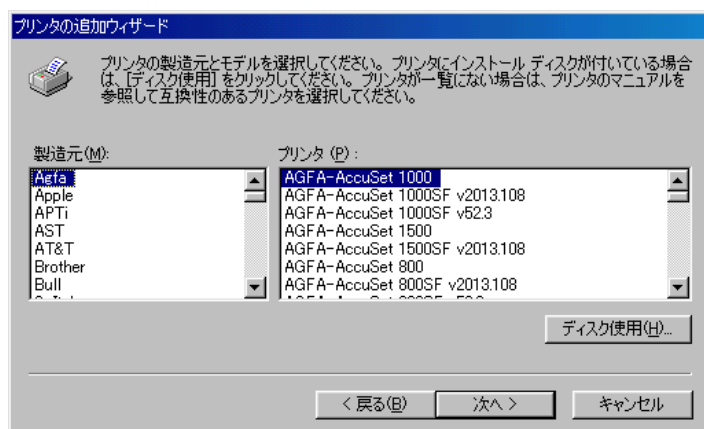
3 メッセージ「MS-DOSベースのアプリケーションから印刷しますか？」が表示されます。「はい」をチェックして、「次へ」をクリックします。

リモートコンピュータのOSがWindows 98 SE/Meの場合は、手順10へ進みます。
リモートコンピュータのOSがWindows 98 SE/Me以外の場合は、次の手順へ進みます。



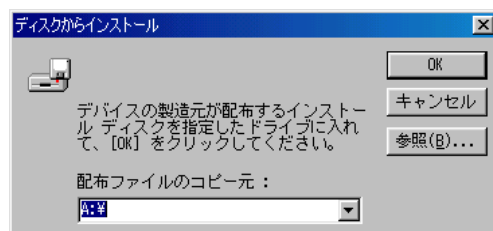
4 プリンター一覧が表示されます。

[ディスク使用]をクリックします。



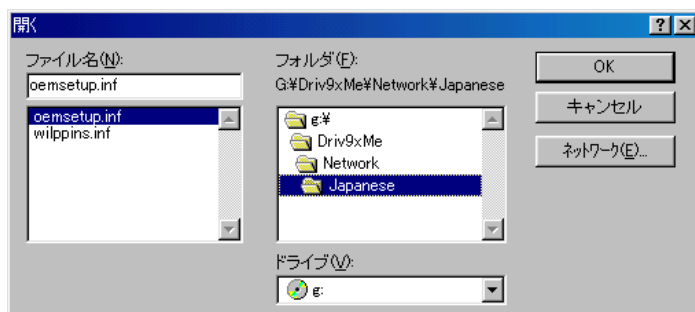
5 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

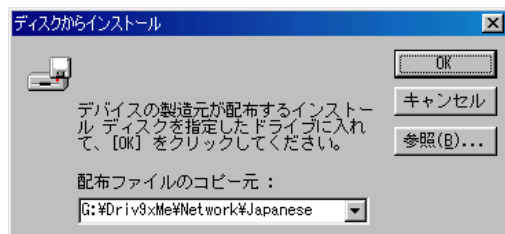


6 プリンタドライバのフォルダを参照します。

CD-ROMドライブの「Drv9xMe¥Network¥Japanese」フォルダを参照します。
ファイル名で「oemsetup.inf」を選択し、[OK]をクリックします。

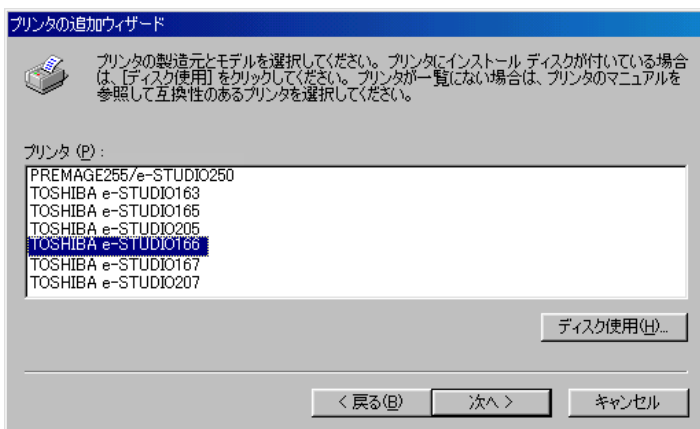


7 [OK]をクリックします。



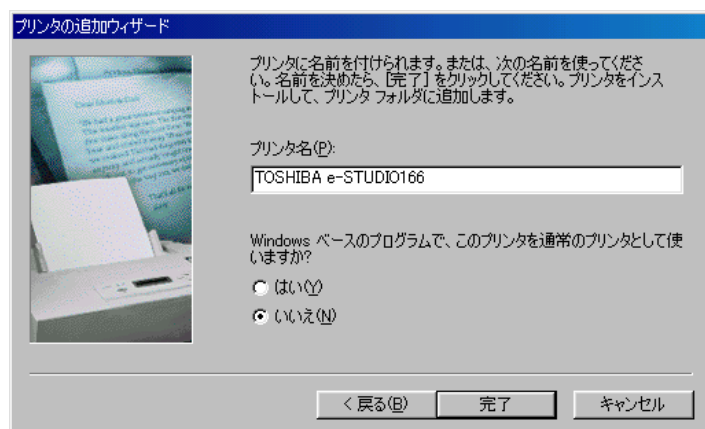
8 プリンター一覧から使用するプリンタを選択します。

[次へ]をクリックします。



9 プリンタ名を入力します。

- (1) 必要に応じて、プリンタ名を変更します。
- (2) **【完了】**をクリックすると、各ファイルがコピーされ、プリンタドライバがインストールされます。



補 足

プリンタドライバを削除するには、**【コントロールパネル】**－**【プリンタ】**から削除するプリンタを選択し、キーボードの**【Delete】**キーを押します。

Windows 2000

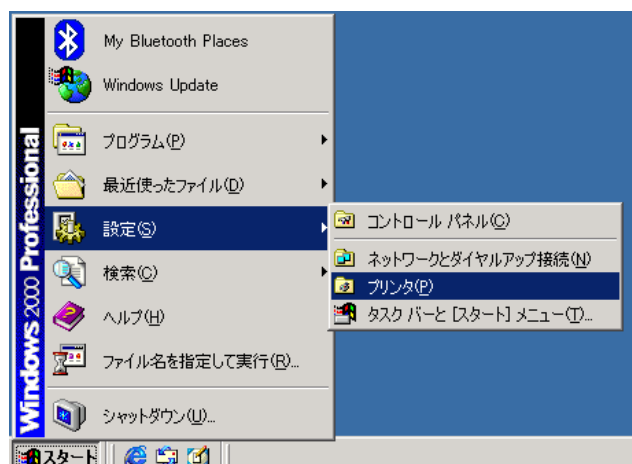
注意

下記をご確認ください。

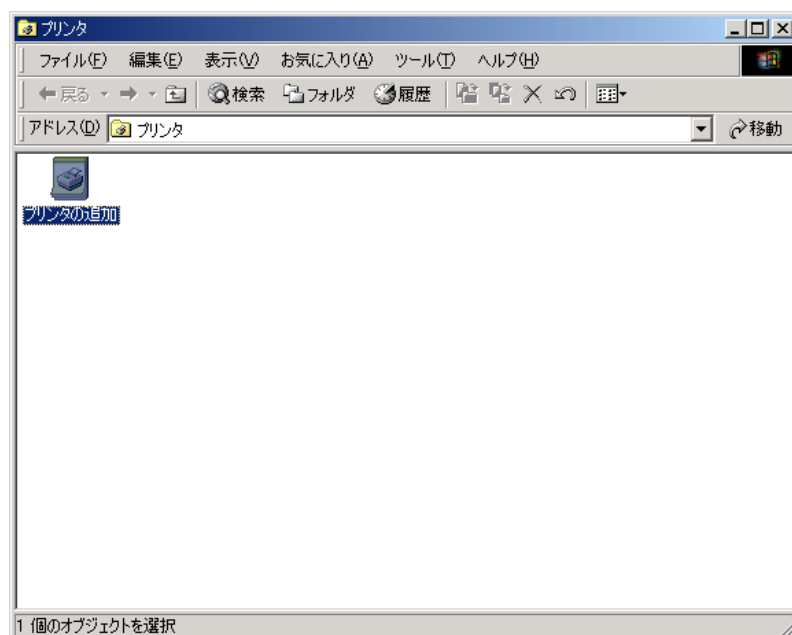
- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- Administrators(管理者)としてログインする必要があります。

1 「プリンタ」フォルダを開きます。

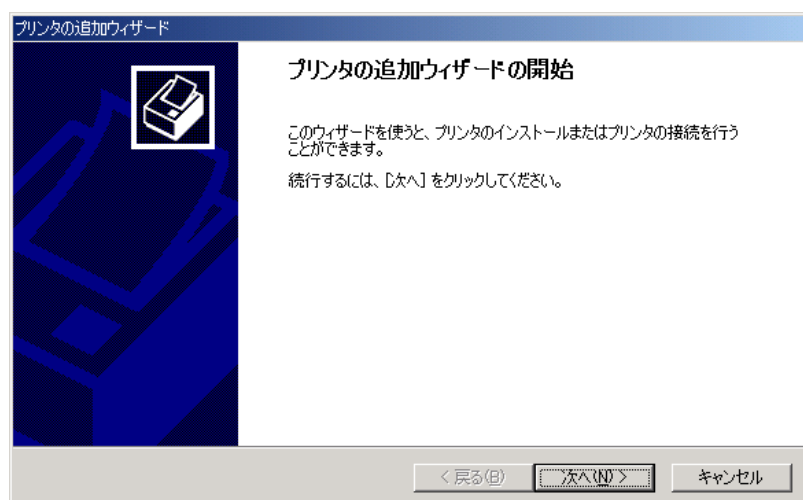
スタートメニューから[設定]－[プリンタ]を選択します。



2 [プリンタの追加]をダブルクリックします。

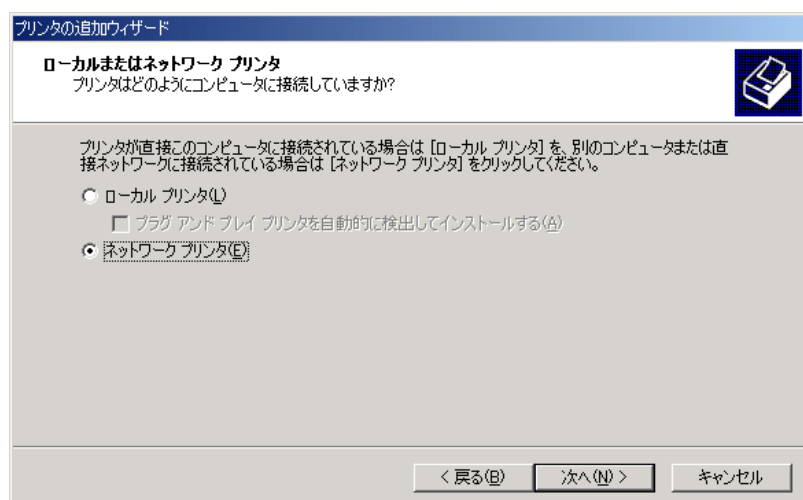


3 [次へ]をクリックします。

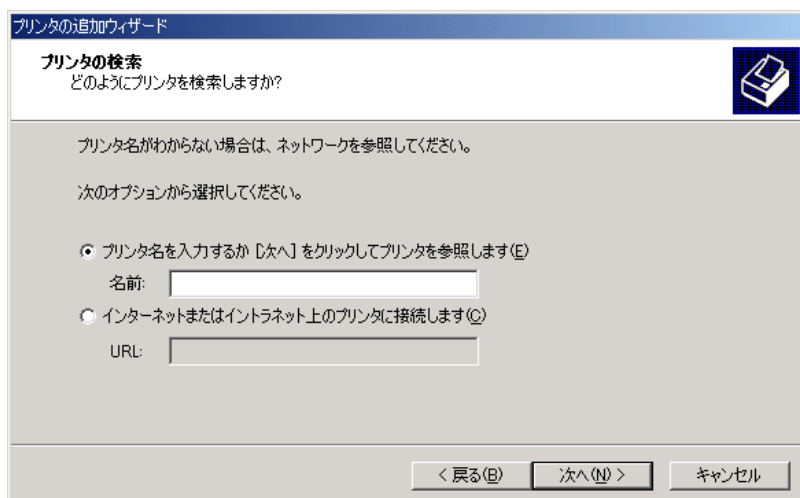


4 [ネットワークプリンタ]をチェックします。

[次へ]をクリックします。



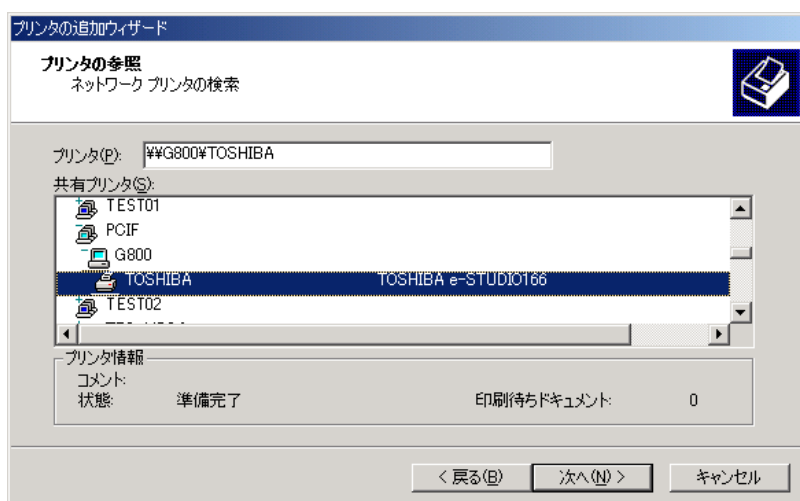
5 [次へ]をクリックして、使用するプリンタを参照します。



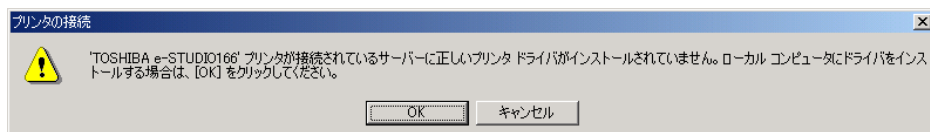
6 インストールしたいネットワークプリンタを参照し、選択したら[次へ]をクリックします。

リモートコンピュータのOSがWindows 2000/XP/Server 2003の場合は
手順14へ進みます。

リモートコンピュータのOSがWindows 2000/XP/Server 2003以外の場合は
次の手順へ進みます。



7 [OK]をクリックします。



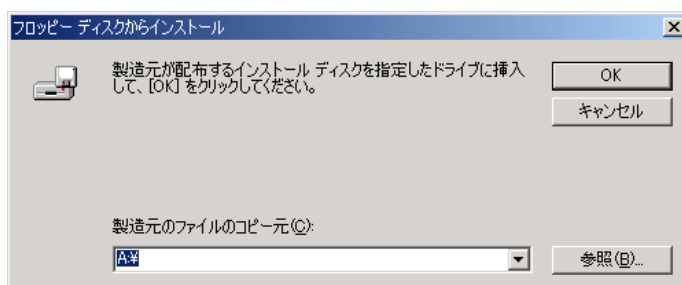
8 プリンター一覧が表示されます。

[ディスク使用]をクリックします。



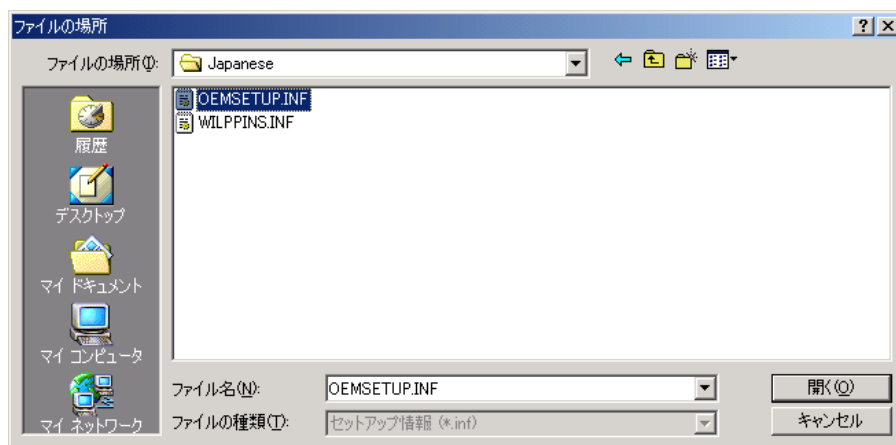
9 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

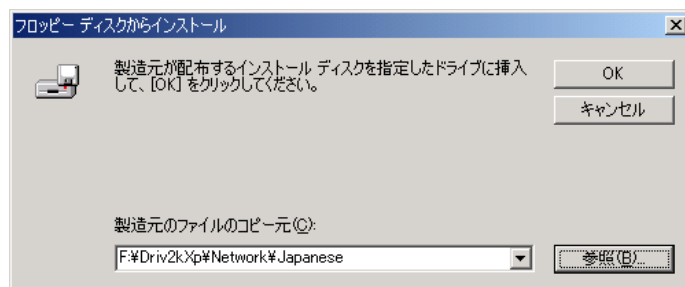


10 プリンタドライバのフォルダを参照します。

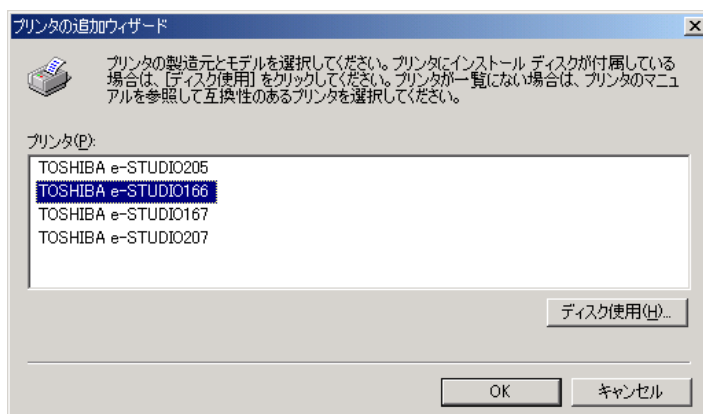
CD-ROMドライブの「Driv2kXP¥Network¥Japanese」フォルダを参照します。
ファイル名で「oemsetup.inf」を選択し、[開く]をクリックします。



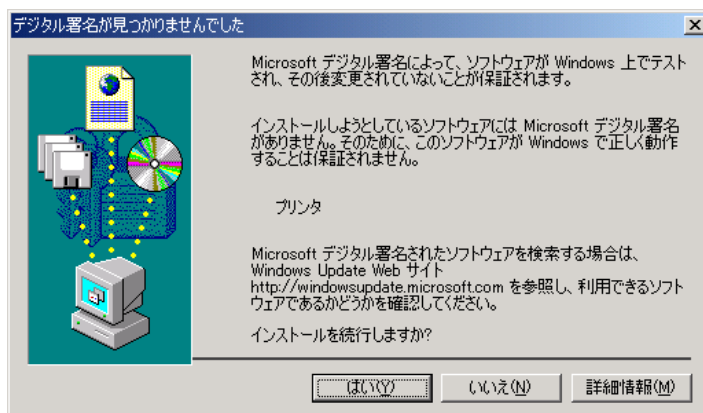
11 [OK]をクリックします。



12 プリンター一覧から使用するプリンタを選択します。 [次へ]をクリックします。

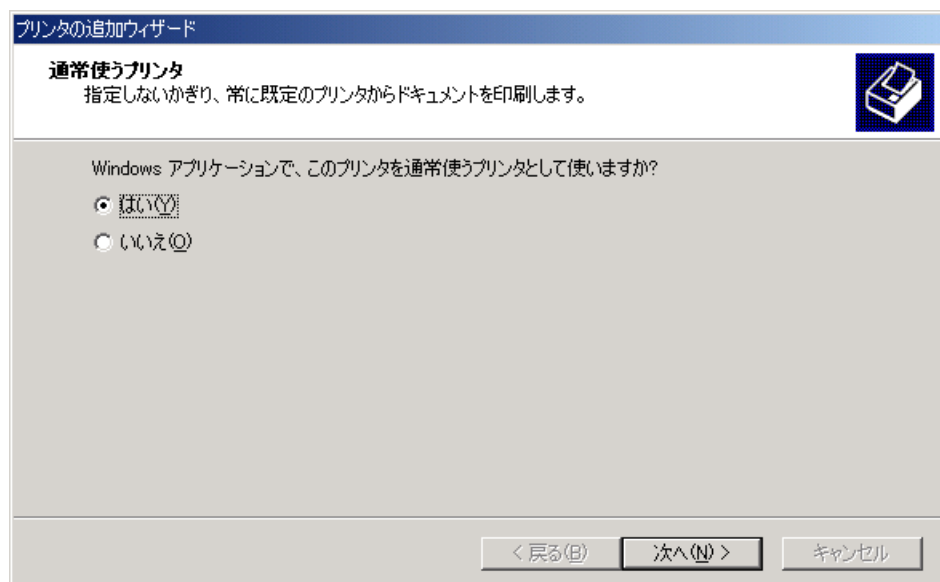


13 [はい]をクリックします。



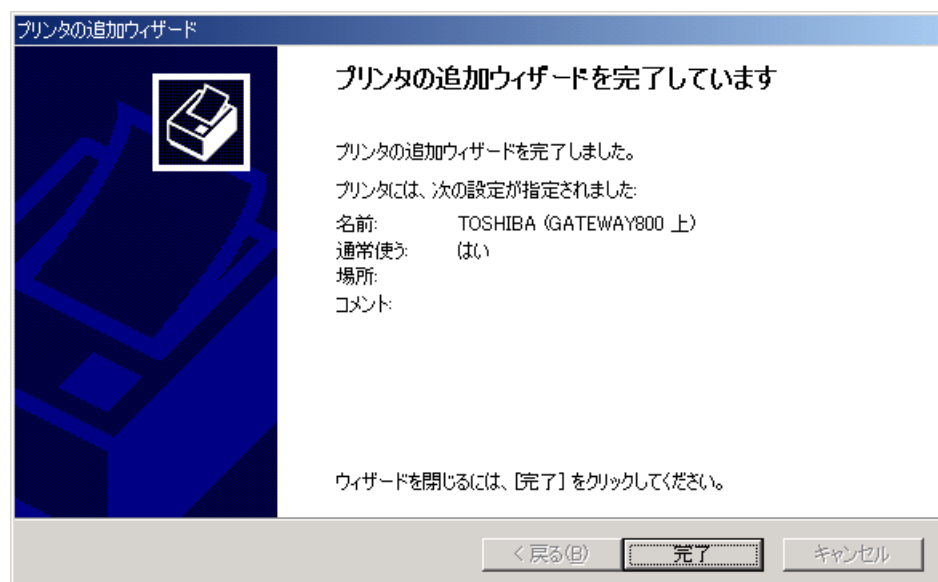
14 通常使うプリンタにするかを選択します。

[次へ]をクリックします。



15 [完了]をクリックして、インストールを終了します。

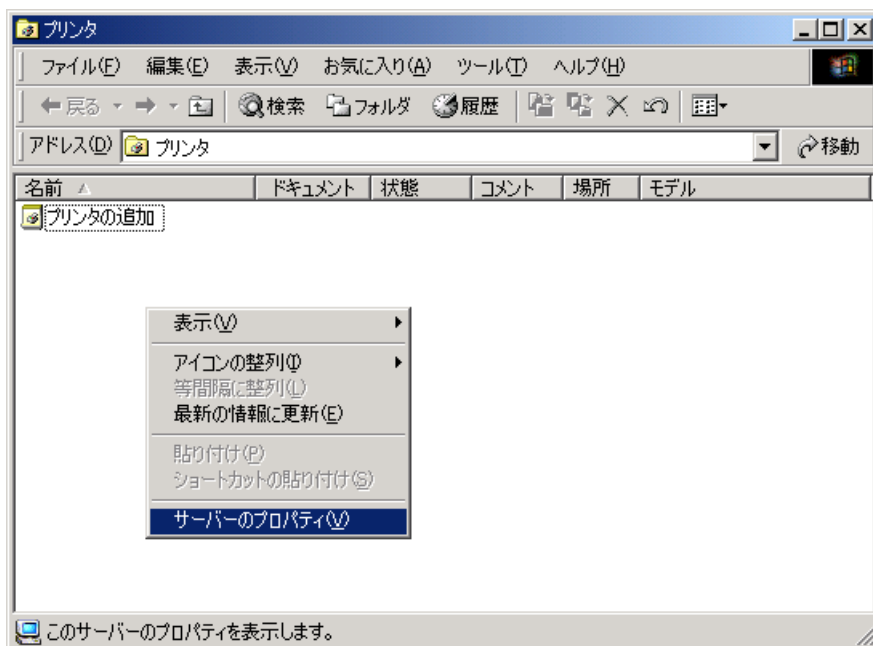
東芝e-STUDIO166/167/207プリンタドライバがインストールされ、プリンタが使用可能となります。



補 足

プリンタドライバを削除するときは

1. スタートメニューから[設定]－[プリンタ]を選択します。e-STUDIO166/167/207を選択し、キーボードの[Delete]キーを押します。プリンタアイコンが削除されます。
2. [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]を選択します。



3. ドライバタブを表示し、e-STUDIO166/167/207プリンタドライバを選択します。



4. [削除]をクリックします。

Windows XP/Server 2003

プリンタドライバをインストールする前に

プリンタドライバをインストールする前に、下記をご確認ください。

- 東芝e-STUDIO166/167/207とリモートコンピュータがUSBケーブルで接続され、電源が入っていること。
- リモートコンピュータにプリンタドライバがインストールされ、共有プリンタとして設定されていること。
- リモートコンピュータおよび共有プリンタへのアクセス権を有していること。

Windows XP/Server 2003からプリンタドライバをインストールする場合、「インターネット接続ファイアウォールの設定」がオンになっているとファイルを共有することができません。このため、ネットワーククライアントにプリンタドライバをインストールすることができません。

この場合、次の手順でWindows XP/Server 2003のインターネット接続ファイアウォールの設定をオフにしてください。

- **スタートメニューからコントロールパネルを選択し、ネットワーク接続をダブルクリック**します。
- **ローカルエリア接続**にカーソルを合わせ、右クリックし**プロパティ**を選択します。
- **詳細設定**タブをクリックし、**インターネット接続ファイアウォールの設定**のチェックを外します。

設定方法は、お使いのネットワーク環境によって異なる場合があります。

詳しくはネットワーク管理者にご確認ください。

注 意

ここでは、Windows XPにインストールする例で説明します。

Windows Server 2003をお使いの場合も手順は、ほぼ同じです。

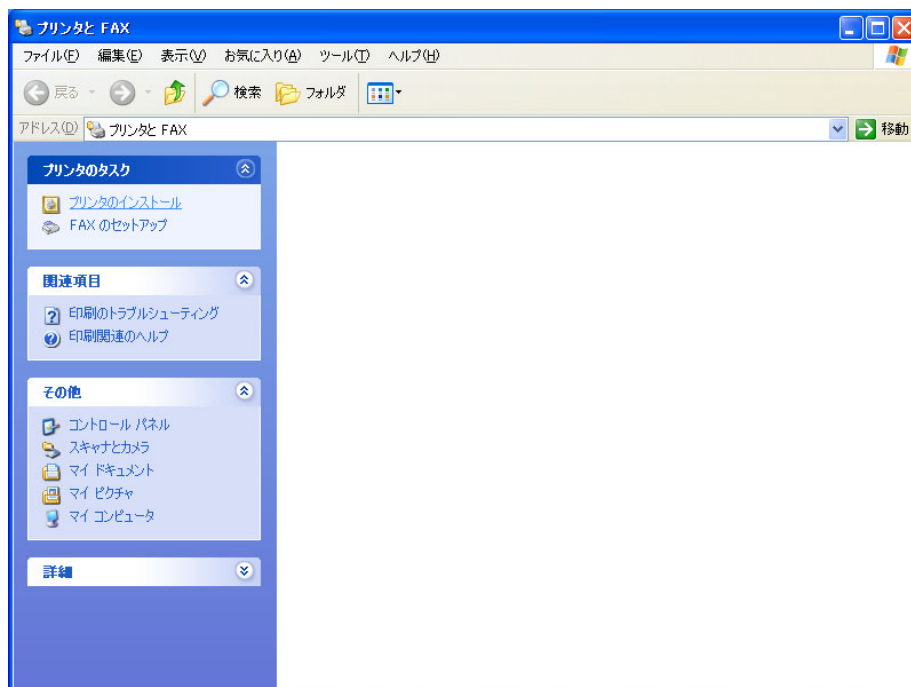
下記をご確認ください。

- インストール中の競合を避けるために、起動しているアプリケーションがすべて閉じられていること。
- Administrators(管理者)としてログインする必要があります。

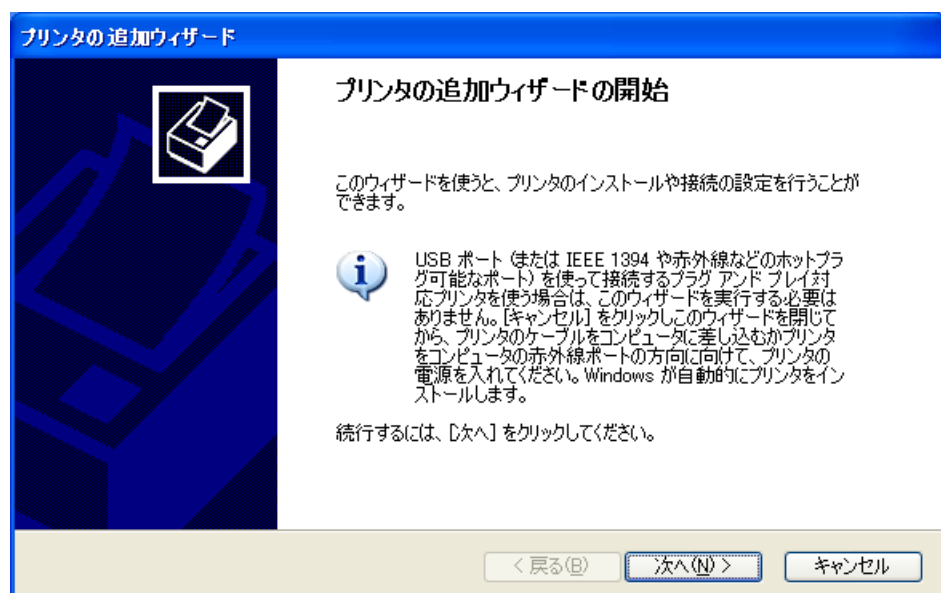
- 1 「プリンタとFAX」フォルダを開きます。
スタートメニューから[プリンタとFAX]を選択します。



- 2 プリンタのタスク内の「プリンタのインストール」を選択します。

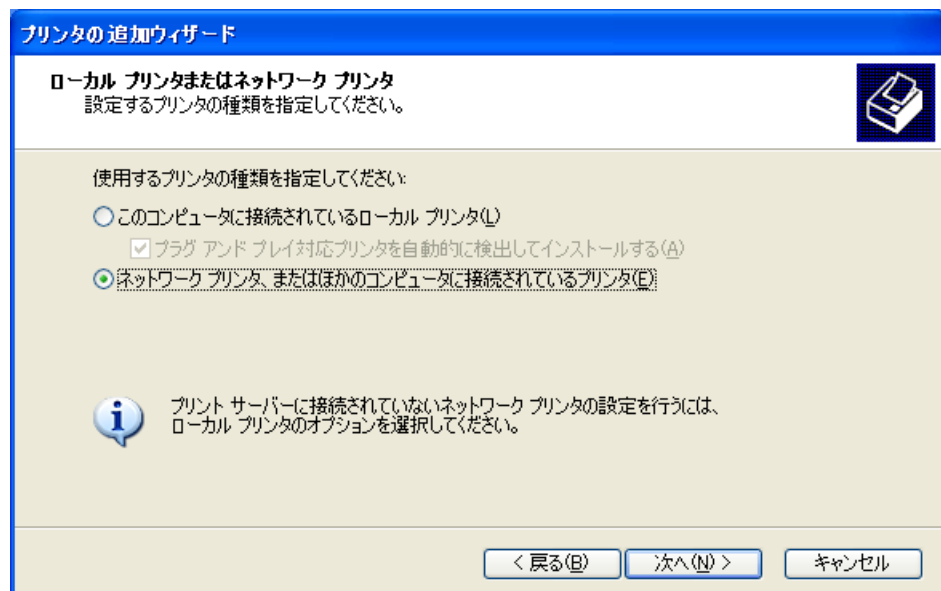


3 [次へ]をクリックします。



4 「ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ」を選択します。

[次へ]をクリックします。



5 [次へ]をクリックして、使用するプリンタを参照します。

プリンタの追加ウィザード

プリンタの指定
プリンタの名前またはアドレスが不明な場合は、プリンタを検索することができます。

接続するプリンタを指定してください。

☒ プリンタを参照する(W)

☐ 指定したプリンタに接続する (プリンタを参照するにはこのオプションを選択して [次へ] をクリック)(Q):

名前:

例: \\server\printer

☐ インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する(Q)

URL:

例: http://server/printers/myprinter/printer

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

6 インストールしたいネットワークプリンタを参照し、選択したら[次へ]をクリックします。

リモートコンピュータのOSがWindows 2000/XP/Server 2003の場合は

手順14へ進みます。

リモートコンピュータのOSがWindows 2000/XP/Server 2003以外の場合は

次の手順へ進みます。

プリンタの追加ウィザード

プリンタの参照
プリンタの一覧が表示されたら、希望のプリンタを選択してください。

プリンタ(P):

共有プリンタ(S):

- PCIF
- G800
- TOSHIBA** TOSHIBA e-STUDIO166
- TEST04
- TEST05

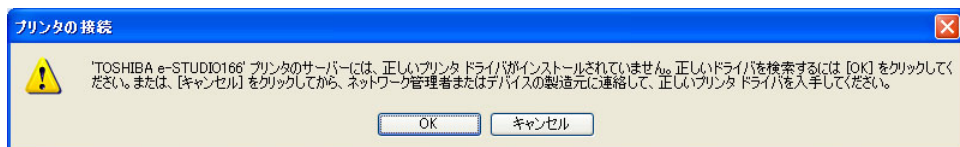
プリンタ情報

コメント:

状態: 準備完了 印刷待ちドキュメント: 0

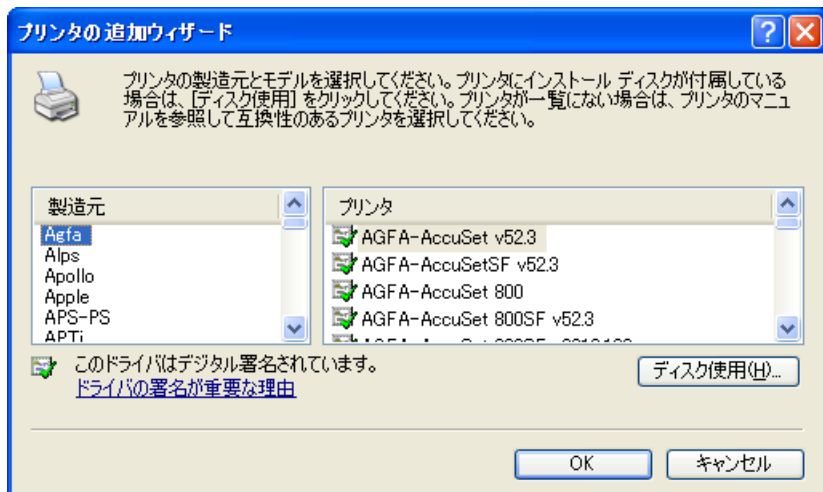
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

7 [OK]をクリックします。



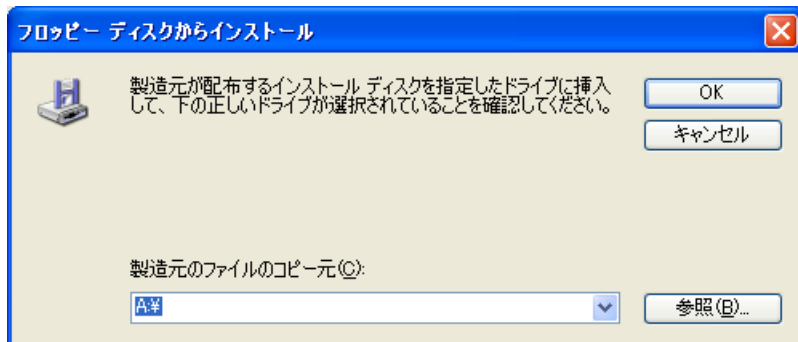
8 プリンター一覧が表示されます。

[ディスク使用]をクリックします。



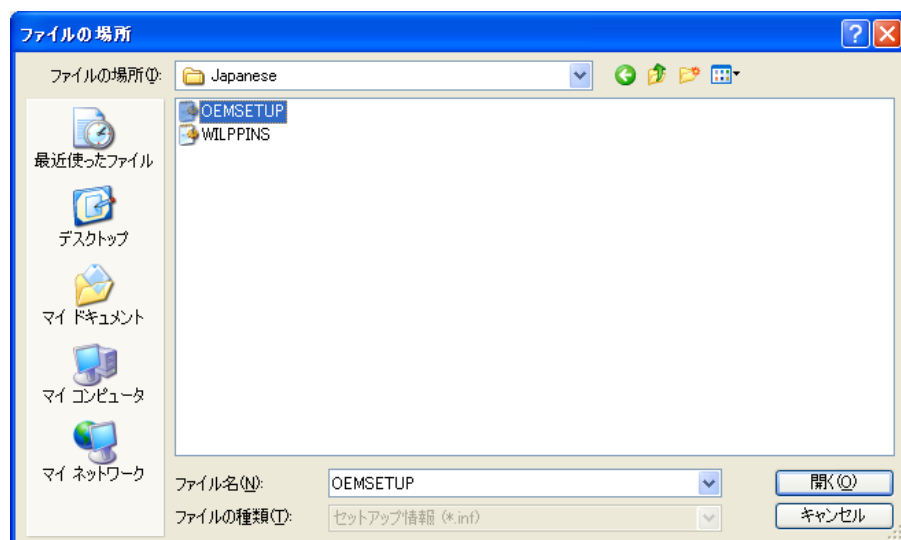
9 CD-ROMドライブにTOSHIBA Viewer CD-ROMをセットします。

[参照]をクリックします。

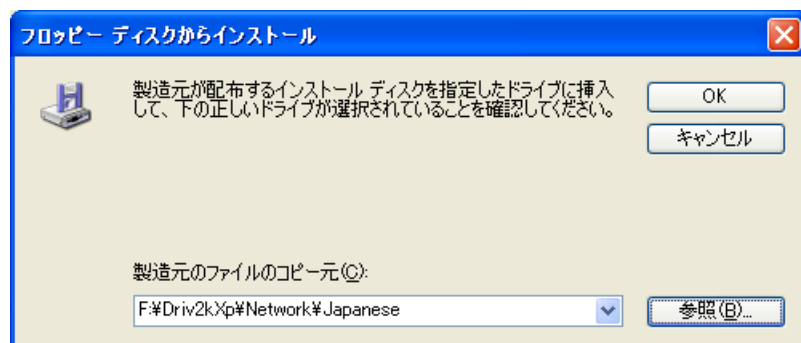


10 プリンタドライバのフォルダを参照します。

CD-ROMドライブの「Driv2kXp¥Network¥Japanese」フォルダを参照し、ファイル名で「oemsetup.inf」を選択して、**[開く]**をクリックします。

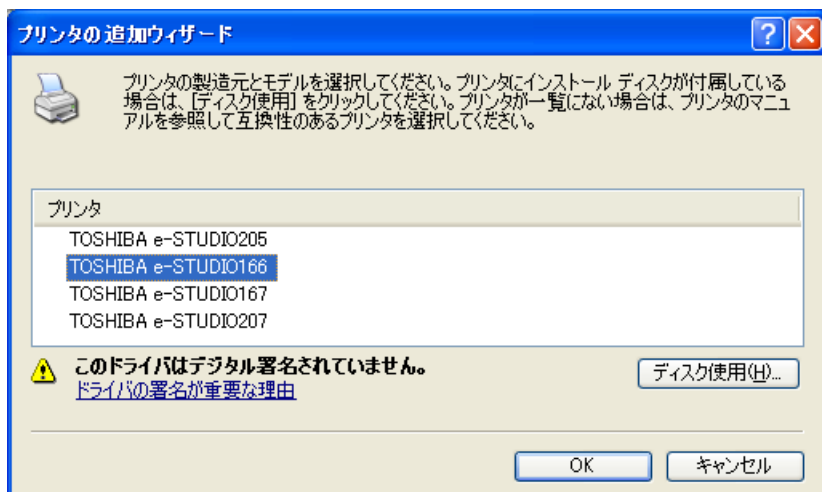


11 [OK]をクリックします。

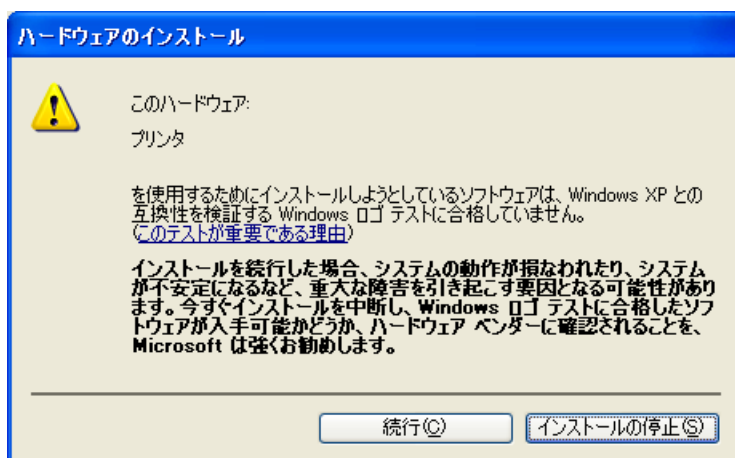


12 プリンター一覧から使用するプリンタを選択します。

[OK]をクリックします。

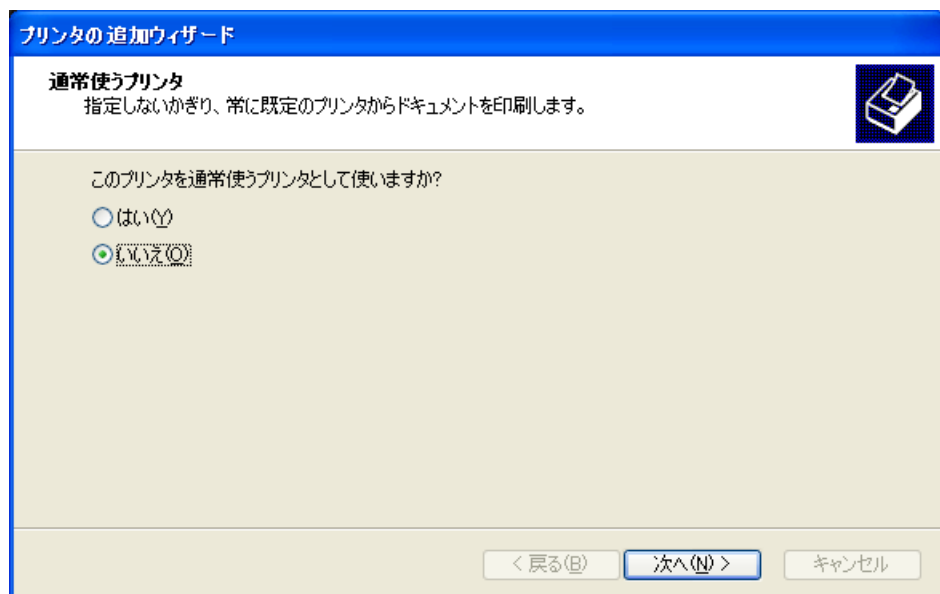


13 [続行]をクリックします。

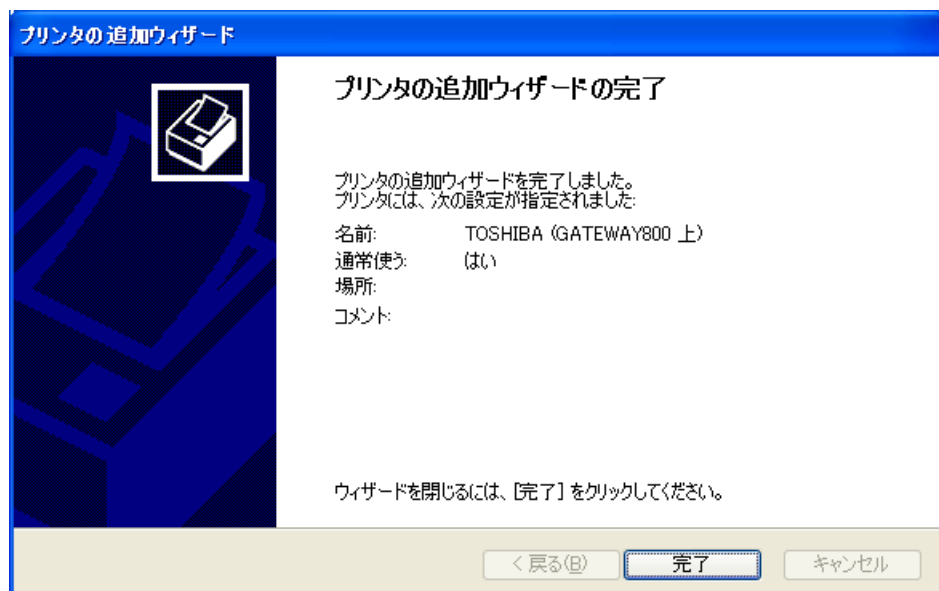


14 通常使うプリンタにするかを選択します。

[次へ]をクリックします。



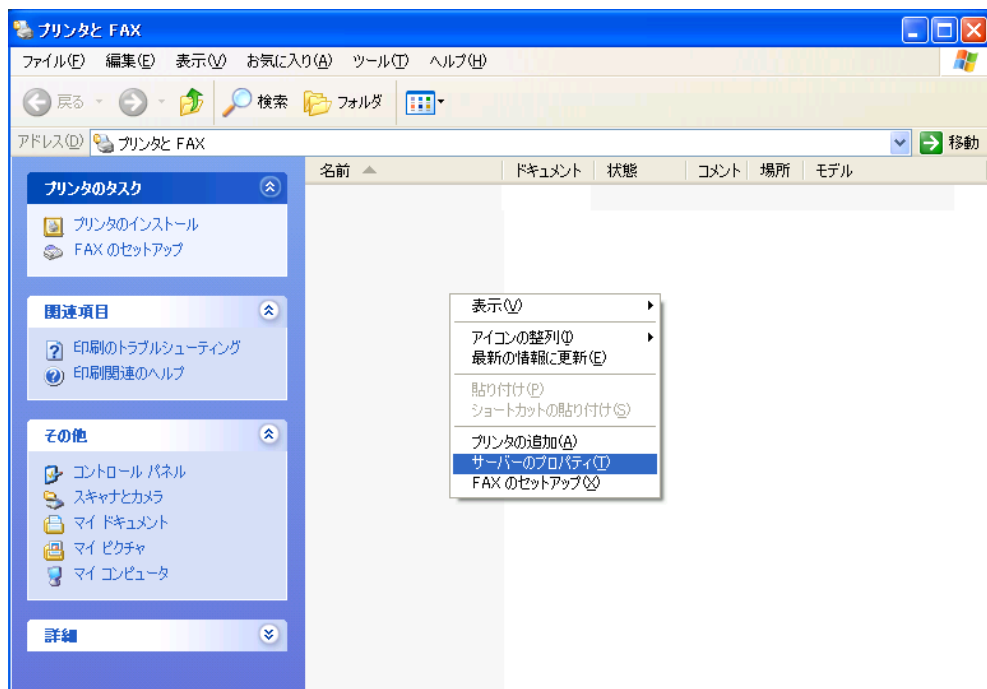
15 [完了]をクリックすると、インストールを終了します。



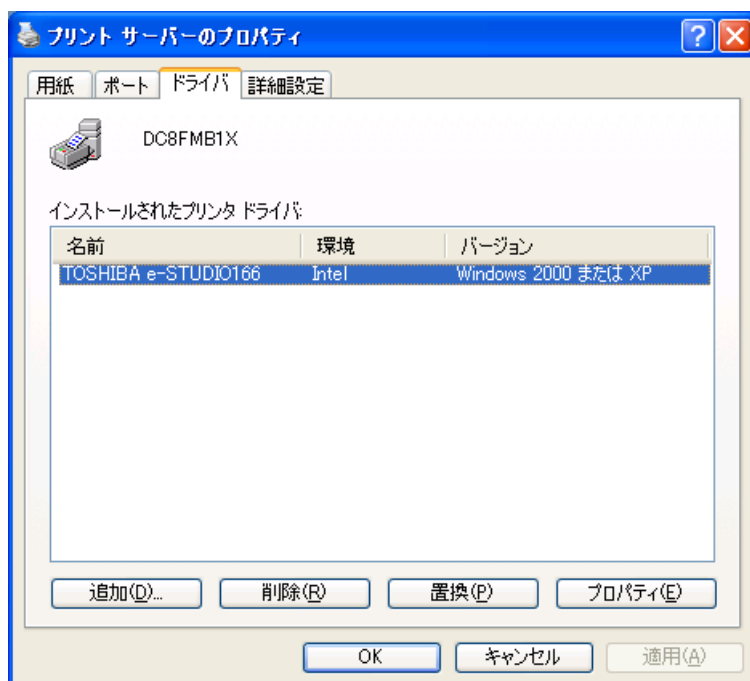
補 足

プリンタドライバを削除するときは

1. スタートメニューから**[プリンタとFAX]**を選択します。e-STUDIO166/167/207を選択し、キーボードの**[Delete]**キーを押します。プリンタアイコンが削除されます。
2. **[ファイル]**メニューから**[サーバーのプロパティ]**を選択します。



3. ドライバタブを表示し、e-STUDIO166/167/207プリンタドライバを選択します。



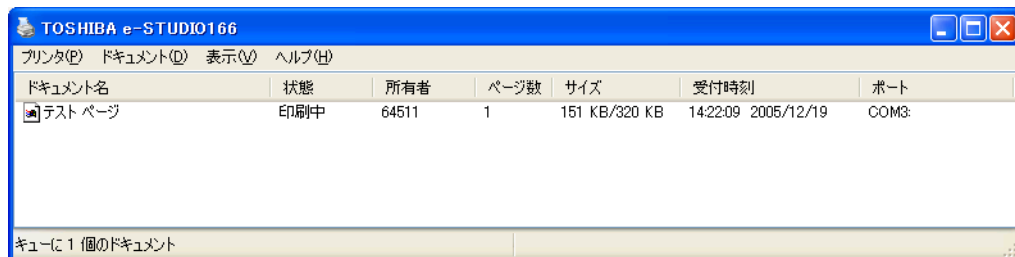
4. **【削除】**をクリックします。

補足

印刷ジョブを削除する

印刷ジョブをWindowsプリントキューから削除することができます。

スタートメニューから**【プリンタとFAX】**を選択して、プリンタをダブルクリックします。削除するジョブを選択してキーボードの**【Delete】**キーを押します。(または、削除するジョブを右クリックして、**キャンセル**を選択します。)



また、時刻の横に表示されているシステムトレイからプリンタドライバを閉じることにより、印刷ジョブを削除することもできます。

プリンタドライバは、システムトレイに以下のように表示されます。



印刷ジョブを削除するには、アイコンを右クリックして、**【閉じる】**を選択します。



プリンタドライバが閉じます。

TOSHIBA Viewerの機能

このセクションでは、TOSHIBA Viewerの起動時の画面から操作できる機能について説明します。

起動時の画面について	110
各機能の概要	110
フォルダの参照	112
「フォルダの参照」の操作方法と機能説明	112
コピー	137
「コピー」の操作方法と機能説明	137
ファイルスキャン	138
「ファイルスキャン」の操作方法と機能説明	138
Eメールスキャン	142
「Eメールスキャン」の操作方法と機能説明	142
セットアップ	144
「セットアップ」の操作方法と機能説明	144
TOSHIBA Viewer GDI プリンタ	150
TOSHIBA Viewer GDI プリンタを使った文書の印刷方法	150

起動時の画面について

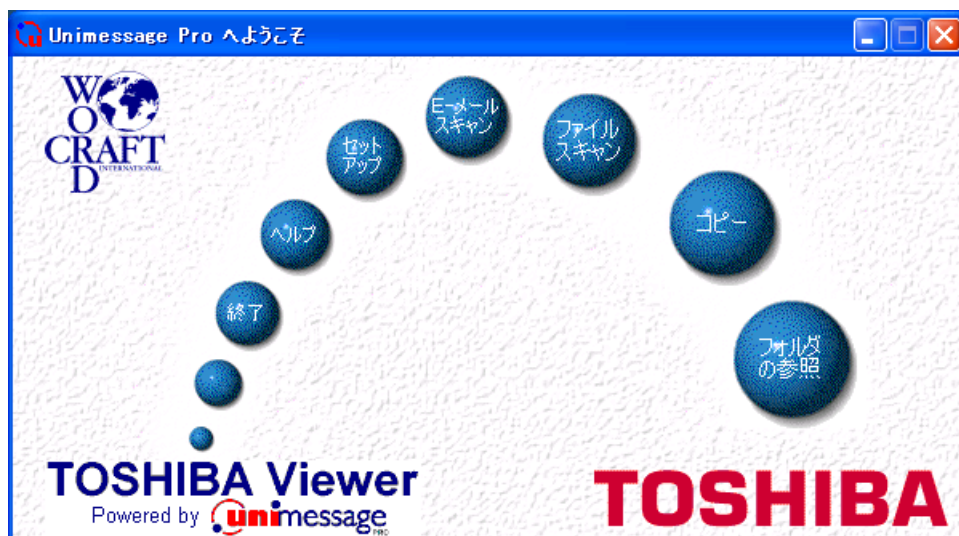
各機能の概要

本セクションは、起動時の画面「Unimessage Proへようこそ」について説明し、また一般的な機能の使用法を解説します。

詳細および本マニュアルに掲載されていない内容については、TOSHIBA Viewerオンラインヘルプを参照してください。

TOSHIBA Viewer を起動するには

スタートメニューから**[すべてのプログラム] – [Unimessage Pro] – [Unimessage Pro]**を選択します。「Unimessage Proへようこそ」画面が表示されます。






「ようこそ」メニュー画面からさまざまなTOSHIBA Viewerの機能にアクセスすることができます。

TOSHIBA Viewerロゴをクリックすると、TOSHIBA Viewer 内のフォルダー一覧へアクセスします。

起動時の画面上の丸ボタンをクリックすると、TOSHIBA Viewer のいくつかの機能に素早くアクセスすることができます。起動時の画面には次のボタンが表示されます。

フォルダの参照： TOSHIBA Viewer内のフォルダー一覧へアクセスします。
このボタンをクリックして表示される画面上のメニューやフォルダから多くの操作をおこなうことができます。
詳細については、以下のページまたはTOSHIBA Viewerオンラインヘルプを参照してください。
📖 P.112「フォルダの参照」

コピー： TWAINスキャンを利用して原稿をスキャンし自動的にそのまま印刷をおこないます。PCよりリモート操作で原稿の複数コピーをおこなうことができます。
詳細については、以下のページを参照してください。
📖 P.137「コピー」

-
- ファイルスキャン:** 東芝e-STUDIO166/167/207 TWAINスキャナドライバへアクセスします。TOSHIBA Viewerスキャンセットアップダイアログが表示され、スキャンした文書やイメージをPCに取り込むことができます。
詳細については、以下のページまたはTOSHIBA Viewerオンラインヘルプを参照してください。
 P.138「ファイルスキャン」
- Eメールスキャン:** TWAINスキャナで取り込んだ文書やイメージをメールメッセージに自動的に添付します。
メールスキャンをおこなうには、EメールユーティリティをPCにインストールする必要があります。
詳細については、以下のページを参照してください。
 P.142「Eメールスキャン」
- セットアップ:** セットアップダイアログへアクセスします。
東芝e-STUDIO166/167/207の各設定をPCからおこなうことができます。
セットアップは、**フォルダの参照**からおこなうこともできます。
詳細については、以下のページを参照してください。
 P.144「セットアップ」
- ヘルプ:** TOSHIBA Viewerオンラインヘルプへアクセスします。
- 終了:** TOSHIBA Viewerを閉じます。

フォルダの参照

「フォルダの参照」の操作方法と機能説明

「ようこそ」メニュー画面の**「フォルダの参照」**またはTOSHIBA Viewerロゴをクリックすると、TOSHIBA Viewerメインディスプレイが表示されTOSHIBA Viewer内のフォルダ一覧へアクセスします。

補 足

- メインディスプレイを閉じると、「ようこそ」メニュー画面が再表示されます。
TOSHIBA Viewerを起動時に、この画面をデフォルト画面として表示させることができます。**セットアップメニューからプログラムを選択し、[アプリケーションタブのようこそ画面を表示する]のチェックを外し、[OK]をクリックします。**
TOSHIBA Viewerの次回起動時から「ようこそ」メニュー画面は表示されなくなります。
- Ctrl + TAB**または**Ctrl + F6**を押すと、TOSHIBA Viewerメインディスプレイ上の右枠でオープンフォルダの表示を切り替えることができます。
- Ctrl + F4**を押すと、TOSHIBA Viewerメインディスプレイ上の右枠のカレントフォルダを閉じることができます。

TOSHIBA Viewerメインディスプレイには、以下のメニューがあります：**ファイル、編集、表示、メッセージ、セットアップ、ウィンドウ、ヘルプ**

メニューの下には、以下のツールバーがあります：**開く、印刷、読取、コピー、検索**

ツールバーを非表示に切り替える場合は、表示メニューからおこないます。

画面下にはステータスバーが表示され、実行中の操作に対応したメッセージが表示されます。

ステータスバーを非表示に切り替える場合は、表示メニューからおこないます。

各メニュー項目の詳細については、ヘルプメニューの**ヘルプの目次**を選択して、TOSHIBA Viewerのオンラインヘルプをご覧ください。

画面の残り部分は、2つの枠に分けられています。

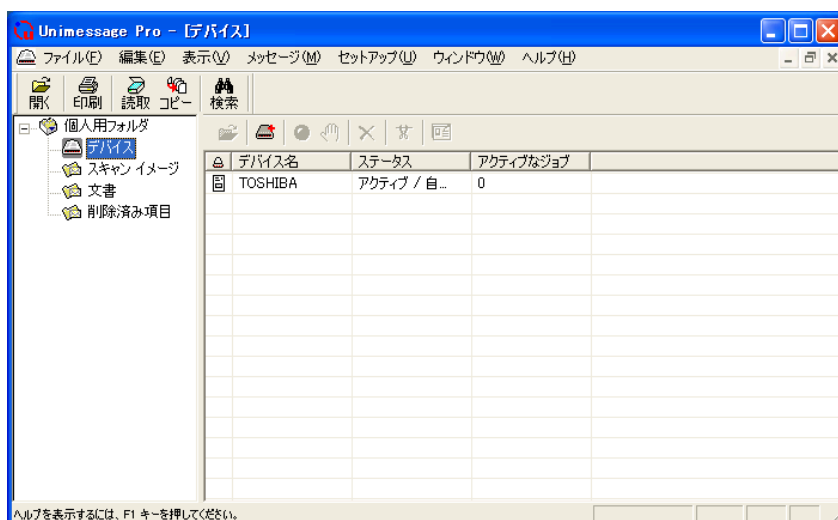
左枠: 使用できるフォルダの一覧

左枠のフォルダのアイコンをクリックすると、右枠にフォルダ内のファイルが表示されます。

フォルダ内に未開封のファイルが存在する場合は、フォルダ名のあとに未開封のファイル数が表示されます。

右枠:フォルダ内容の表示

表示させたいフォルダを左枠でクリックすると、そのフォルダを開き内容を表示します。



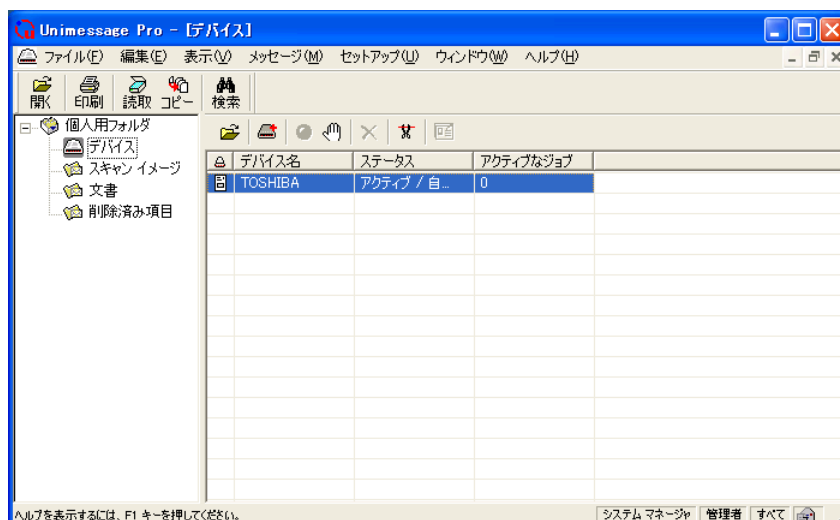
デバイス情報を変更する

デバイスドライバで利用可能にする機能や、デバイスの接続設定を「デバイス」フォルダからの操作で変更することができます。

また、東芝e-STUDIO166/167/207デジタル複合機の接続構成をお使いのコンピュータから変更することもできます。

1 「デバイス」フォルダを開きます。

フォルダ内容から詳細設定を変更するデバイスを選択し、ダブルクリックします。デバイス画面が表示されます。



2 TOSHIBA Viewerおよびデバイス設定を変更します。

- (1) [デバイス] タブをクリックします。
- (2) e-STUDIO166/167/207を使ってTOSHIBA Viewerから操作を許可する機能(印刷/スキャン)をチェックします。

ポートを変更する場合は

手順3へ進みます。

- (3) [OK] をクリックして、変更を保存します。

注 意

デバイス設定をセットアップする場合は、[セットアップ] をクリックします。

詳細については、以下のページを参照してください。

📖 P.144 「セットアップ」

間違った設定をおこなうと送信ができないなどの不具合が発生しますので、設定を変更する際はご注意ください。



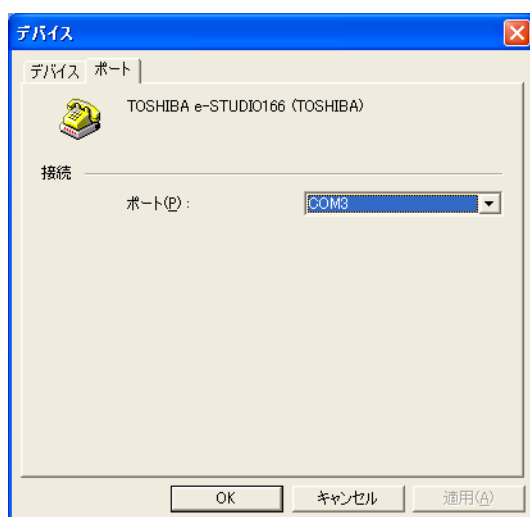
3 ポートを変更します。

- (1) [ポート] タブをクリックします。
- (2) e-STUDIO166/167/207が接続されているポート先を選択します。
- (3) [OK] をクリックして、変更を保存します。

補 足

変更したデバイスのプロパティは、TOSHIBA Viewerの次回起動時から有効となります。また、デバイスを再起動する下記手順でも有効となります。

- デバイス一覧からデバイスを選択します。
- [ログオフ] をクリックします。
- [開始] をクリックします。



東芝e-STUDIO167/207の電話帳を追加・編集する

TOSHIBA Viewerを使って、ワンタッチダイヤル番号や短縮ダイヤル番号を東芝e-STUDIO167/207に追加したり、保存されている電話帳を編集することができます。

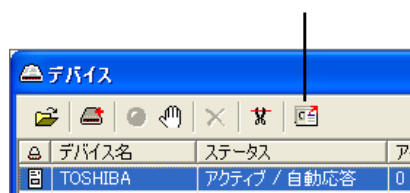
注意

この機能は、ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。

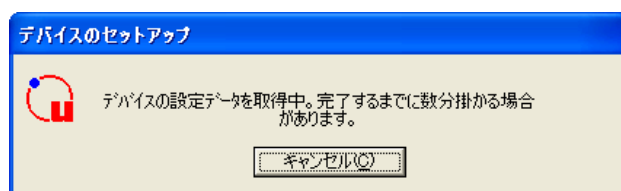
1 「デバイス」フォルダを開きます。

- (1)一覧から目的のデバイスを選択し、**【デバイスの電話帳をセットアップ】**をクリックします。

デバイスの電話帳をセットアップ



- (2)TOSHIBA Viewerがデバイスから設定データを取得します。メッセージ「デバイスの設定データを取得中。完了するまでに数分掛かる場合があります。」が表示されます。設定データを取得すると、「MFPデバイスの機能設定」画面が表示されます。



現在の電話帳を変更するときは

手順2へ進みます。

ハードディスク上のセットファイルを読み込んで電話帳を変更するときは

手順3へ進みます。

TOSHIBA Viewerに保存されているユーザー設定ファイルをコピーして電話帳を変更するときは

手順4へ進みます。

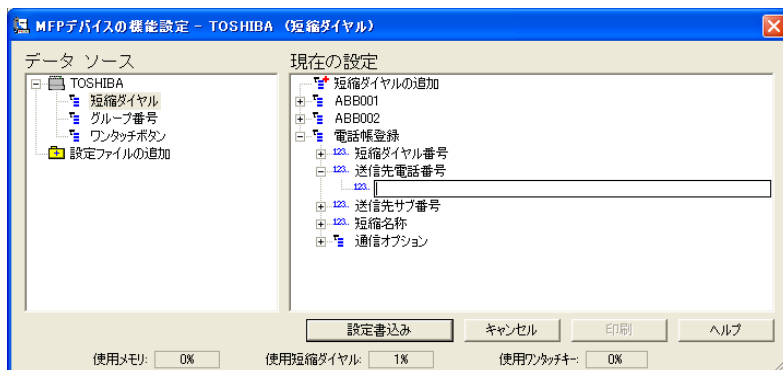
補足

電話帳セットアップの詳細については、ヘルプを参照してください。

2 電話帳を編集します。

新しい連絡先を追加するには

- (1)左枠で「短縮ダイヤル」、「グループ番号」、「ワンタッチボタン」のいずれかをクリックして、右枠の...の追加(例:短縮ダイヤルの追加)をダブルクリックします。
- (2)電話番号入力リストが表示されます。
- (3)必要な項目をダブルクリックして、各情報を入力します。

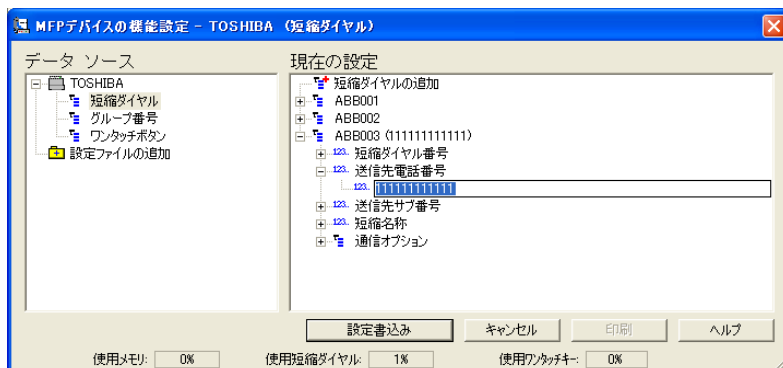


既存の電話帳を編集するには

- (1)編集したい項目をダブルクリックして、新しいデータを入力します。
- (2)設定書込みをクリックし、設定内容をe-STUDIO167/207にダウンロードします。

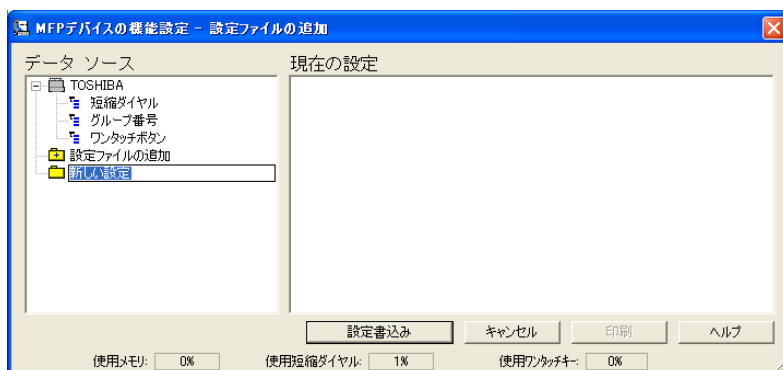
補 足

[キャンセル]をクリックすると、電話帳の追加や編集を中止します。

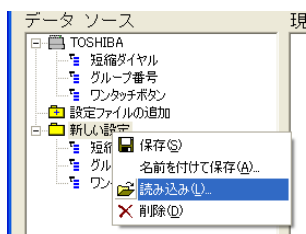


3 ハードディスクからセットファイルを読み込みます。

- (1) 設定ファイルの追加をダブルクリックします。
- (2) 「新しい設定」ファイルが作成されます。



- (3) ファイルを右クリックして、読み込みを選択します。



補 足



電話帳設定ファイルを作成してハードディスクに保存する場合は、「電話帳を保存する」を参照してください。

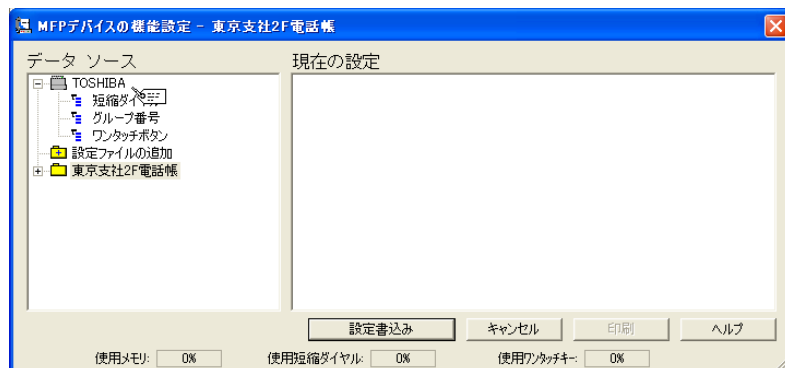
- (4) 「設定の読み込み」画面が表示されます。
- (5) 設定ファイルのあるハードディスクのロケーションを指定し、ファイルを選択したら、開くをクリックします。
- (6) 設定ファイルが読み込まれます。

4 電話帳設定をコピーします。

ユーザ電話帳ファイルを左クリックしたまま、デバイス電話帳ファイルへドラッグし、クリックを解除します。

補 足

最初、マウスポインタは「」表示されます。電話帳ファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、ユーザ電話帳ファイルの内容がデバイス電話帳へコピーされます。



5 設定書込みをクリックします。

設定内容がe-STUDIO167/207へダウンロードされます。

補 足

【キャンセル】をクリックすると、電話帳の追加や編集を中止します。

電話帳を保存する

TOSHIBA Viewerによって開かれるデバイス電話帳(デフォルト名:TOSHIBA)は、テンポラリファイルです。

設定画面にアクセスするたびに、現在の電話帳設定がデバイスから読み込まれ、常に最新の設定内容が反映されます。

デバイスから読み込んだ電話帳設定をTOSHIBA Viewerに保存することができます。また、ハードディスクに設定ファイルとして保存することもできます。

デバイスを初期状態にリセットしたときやファームウェアの更新をおこなったときには、保存された電話帳ファイルをダウンロードし、デバイスの電話帳を簡単に再設定することができます。

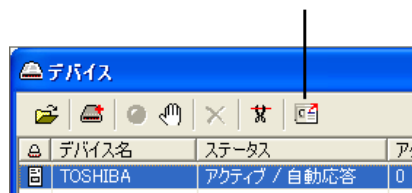
注意

この機能は、ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。

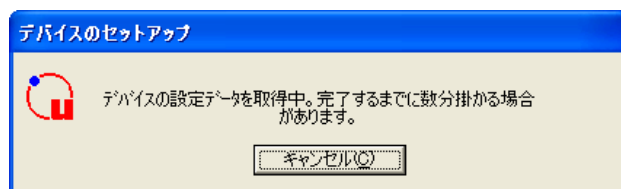
1 「デバイス」フォルダを開きます。

(1)一覧から目的のデバイスを選択し、**【デバイスの電話帳をセットアップ】**をクリックします。

デバイスの電話帳をセットアップ





(2)TOSHIBA Viewerがデバイスから設定データを取得します。メッセージ「デバイスの設定データを取得中。完了するまでに数分掛かる場合があります。」が表示されます。設定データを取得すると、「MFPデバイスの機能設定」画面が表示されます。



2 新規電話帳ファイルを作成します。

- (1) 設定ファイルの追加をダブルクリックします。新規設定ファイルが作成されます。
ファイル名を入力します。
- (2) 現行のデバイス電話帳設定を新規設定ファイルへコピーする場合は、デバイス電話帳ファイル(例:TOSHIBA)を左クリックしたまま、新規設定ファイル(例:東京支社2F電話帳)へドラッグして、クリックを解除します。

補 足

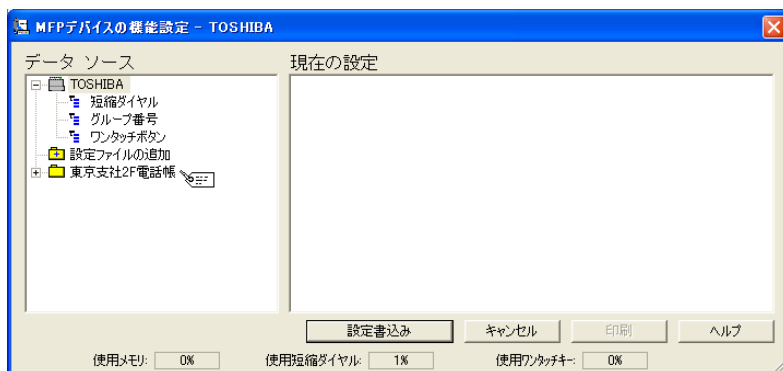
最初、マウスポインタは「」表示されます。電話帳ファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、デバイス電話帳ファイルの内容が新規電話帳へコピーされます。

新規設定をTOSHIBA Viewerに保存するときは

手順3へ進みます。

ローカルハードディスクにファイルとして新規電話帳を保存するときは

手順4へ進みます。

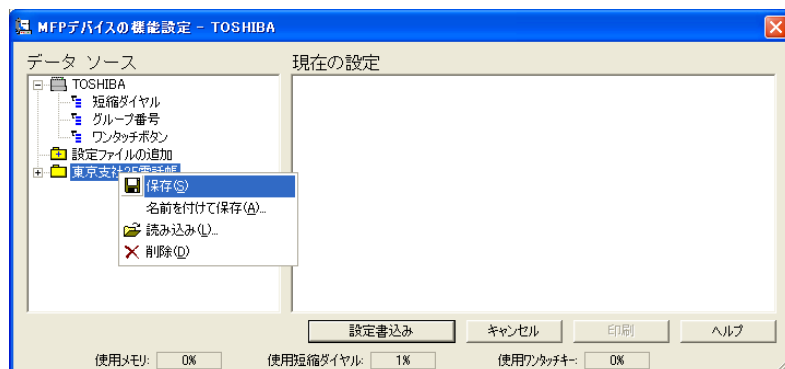


3 TOSHIBA Viewerに設定を保存します。

新規電話帳ファイルを右クリックして、保存を選択します。

補 足

[設定書込み]をクリックするか、画面を閉じるために[キャンセル]をクリックすると、ファイルを保存する画面が表示されます。



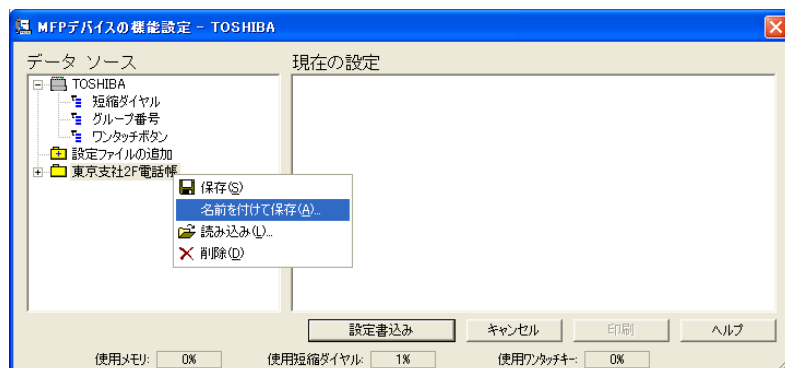
4 ハードディスクにファイルとして保存します。

- (1) 新規電話帳ファイルを右クリックして、「名前を付けて保存」を選択します。
- (2) 「設定の保存」画面が表示されます。ハードディスク上のロケーションを指定し、ファイル名を入力したら、[保存]をクリックします。

補 足

電話帳ファイルが、ハードディスクに設定ファイルとして保存されます。ファイルの拡張子は、「.st2」です。

このファイルは、TOSHIBA Viewerで取り込むことができます。



CSV 形式の電話帳をインポートする

CSV形式で作成された電話帳データをTOSHIBA Viewerにインポートすることができます。

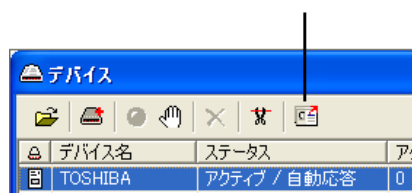
注意

この機能は、ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。

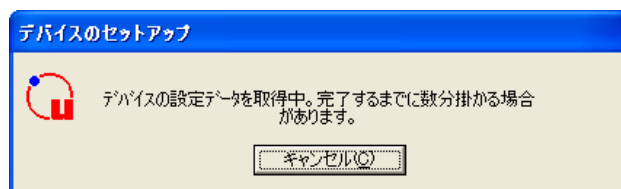
1 「デバイス」フォルダを開きます。

- (1)一覧から目的のデバイスを選択し、[デバイスの電話帳をセットアップ]をクリックします。

デバイスの電話帳をセットアップ

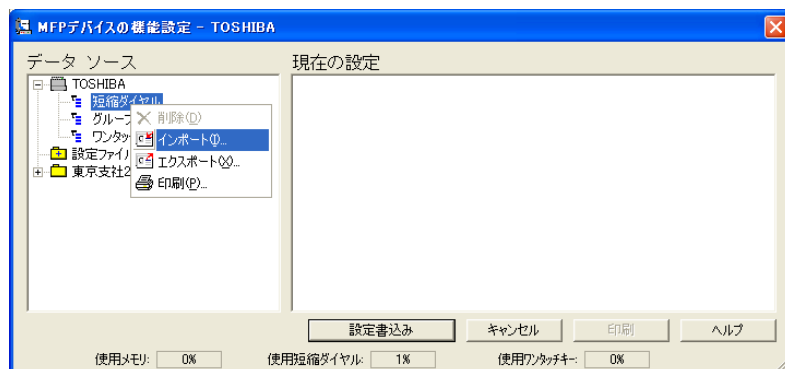


- (2)TOSHIBA Viewerがデバイスから設定データを取得します。メッセージ「デバイスの設定データを取得中。完了するまでに数分掛かる場合があります。」が表示されます。設定データを取得すると、「MFPデバイスの機能設定」画面が表示されます。



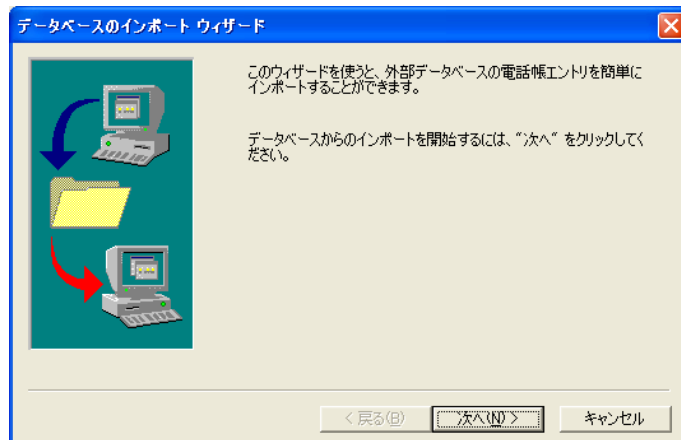
2 インポートしたい電話帳の種類を選択し、右クリックして、[インポート]を選択します。

データベースのインポートウィザード画面が表示されます。



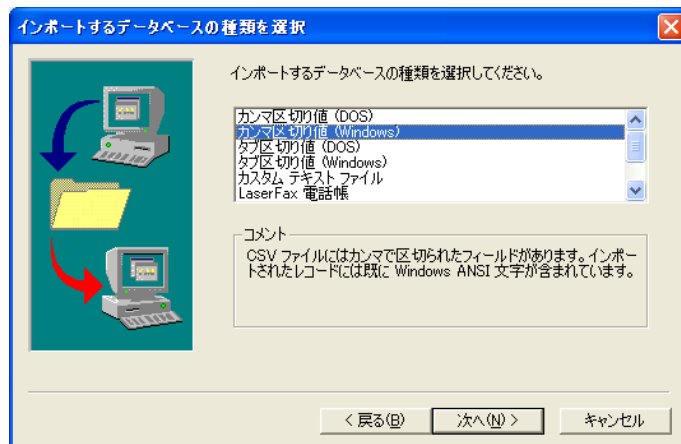
3 [次へ]をクリックします。

インポートするデータベースの種類を選択画面が表示されます。



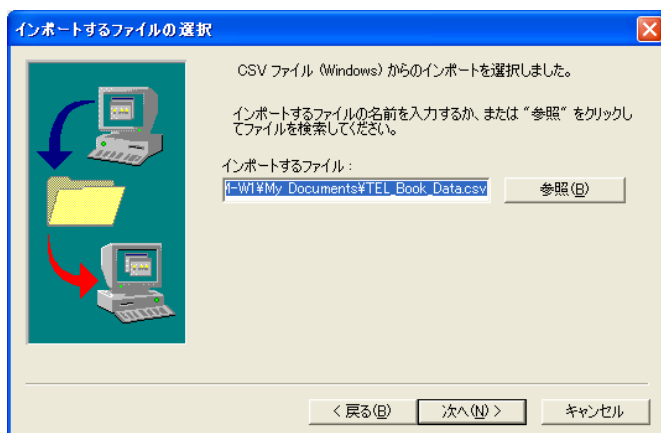
4 インポートするCSV 形式のファイルの種類を一覧から選択し、[次へ]をクリックします。

インポートするファイルの選択画面が表示されます。



5 「インポートするファイル」にインポートするファイルのパスと名前を入力し、[次へ]をクリックします。

フィールドのマップ画面が表示されます。

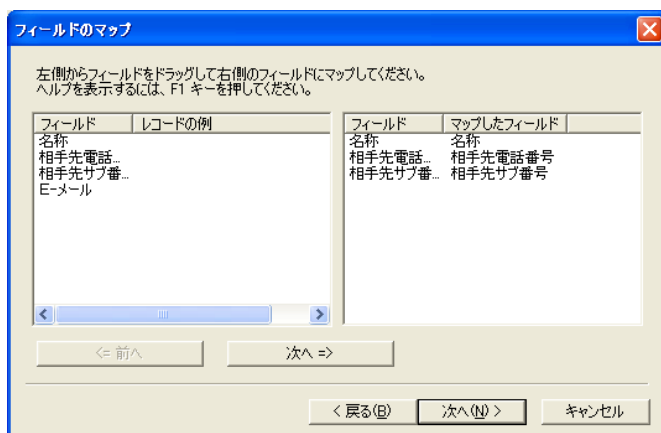


補 足

[参照]をクリックすると開くダイアログを表示し、フォルダからファイルを選択することもできます。

6 CSV データのフィールドレコードをどのデータとして読み込むかを関連付けます。

CSVデータの先頭行を自動的にフィールド名として読み込み、左側の一覧の「フィールド」に表示します。このフィールド名をドラッグし、右側一覧のマップ先フィールドの「マップしたフィールド」にドロップします。ドロップすると「マップしたフィールド」にマップしたフィールド名が表示されます。



補 足

フィールド名が一致している場合は、自動的にフィールドがマップされます。

[前へ]または[次へ]をクリックすると、左側一覧のレコード例に各フィールドのレコード値を表示することができます。

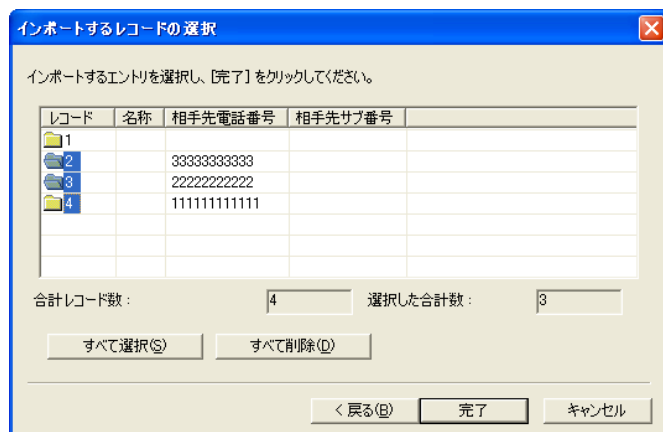
7 [次へ]をクリックします。

インポートするレコードの選択画面が表示されます。

8 インポートするレコードのフォルダアイコンを選択します。

並んだ複数のフォルダアイコンを選択する場合は、Shift キーを押しながらフォルダアイコンを選択します。

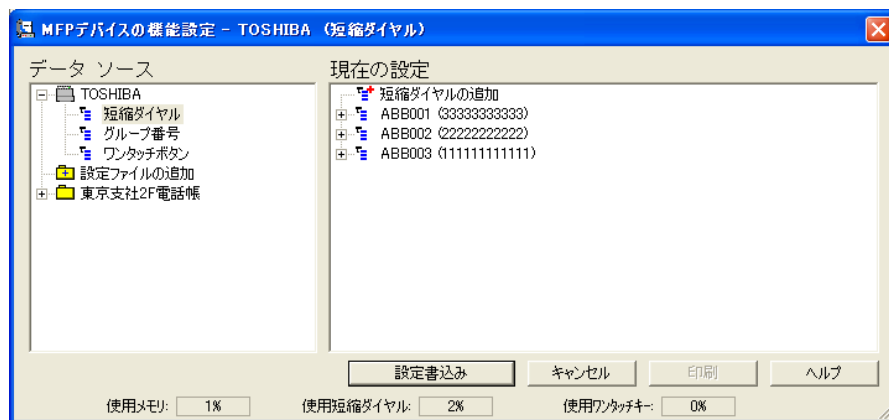
離れている複数のフォルダアイコンを選択する場合は、Ctrlキーを押しながらフォルダアイコンを一つずつ選択します。すべてのフォルダアイコンを選択する場合は、**[すべて選択]**をクリックします。



9 [完了]をクリックします。

「現在の設定」に選択したCSVファイルのレコードを追加します。

10 [設定書込み]をクリックし、設定内容を東芝e-STUDIO167/207 にダウンロードします。



補 足

[キャンセル]をクリックすると、電話帳の追加や編集をダウンロードせずに設定画面を閉じます。

電話帳をCSV形式でエクスポートする

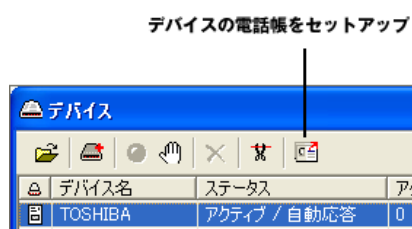
TOSHIBA Viewerで読み込んだ東芝e-STUDIO167/207の電話帳データまたはTOSHIBA Viewer内に保存されている電話帳データをCSV形式のファイルとして書き出すことができます。電話帳データをCSV形式で書き出すと、CSV形式対応のアプリケーションで電話帳データを編集することができます。

注意

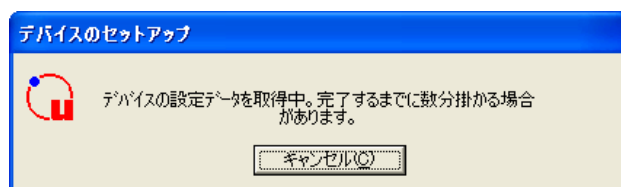
この機能は、ファクスオプションが装着されているe-STUDIO167/207のみ有効です。

1 「デバイス」フォルダを開きます。

- (1)一覧から目的のデバイスを選択し、**【デバイスの電話帳をセットアップ】**をクリックします。

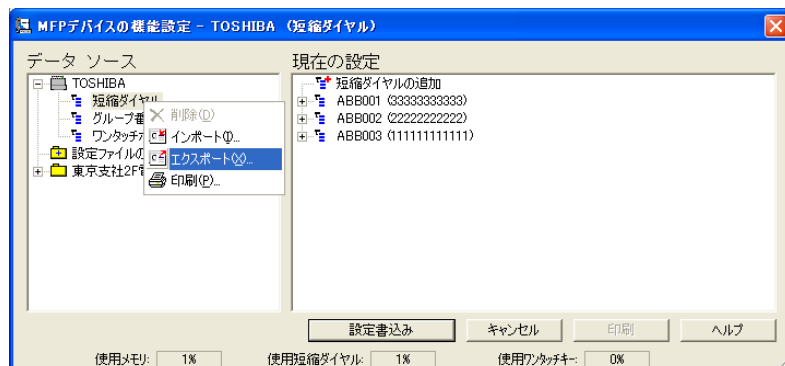


- (2)TOSHIBA Viewerがデバイスから設定データを取得します。メッセージ「デバイスの設定データを取得中。完了するまでに数分掛かる場合があります。」が表示されます。設定データを取得すると、「MFPデバイスの機能設定」画面が表示されます。



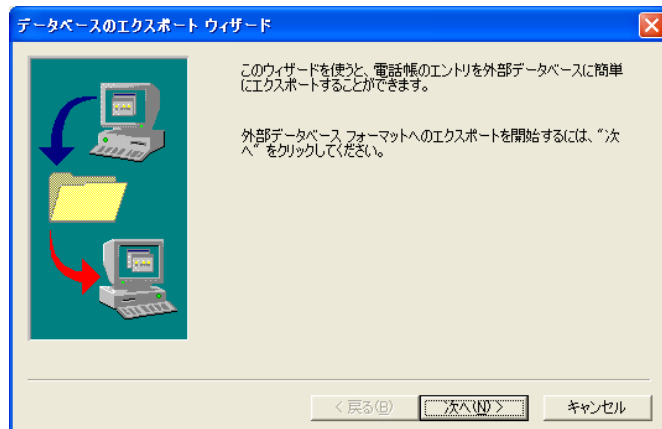
2 エクスポートしたい電話帳の種類を選択し、右クリックして、**【エクスポート】**を選択します。

データベースのエクスポートウィザード画面が表示されます。



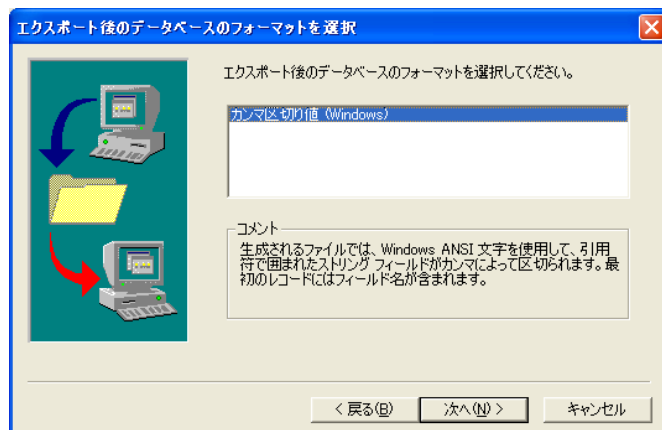
3 [次へ]をクリックします。

エクスポート後のデータベースのフォーマットを選択画面が表示されます。



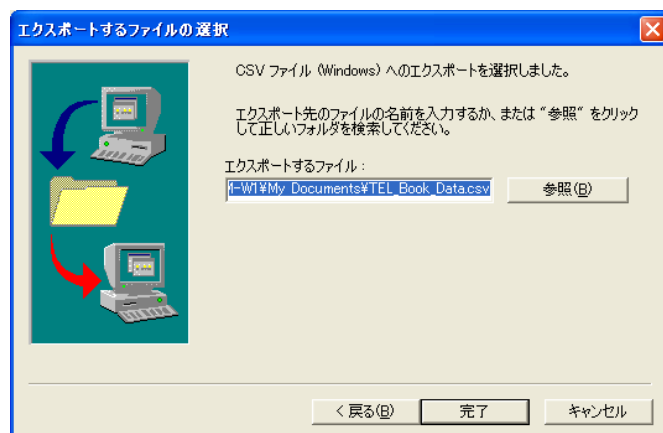
4 [次へ]をクリックします。

エクスポートするファイルの選択画面が表示されます。



5 「エクスポートするファイル」に保存場所のファイル名を入力し、[完了]をクリックします。

操作が完了しました画面が表示されます。

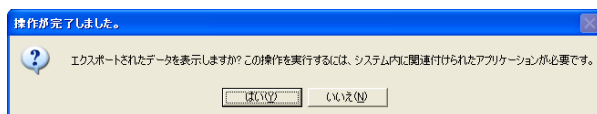


補 足

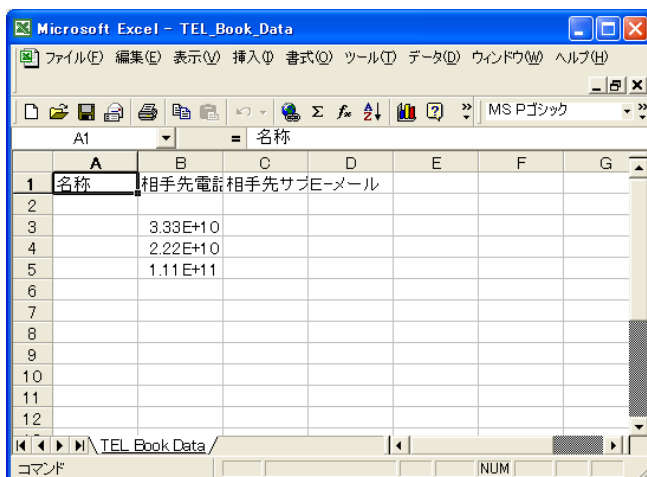
[参照]をクリックすると名前をつけて保存ダイアログが表示され、保存先のフォルダとファイル名を選択または入力することができます。

6 エクスポートしたデータを今すぐ表示するかどうかを選択します。

今すぐにエクスポートしたデータを表示する場合は、**[はい]**をクリックします。表示しない場合は**[いいえ]**をクリックします。



[はい]をクリックした場合は、CSV形式のファイルに関連付けられたアプリケーションでエクスポートしたデータを表示します。**[いいえ]**をクリックした場合は、操作を完了します。



補 足

WindowsでCSV形式に関連付けられているアプリケーションがない場合は、エクスポートしたデータを表示することはできません。ただし、CSV形式のデータはメモ帳などのテキストエディタで開いて編集することができます。

ワンタッチ、短縮、グループに登録できる名前には、S-JIS 第一のみ入力可能です。また、半角20文字、全角20文字以内で入力する必要があります。

ルーティング規則を作成する

スキャンした画像データは、通常**スキャンイメージ**フォルダに保存されます。
ルーティング規則を定義しスキャンしたときのイメージの保存先やファイルの操作などの動作を変更することができます。

ユーザールーティング規則は、

- TOSHIBA Viewerユーザなら誰でも作成することができます。
- ユーザ固有のルーティング規則です。
各ユーザは、それぞれ独自のルーティング規則を定義することができます。
- ルーティング規則は、上から下へ表示されている順番で処理されていきます。

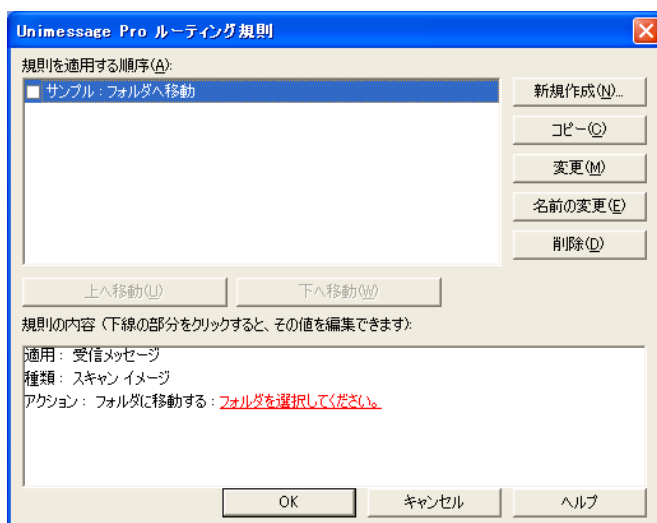
ルーティング規則は「規則を適用する順序」の一覧に表示されたサンプルから作成することもできます。

作成する場合は、「Unimessage Proルーティング規則」ダイアログ画面で、目的のサンプルを選択します。

ルーティング規則の詳細については、ルーティング規則ダイアログの**ヘルプ**をクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。

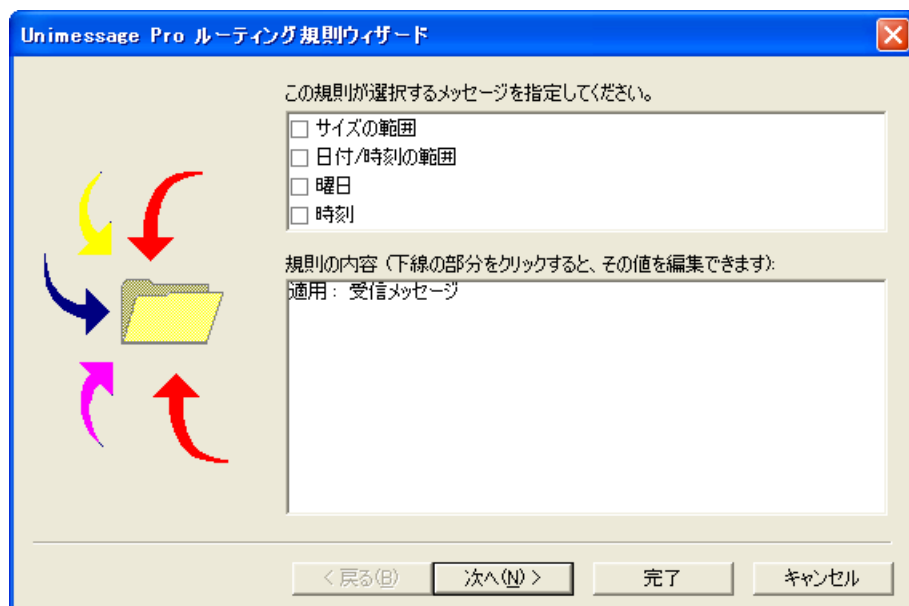
1 [セットアップ]メニューの[ルーティング規則]を選択します。

[新規作成]をクリックすると、ルーティング規則ウィザードが表示されます。



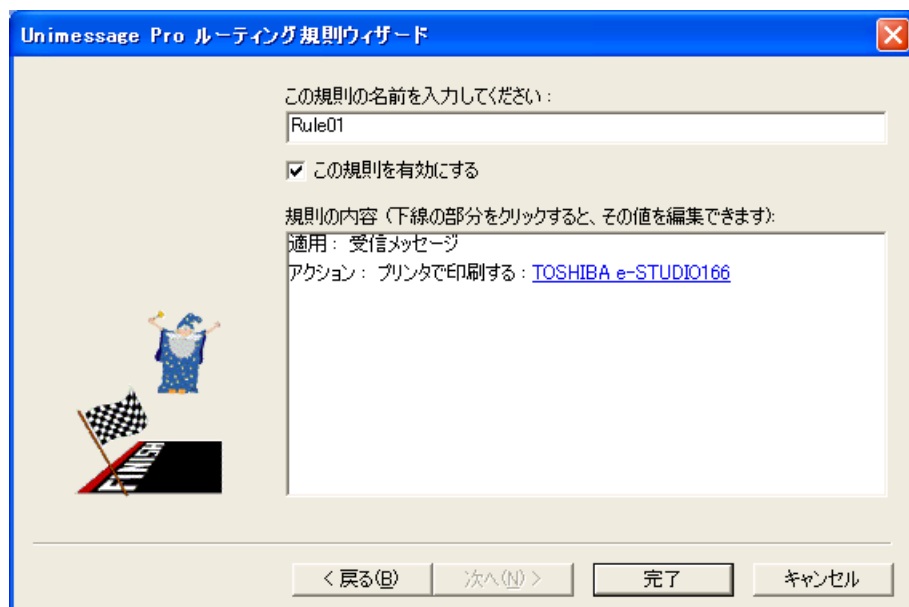
2 ルーティング規則の条件をチェックします。

[次へ]をクリックします。



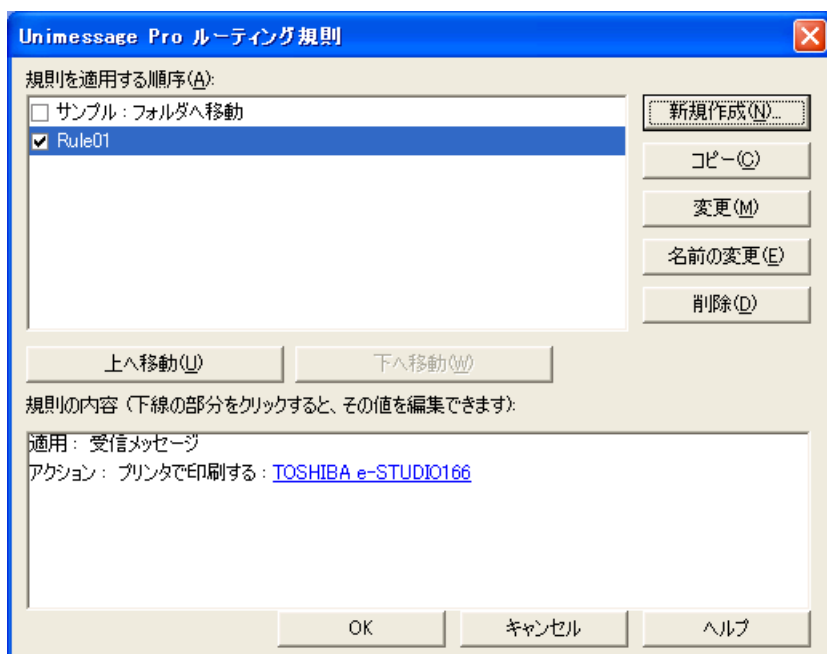
3 規則の名称を入力します。

[完了]をクリックします。



4 [上へ移動]または[下へ移動]をクリックし、作成した規則を適用する順序を変更します。

[OK]をクリックします。



補 足

ルーティング規則の作成および変更についての詳細は、ヘルプを参照してください。

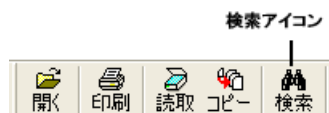
TOSHIBA Viewerフォルダを検索する

TOSHIBA Viewerフォルダ内にあるファイルを条件指定して検索することができます。

注 意

特定のフォルダ内を検索するには、フォルダを右クリックして、表示されたメニューから**検索**を選択します。

1 [検索]アイコンをクリックします。



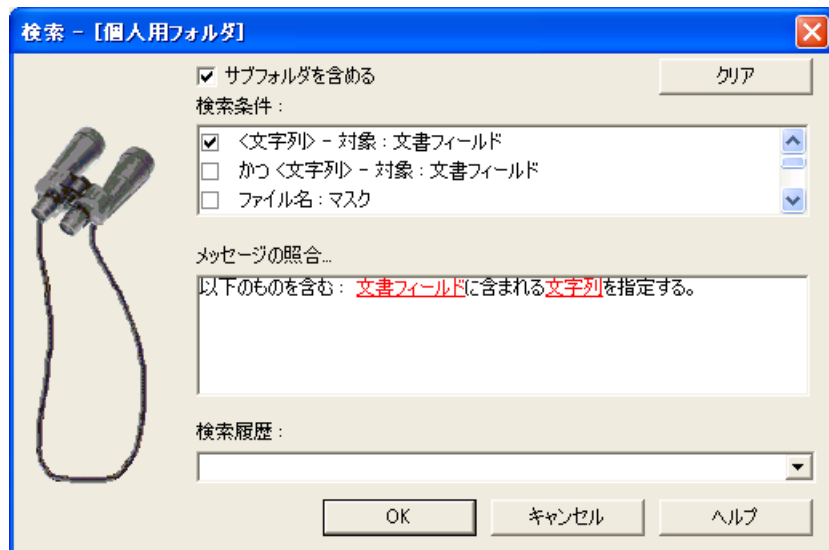
2 検索条件を定義します。

- 検索にサブフォルダを含める場合は、**[サブフォルダを含める]**をチェックします。
- 「メッセージの照合」に「検索条件」でチェックした条件が表示されます。下線のついた赤文字をクリックして、条件の詳細を設定します。

補 足

フォルダの検索は、検索履歴からおこなうこともできます。

- **[OK]**をクリックします。
- 検索を開始します。
- 検索の詳細については、検索ダイアログの**[ヘルプ]**をクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。
- 検索結果が表示されます。



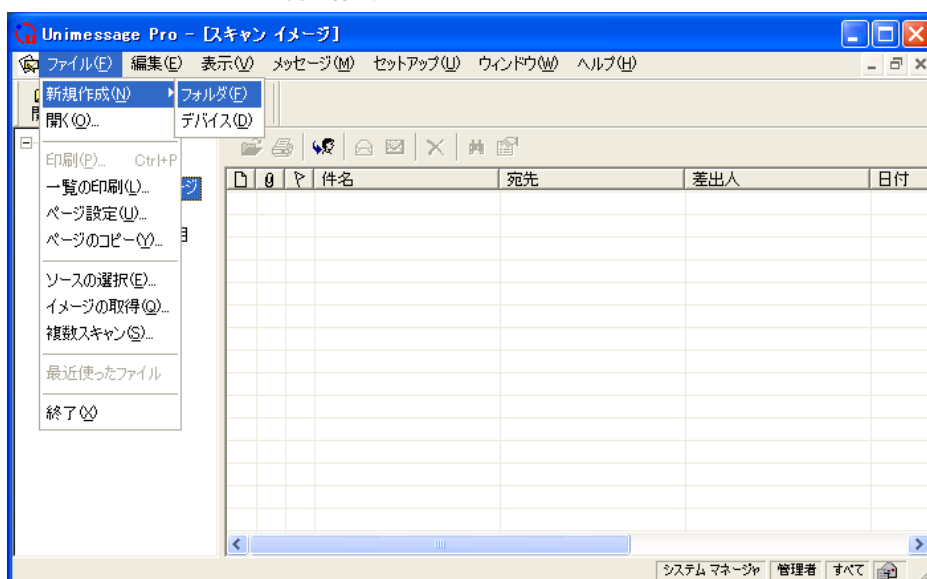
フォルダを作成する

TOSHIBA Viewerは各フォルダを使用して、スキャンしたメッセージを保存し、またPC上のファイルについての情報を保存します。

これらのフォルダを検索すれば、メッセージやファイルの検索をおこなうことができます。

1 フォルダの作成場所を選択します。

[ファイル]メニューから[新規作成]－[フォルダ]を選択します。

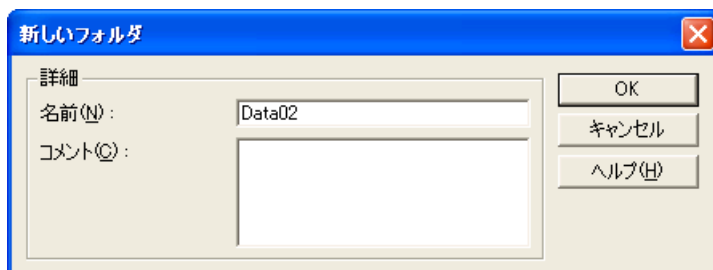


2 フォルダ名を入力します。

必要に応じて、「コメント」フィールドにフォルダの使用目的を示すコメントを入力し、**[OK]**をクリックします。

補 足

- ファイルをWindows ExplorerからTOSHIBA Viewerフォルダへドラッグすると、TOSHIBA Viewerフォルダにファイルや文書のプロパティ情報のみコピーされます。
例：ファイル自体はTOSHIBA Viewerフォルダにはコピーされません。
TOSHIBA Viewer内で文書のプロパティ情報を開くと、オリジナルのファイルが開きます。
- TOSHIBA Viewer内でファイルをフォルダから別のフォルダへドラッグすると、ファイルは移動先のTOSHIBA Viewerフォルダへ移動します。
ただし、TOSHIBA Viewer外のファイルを参照している場合は（例：Windows Explorerフォルダからドラッグされたファイルの場合）、ファイル情報のみが移動するか、またはコピーされます。
- TOSHIBA Viewer内でイメージファイル(.bmp、.jpg、.tif、.pcx、.faxまたは.fcs)を開き、**ファイルメニューから[Unimessage Proフォルダに保存]**を選択すると、イメージファイルをTOSHIBA Viewerフォルダに保存することができます。



「コピー」の操作方法と機能説明

東芝e-STUDIO166/167/207でコピーする

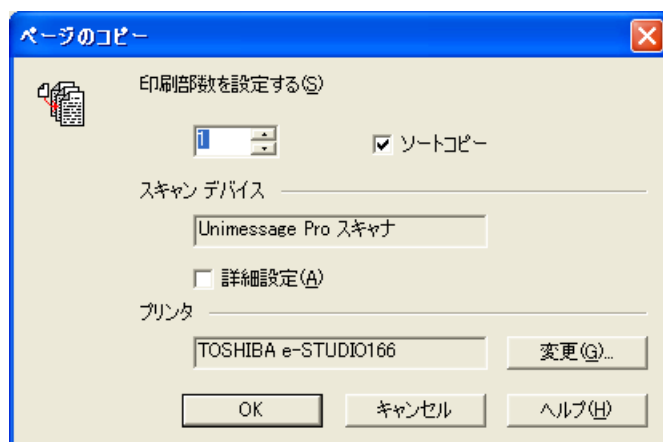
TOSHIBA Viewerを使用して、東芝e-STUDIO166/167/207で原稿コピーをPCからリモート操作することができます。

1 「ようこそ」画面の[コピー]をクリックします。

ページのコピーダイアログが表示されます。

2 コピー設定をおこないます。

- コピー部数を入力します。
- 部単位でコピーをおこなうときは、[ソートコピー]をチェックします。
- ページ別に異なった解像度でスキャンするときや両面文書をスキャンするときは、[詳細設定]をチェックします。
- [変更]をクリックすると、コピーに使用するプリンタドライバを選択することができます。
- ページのコピーダイアログの詳細については、[ヘルプ]をクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。



3 [OK]をクリックすると、コピーを開始します。

ファイルスキャン

「ファイルスキャン」の操作方法と機能説明

東芝e-STUDIO166/167/207または他のTWAIN対応スキャナでスキャンする

東芝e-STUDIO166/167/207でスキャンした原稿をTOSHIBA ViewerまたはTWAIN対応アプリケーションに取り込むことができます。

また、TOSHIBA Viewerのファイルスキャン機能を使えば、それぞれ異なったTWAINスキャンデータから複数ページの文書を作成することもできます。

この機能は、異なるページを異なった設定でスキャンするときに便利です。

補 足

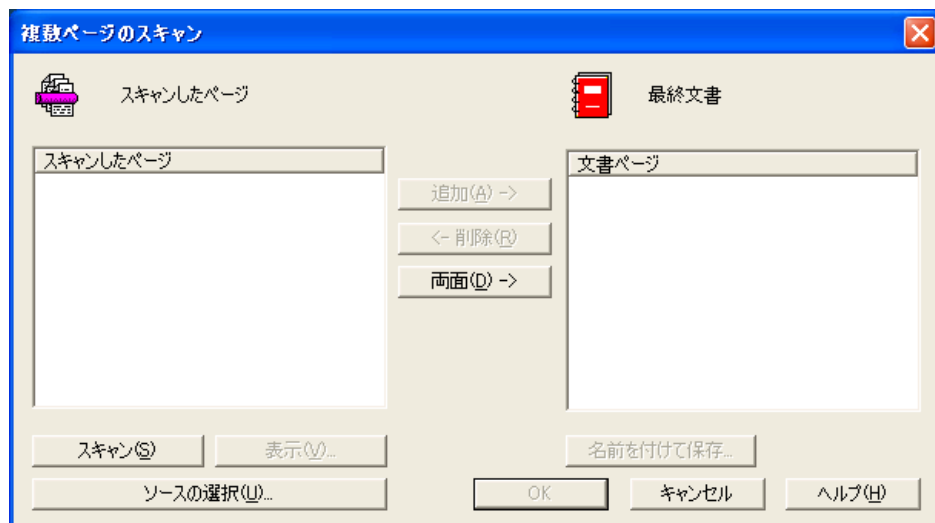
単ページのスキャンは、TOSHIBA Viewerメインディスプレイのツールバーの【読込】をクリックするか、もしくは【ファイル】メニューの【イメージの取得】を選択して実行することができます。

注 意

他の異なるTWAIN対応アプリケーションを使ってスキャンをおこなうときは、スキャナ設定ダイアログが表示されます。

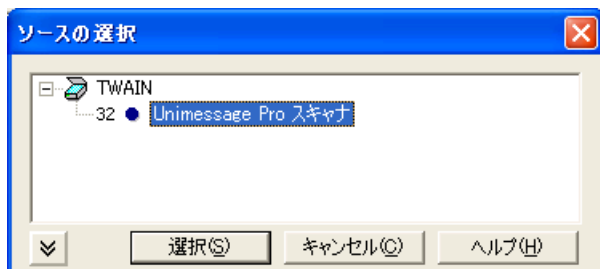
1 「ようこそ」画面の【ファイルスキャン】をクリックします。

複数ページのスキャン画面で【ソースの選択】をクリックします。ソースの選択ダイアログが表示されます。



2 TWAINスキャナを選択します。

選択後に[選択]をクリックします。複数ページのスキャン画面に戻ります。



3 [スキャン]をクリックします。

スキャナ設定ダイアログが表示されます。

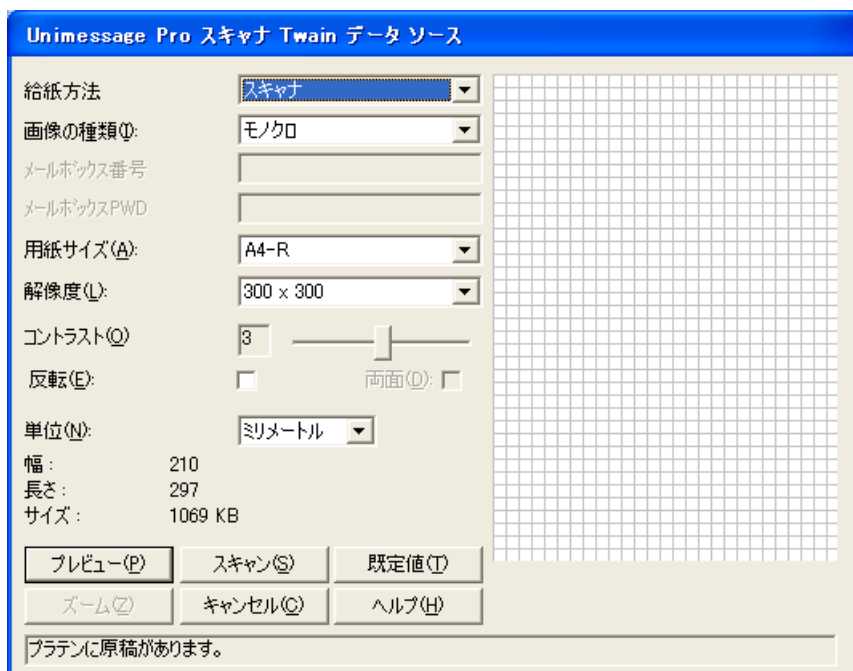


4 スキャナ設定の各項目を設定します。

設定後に【スキャン】をクリックします。複数ページのスキャン画面に戻ります。

補 足

- スキャナ設定の詳細については、【ヘルプ】をクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。
- スキャンを実行する前に、スキャン文書のプレビューを確認するときは、【プレビュー】をクリックします。



5 スキャンしたページを選択します。

選択後に[追加]をクリックします。すべてのスキャンページがイメージ文書に追加されるまで、繰り返してください。

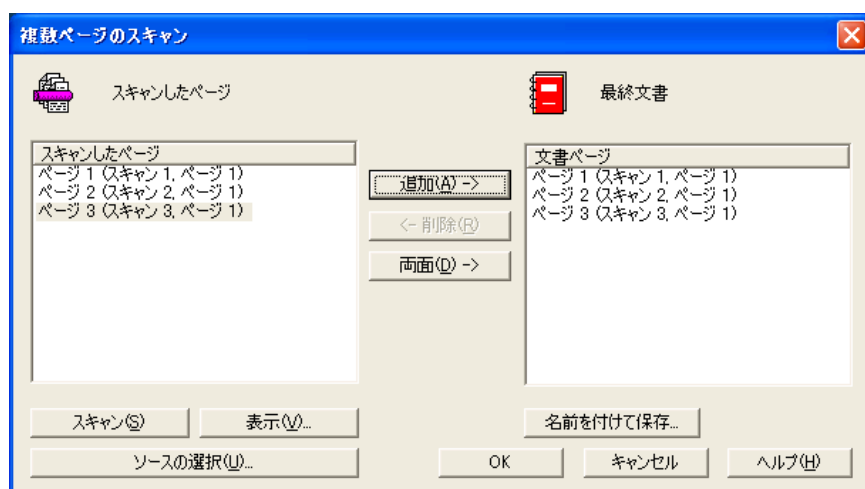
スキャン操作を続けておこなう場合は

手順3と4を繰り返してください。

補 足

スキャンするページの順序を自由に指定して、マルチページ文書を作成することができます。

複数ページのスキャン画面の詳細については、ヘルプをクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。



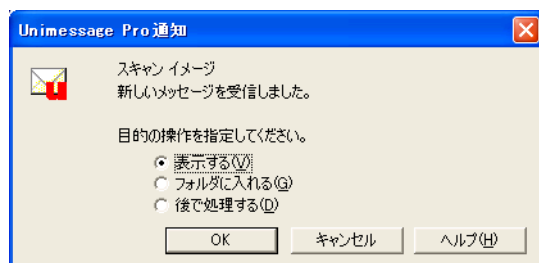
6 [OK]をクリックします。

7 スキャンした画像データの処理方法を選択します。

選択後に[OK]をクリックします。

補 足

新しい受信メッセージダイアログの詳細については、ヘルプをクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。



Eメールスキャン

「Eメールスキャン」の操作方法と機能説明

東芝e-STUDIO166/167/207でスキャンしたデータをEメール送信する

東芝e-STUDIO166/167/207でスキャンした原稿を画像データファイルとして取り込み、そのファイルをEメールメッセージに添付することができます。

注意

Eメールスキャン機能を使用するには、MAPI^{*1}対応メールアプリケーションをPCにインストールする必要があります。

*1 MAPI(Messaging Application Programming Interface):Microsoft Windows上で異なるメールアプリケーション同士が整合性をもって動作するように設計されたメールシステムをいいます。

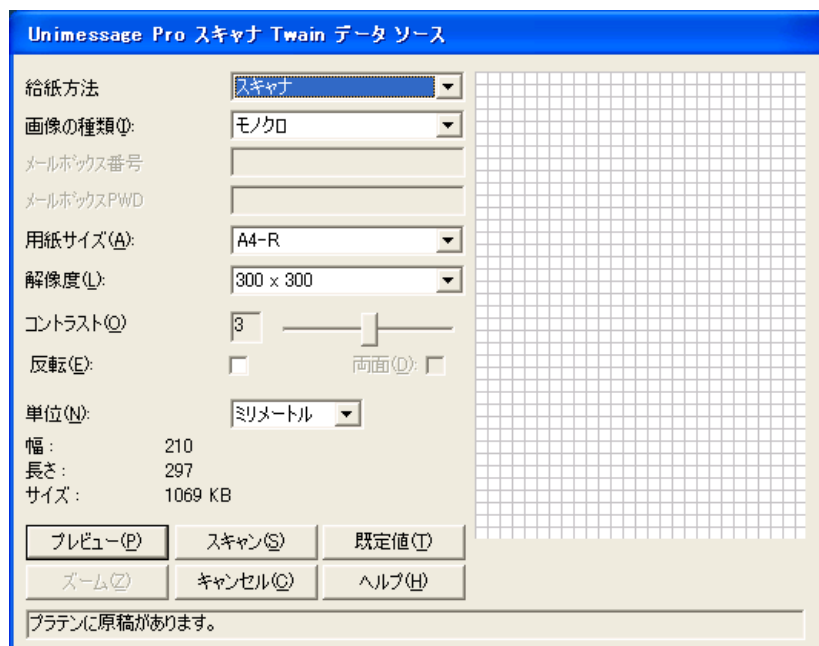
1 「ようこそ」画面の[E-メールスキャン]をクリックします。

2 スキャナ設定をおこないます。

設定後、[スキャン]をクリックします。

補足

- スキャナ設定の詳細については、ヘルプをクリックして、関連するヘルプ項目を参照してください。
- スキャンを実行する前に、スキャン文書のプレビューを確認するときは、[プレビュー]をクリックします。

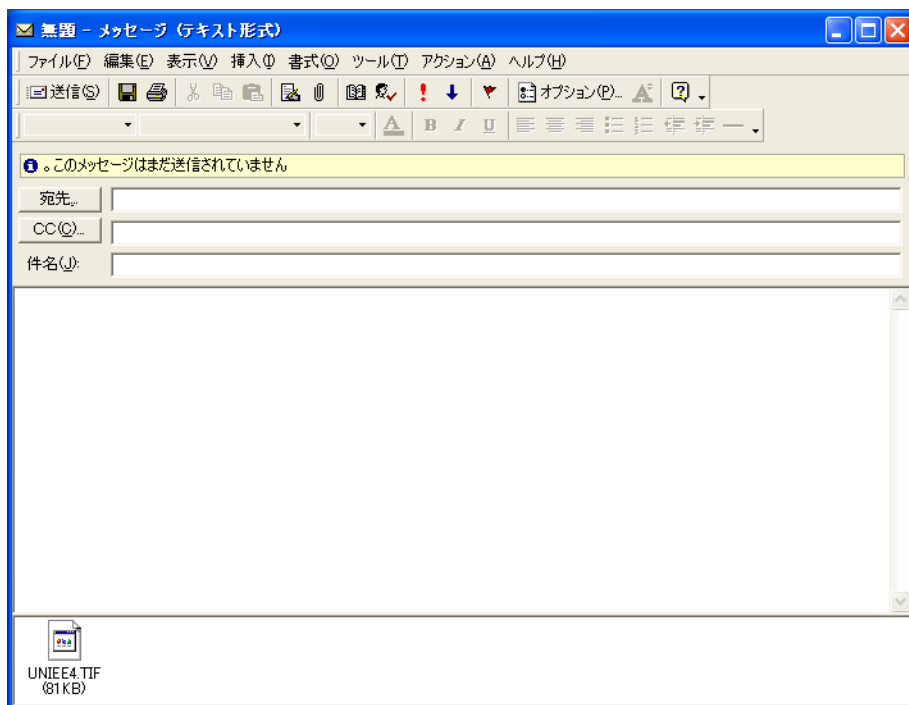


3 スキャンを開始します。スキャンを完了すると、標準に設定されたメールアプリケーションを起動し、自動的にスキャンした画像データを添付した新しいメッセージが作成されます。

送信先アドレスを入力し、必要に応じて他の情報を入力します。

補 足

メールスキャン送信の詳細については、お使いのメールアプリケーションのマニュアルまたはオンラインヘルプを参照してください。



セットアップ

「セットアップ」の操作方法と機能説明

デバイス設定を変更する

「ようこそ」画面の【セットアップ】をクリックすると、デバイスデータの読み出しを開始し、MFPデバイスの機能設定画面が表示されます。

TOSHIBA Viewerを使って、デバイス設定をおこなうことができます。

補 足

この操作は、デバイス画面の【セットアップ】からおこなうことができます。

デバイス画面の詳細については、以下のページを参照してください。

📖 P.113 「デバイス情報を変更する」

TOSHIBA Viewerを使用してデバイス設定をリモート操作で変更することができます。

「ようこそ」画面で【セットアップ】をクリックすると、e-STUDIO166/167/207からデバイス情報を取得します。

デバイス設定を直接変更するときは

手順1へ進みます。

ハードディスク上の設定ファイルを使用してデバイス設定を変更するときは

手順2へ進みます。

TOSHIBA Viewerに保存されているユーザ設定ファイルを使用してデバイス設定を変更するときは

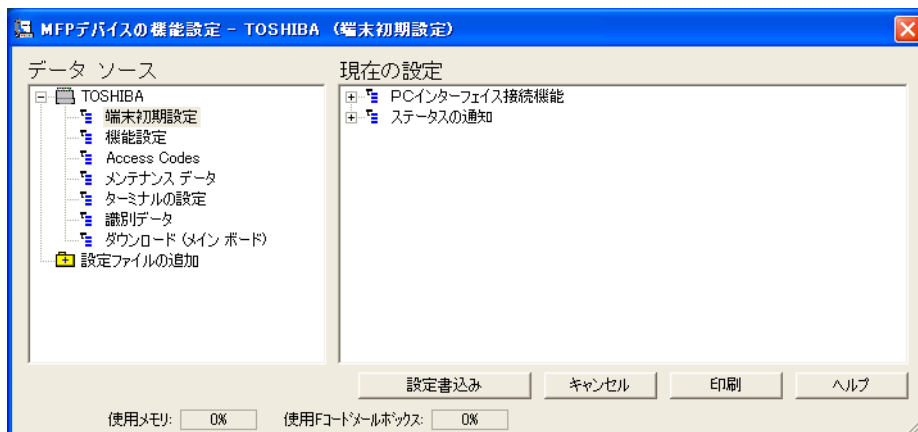
手順3へ進みます。

1 デバイス設定を変更します。

- (1) 変更したい項目をダブルクリックして、新規データを入力します。
- (2) 【設定書込み】をクリックして、新規設定内容を東芝e-STUDIO166/167/207へダウンロードします。

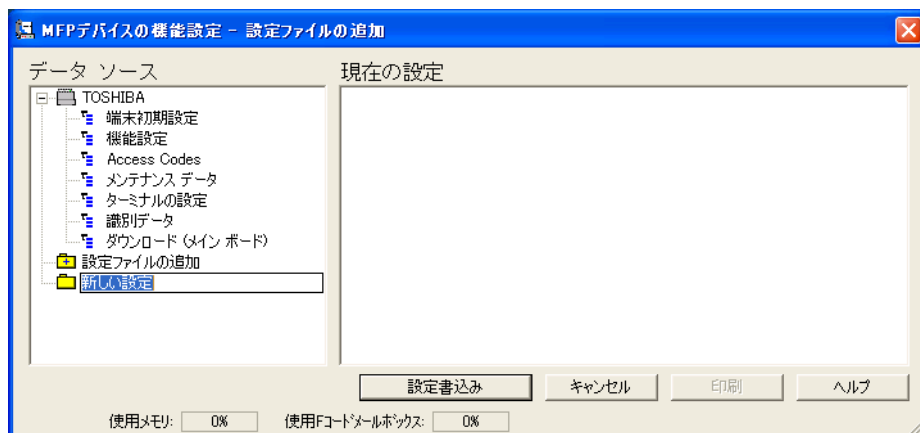
補 足

【キャンセル】をクリックすると、デバイス設定の追加、編集を中止します。

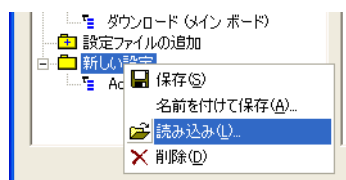


2 ハードディスク上の設定ファイルを読み込みます。

(1) [設定ファイルの追加] をダブルクリックします。新規設定ファイルが作成されます。



(2) 「新しい設定」ファイルを右クリックして、**【読み込み】**を選択します。「読み込み設定」画面が表示されます。目的の設定ファイルを選択し、**【開く】**をクリックします。設定ファイルが読み込まれます。



補 足



ハードディスクに保存するためのユーザ設定ファイルの作成方法は、以下のページを参照してください。

📖 P.147 「デバイス設定を保存する」

3 デバイス設定をコピーします。

ユーザ設定ファイルを左クリックしたまま、デバイス設定ファイルへドラッグして、クリックを解除します。

補 足

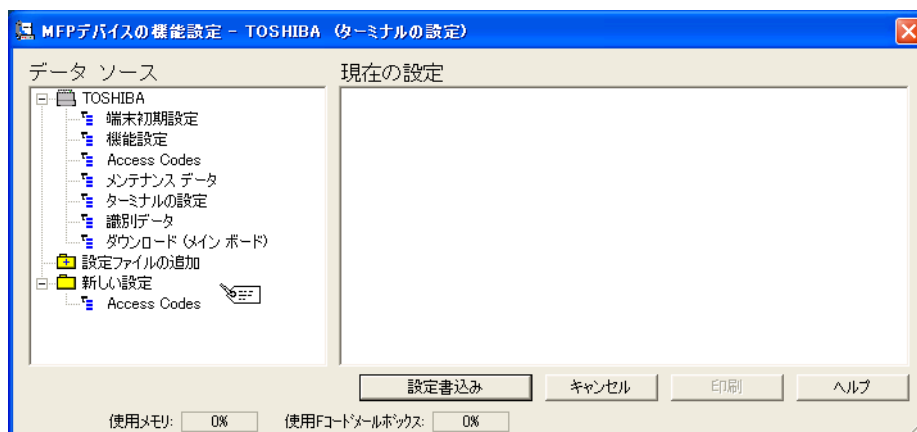
最初、ポインタは「」表示されます。目的のファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、ユーザ設定ファイルの内容がデバイス設定ファイルへコピーされます。

4 [設定書込み]をクリックします。

新規設定内容が東芝e-STUDIO166/167/207へダウンロードされます。

補 足

[キャンセル]をクリックすると、デバイス設定の追加、編集を中止します。



デバイス設定を保存する

TOSHIBA Viewerによって開かれるデバイス設定(デフォルト名:TOSHIBA)は、一時的なテンポラリファイルです。

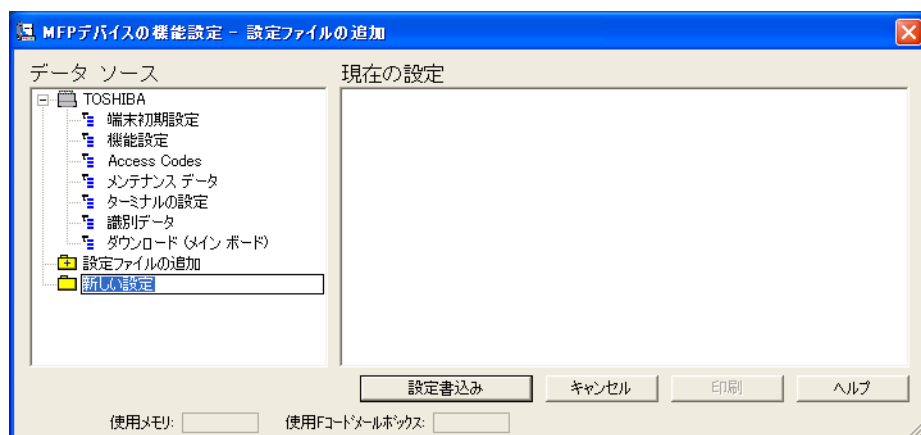
設定画面にアクセスするたびに、現在のデバイス設定がデバイスから読み込まれ、常に最新の設定内容が反映されます。

デバイス設定は、TOSHIBA Viewerに保存するか、ハードディスクに設定ファイルとして保存することができます。

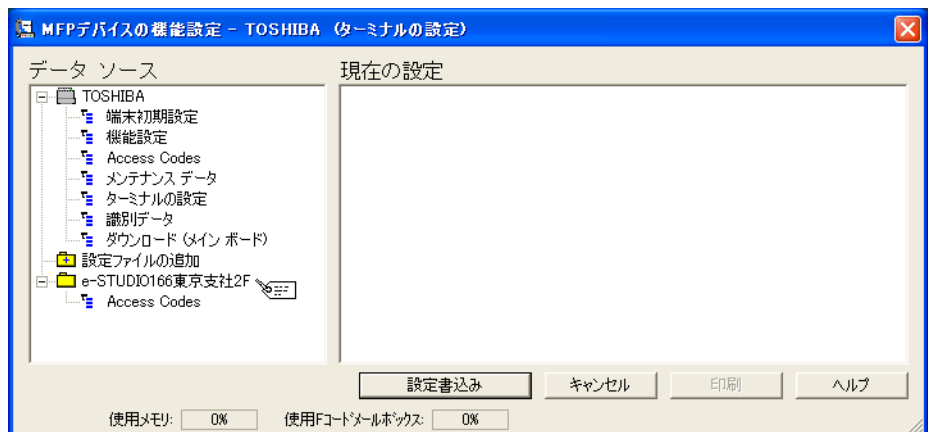
デバイスを初期状態にリセットしたときやファームウェアの更新をおこなったときに、保存した設定ファイルをダウンロードし、デバイスの設定を簡単に再設定することができます。

1 [新規設定ファイル]を作成します。



- (1) **[設定ファイルの追加]**をダブルクリックすると、新規設定ファイルが作成されます。
ファイル名を入力します。



(2) デバイス設定ファイル(例:TOSHIBA)を左クリックしたまま、新規設定ファイル(例:e-STUDIO166東京支社2F)へドラッグして、クリックを解除します。



注意

最初、ポインタは「」表示されます。目的のファイルまでドラッグすると、ポインタは「」に変わります。左クリックを解除すると、デバイス設定ファイルの内容が新規設定ファイルへコピーされます。

TOSHIBA Viewer内に保存するときは

手順2へ進みます。

ハードディスクにファイルとして保存するときは

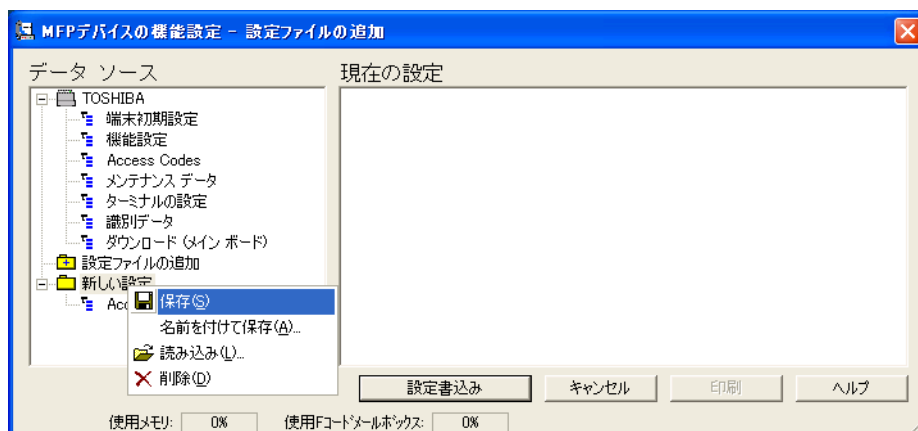
手順3へ進みます。

2 TOSHIBA Viewer内に保存します。

新規設定ファイルを右クリックして、**【保存】**を選択します。

補 足

【設定書込み】をクリックするか、画面を閉じるために**【キャンセル】**をクリックすると、ファイルを保存する画面が表示されます。

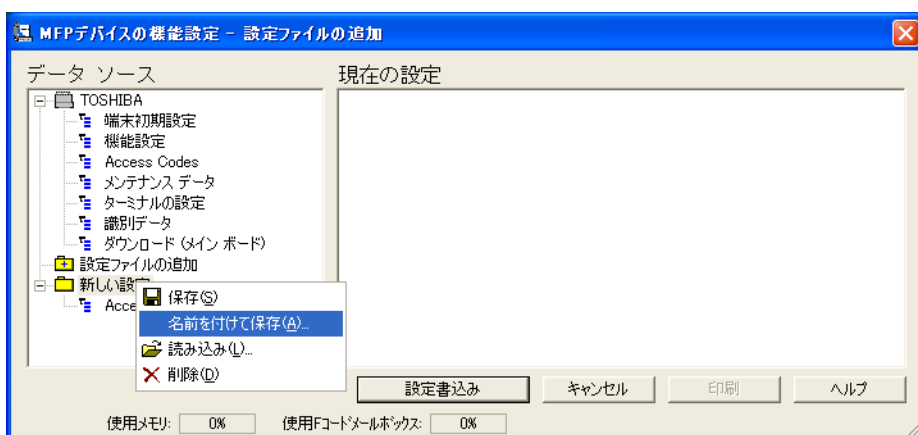


3 ハードディスクにファイルとして保存します。

- (1) 新規設定ファイルを右クリックして、**【名前を付けて保存】**を選択します。
- (2) 設定の保存画面が表示されます。ハードディスク上のロケーションを指定し、ファイル名を入力したら、**【保存】**をクリックします。

補 足

ハードディスクに設定ファイルとして保存されます。ファイルの拡張子は、「.st2」です。このファイルは、TOSHIBA Viewerで取り込むことができます。



TOSHIBA Viewer GDI プリンタ

TOSHIBA Viewer GDI プリンタを使った文書の印刷方法

TOSHIBA Viewer UniPadから印刷する

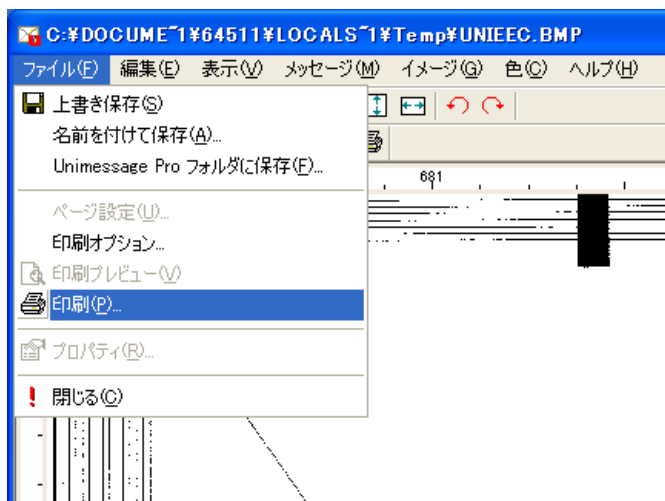
TOSHIBA Viewerのインストール中にプリンタの作成を選択した場合は、TOSHIBA Viewer GDIプリンタを使って文書を印刷することができます。

補 足

- TOSHIBA Viewer GDIプリンタは、Windowsのプリンタドライバ同様「プリンタ」フォルダに作成されます。
TOSHIBA Viewer GDIプリンタドライバをまだインストールしていない場合は、TOSHIBA Viewerメインディスプレイから作成することができます。
TOSHIBA Viewer内のフォルダー一覧でデバイスフォルダを開き、画面の右枠に表示される作成済みのデバイス(東芝e-STUDIO166/167/207)の上を右クリックします。表示されるメニューから、**【プリンタの作成】**を選択します。
TOSHIBA Viewer UniPadは、TOSHIBA Viewerの中に組み込まれています。UniPadを使って、スキャンした画像データを表示します。
- TOSHIBA Viewer UniPadは、2つのモード(テキストおよびグラフィカル)で操作することができます。
テキストモードは、新しいメッセージを作成するときなどに使用します。
グラフィカルモードは、受信したイメージファイルを表示するときを使用します。
TOSHIBA Viewer UniPadの詳細については、**ヘルプ**を参照してください。

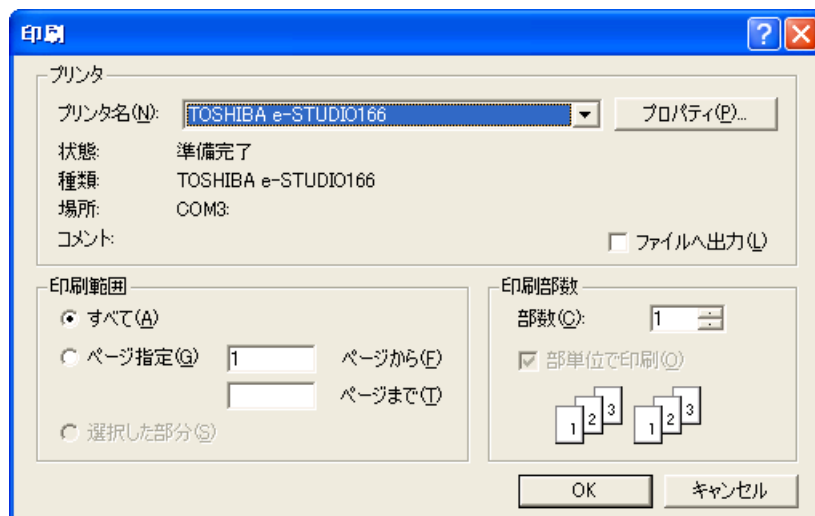
1 TOSHIBA Viewerメインディスプレイを表示し、スキャンした画像データをダブルクリックします。

【ファイル】メニューから**【印刷】**を選択すると、印刷ダイアログが表示されます。



2 「プリンタ名」で東芝e-STUDIO166/167/207を選択します。

選択後に[OK]をクリックします。印刷ジョブがe-STUDIO166/167/207へ送られ、スキャンした画像イメージが印刷されます。



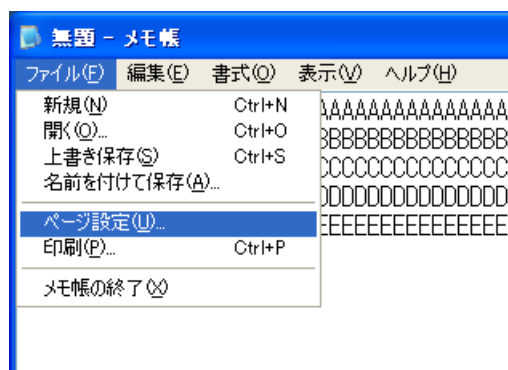
Windowsアプリケーションから印刷する

TOSHIBA Viewer GDIプリンタを使って、その他のWindowsアプリケーションから文書を印刷することができます。

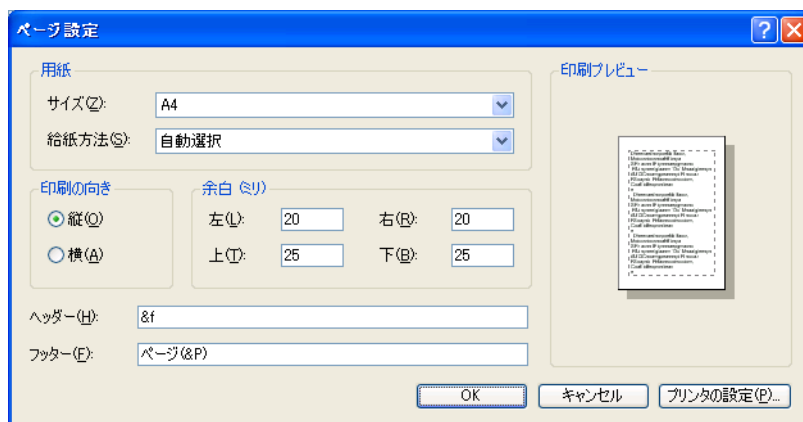
下記手順は、Windows のメモ帳の場合です。
アプリケーションにより手順は異なります。

1 [ファイル]メニューから[ページ設定]を選択します。

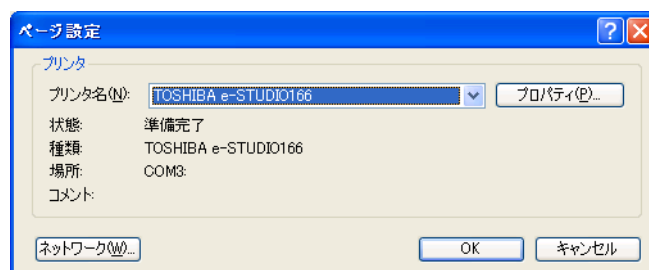
ページ設定ダイアログが表示されます。



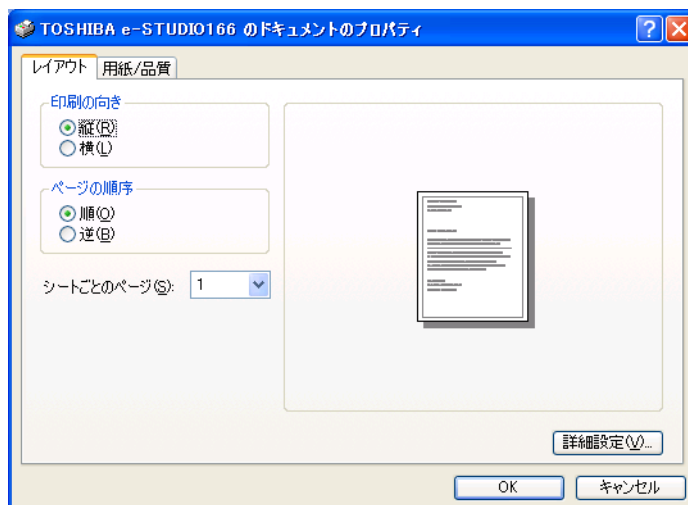
- 2 [プリンタの設定]をクリックします。
プリンタのページ設定ダイアログが表示されます。



- 3 「プリンタ名」で東芝e-STUDIO166/167/207プリンタを選択します。

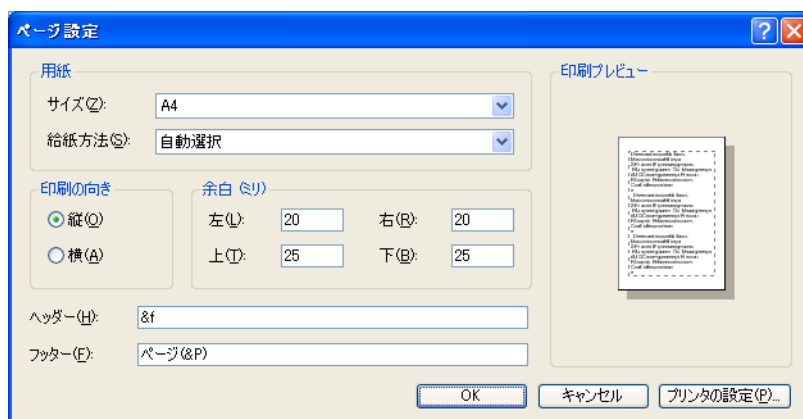


- (1) [プロパティ]をクリックすると、プリンタのプロパティダイアログが表示されます。
(2) 印刷設定を完了したら、[OK]をクリックします。
(3) プリンタのページ設定ダイアログで[OK]をクリックして、ページ設定ダイアログへ戻ります。



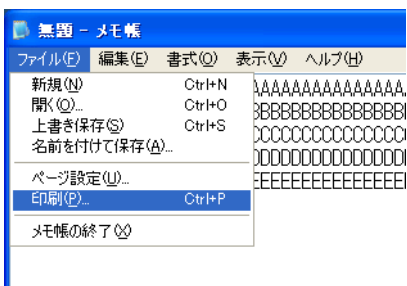
4 印刷設定の確認または変更をおこないます。

確認後または変更後に[OK]をクリックして、ページ設定ダイアログを閉じます。



5 [ファイル]メニューから[印刷]を選択します。

印刷ジョブが東芝e-STUDIO166/167/207へ送られ、文書が印刷されます。



索引

C

COMポートの割り当て 35, 40, 52
CSV 形式の電話帳をインポートする 123

E

e-STUDIO166/167/207 COMポートを
削除する 81
Eメールスキャン 111, 142

T

TOSHIBA Viewer CD-ROMの構成 11
TOSHIBA Viewer GDI プリンタ 150
TOSHIBA Viewer UniPadから印刷する 150
TOSHIBA Viewerフォルダを検索する 134
TOSHIBA Viewerをアンインストールする 77
TOSHIBA Viewerをインストールする 61

U

USBドライバをインストールする 13

W

Windows 2000 19, 37, 90
Windows 98 SE/Me 13, 30, 85
Windows XP/Server 2003 24, 49, 98
Windowsアプリケーションから印刷する 151

い

印刷ジョブを削除する 108
インストール方法 12
インターネット接続ファイアウォールの設定
..... 98

き

起動時の画面について 110

こ

コピー 110, 137

し

終了 111
使用許諾 1

せ

セットアップ 111, 144

て

デバイス情報を変更する 113
デバイス設定を変更する 144
デバイス設定を保存する 147
デバイスセットアップ 66
電話帳をCSV 形式でエクスポートする 127
電話帳を保存する 120

と

東芝e-STUDIO167/207の電話帳を
追加・編集する 116
特長および機能について 8

ひ

必要環境 10

ふ

ファイルスキャン 111, 138
フォルダの参照 110, 112
フォルダを作成する 135
プラグアンドプレイを使って
インストールする 13
プリンタドライバを削除する
..... 36, 47, 59, 89, 96, 106
プリンタドライバをネットワーククライアントへ
インストールする 85
プリンタドライバをローカルクライアントへ
インストールする 29
「プリンタの追加ウィザード」から
インストールする 30

へ

ヘルプ 111

ゆ

ユーザの更新 73

る

ルーティング規則を作成する 131

東芝デジタル複合機
取扱説明書 TOSHIBA Viewer 編

e-STUDIO166 e-STUDIO167/207

<開発・製造元>

東芝テック株式会社

<販売元>

東芝テックビジネスソリューション株式会社

